

会長のページ 再び医師不足と偏在について .....	秦 喜八郎	3
宮崎大学医学部教授就任挨拶 .....	北村 和雄	4
随筆 早春の庭 .....	友成 久雄	5
エコー・リレー(370).....	松岡 敬子, 河野 一成	6
特集 台風災害保険 - 風水害に備えるために - .....		7
メディアの目 医師のお墨付き .....	岩下 譲	14
グリーンページ 医療制度改革関連法案について(その2) .....	志多 武彦	15
宮崎大学医学部だより(病態解析医学講座 麻酔生体管理学分野) .....	高崎 真弓	26
専門分科医会だより(眼科医会) .....	原田 一道	27
日医 FAX ニュースから .....		34
診療メモ はにわネットを活用しよう .....	荒木 賢二	63

宮崎県感染症発生動向 .....	10
あなたできますか?(平成17年度医師国家試験問題) .....	21
各都市医師会だより(延岡市医師会・日向市東臼杵郡医師会) .....	22
会館建設だより .....	28
平成18年度第1回各都市医師会長協議会 .....	29
みやざきナース Today2006 .....	30
医事紛争情報 .....	36
薬事センターだより(229) トリプタン系薬剤 .....	38
医師協同組合だより .....	39
理事会日誌 .....	40
県医の動き .....	43
医師国保組合だより .....	44
ベストセラー .....	45
追悼のことば .....	46
会員消息 .....	48
ドクターバンク情報 .....	52
行事予定 .....	55
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会 .....	57
読者の広場 .....	65
おしえて!ドクター健康耳寄り相談室 .....	66
あとがき .....	72

~~~~~

|                                                         |    |
|---------------------------------------------------------|----|
| 告知 第142回宮崎県医師会定例代議員会開催, 宮崎県医師連盟執行委員会開催                  | 12 |
| 案内 平成18年度宮崎県医師会第62回定例総会, 第56回互助会総会,<br>第58回医師連盟大会 ..... | 13 |
| お知らせ 第7回宮崎県医師会医家芸術展 作品募集 .....                          | 20 |
| はまゆう随筆原稿募集 .....                                        | 62 |
| 郡市医師会への送付文書 .....                                       | 70 |

## 医師の誓い

人の生命を尊重し、これを救い、更に健康増進に寄与するは、医師たる職業の貴い使命である。

人の生命を至上のものとし、如何なる強圧に遇うとも人道に反した目的のために医学の知識を乱用せず、絶えず医学の研鑽と医術の練成に励み、細心の注意と良心に従って医を行う。

社会の倫理にもとらず、不正の利を追わず、病を追ひ、病を究め、病める人を癒し、同僚相睦び相携えて、医学の名誉と伝統を保持することを誓う。

## 宮崎県医師会

(昭和50年8月26日制定)

〔表紙写真〕

### 紫 蘭

緑輝く夜の片隅に紫蘭の花をみますと静かな幸せを感じます。紅紫色の美しい花と葉の調和に魅せられて思わずカメラを持ち出しシャッターを押した一枚です。たくさん咲いている姿は上品で親しさを覚えます。

あわただしいこの世の中、私達は自然を見習ってすなおな心で日々過ごしたいものでございます。

花言葉(互いを忘れない様に)

小林市 <sup>まき</sup> 榎 <sup>やす</sup> 泰 <sup>こ</sup> 子

## 会長のページ

## 再び医師不足と偏在について

秦 喜 八 郎



5月22日(月)平成18年度県地域医療対策協議会が開催されました。市町村会から医師確保が最重点課題として陳情されたばかりであり、安藤知事も出席しました。テレビ、新聞などマスコミにも大きく取り上げられました。

地域の医師不足の直接の原因は、見切り発車の新臨床研修医制度の導入です。大学病院が医師不足に陥り、医局から地域病院へ派遣していた医師を引き上げた事によります。従来72%の新卒医師が大学病院で卒後研修を受けていました。しかし、5月23日に公表された厚労省調査中間集計結果によると、新制度導入により大学病院での新研修生は44.9%に減りました。さらに2年間の臨床研修を修了後大学病院への勤務希望は49%とされています。即ち大学病院で臨床研修を積む医師は従来より大幅に減少するという実態が明らかになっています。従来、大学医局(すでに医局を解体した大学もありますが)が持っていた卒後研修教育、医師の再配分機能が全く機能しなくなりつつあります。では、残り医師は何処へ行くのか。調査では、大都会の有名市中病院へ集中する傾向が見られています。

勿論、県も大学への地元枠の設置(昨年県医から中山大臣室へ陳情に行った時点では、全国80医学部・医大の内、地元枠設置校は7校のみ)、奨学金の支給、県病院への特別枠医師の採用等を試んでいます。県医では新研修医保険診療説明会(毎年)、大臣認可のドクターバンクの設置(1年余で医師12名のあっせんに成功)、臨床研修指導医養成のためのワークショップ(昨年30名)と実績ある努力をしています。今年度は新研修医確保を目指した医学生への説明会(夏休み中8/3予定)を計画しています。

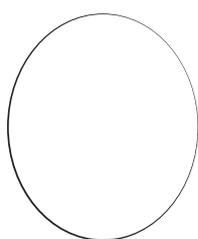
地域医療協議会では、国の方針に従って小児科、産科の集約化のワーキングチームを作ることも決定しました。日本一の周産期医療、日本一安全なお産のシステム(宮崎方式)を全国に発信したいと思います。県下あまねく安心、安全の医療の構築を目指します。(H18.5.25)

P.S. 国内三大音楽祭の一つ、第11回宮崎国際音楽祭(5/4~5/19)終了。青木館長自ら来館。県医の地域文化への支え手としての自覚を。

## 就任挨拶

## 宮崎大学医学部教授就任挨拶

内科学講座 循環体液制御学分野教授

きた むら かず お  
北 村 和 雄

平成18年3月1日より、江藤胤尚先生の後任として、内科学第一講座(4月より内科学講座循環体液制御学分野)を担当させて頂くことになりました。内科学第一講座の初代教授の田仲謙次郎先生や二代目

教授の江藤胤尚先生は内科の教授として教室を発展させるとともに、宮崎医科大学・宮崎大学医学部の内外でリーダー的役割を果たされてきましたので、私が三代目の教授として選任されたことは、大変名誉なことであると同時に責任の重さに身の引きしまる思いを感じております。

私自身は宮崎の出身で、大宮高校を卒業後、宮崎医科大学に一期生として入学しました。入学後はジュニアのころより熱中していたテニスをするために、テニス部を創部しましたが、その時、テニス部の顧問に内科学第一講座助教授の吉田隆亮先生になって頂きました。6年間吉田先生には部活や学業の面でたいへんお世話になってしまい、卒業した時には、吉田先生に勧められるままに第一内科に入局しました。大学院ではペプチド化学・生理活性ペプチドを専門にされていた松尾壽之先生、寒川賢治先生に指導していただきました。大学院修了後に所属研究室を決めることになったのですが、当時大学院生として所属していた第二生化学でANPが発見されていたことや、田仲謙次郎教授の勧めもあったことから、高血圧を専門とすることにしました。その後は田仲先生、江藤先生はじめ多くの先生よりご指導を受けることができ、現在まで高血圧を中心に勉強させてもらいました。

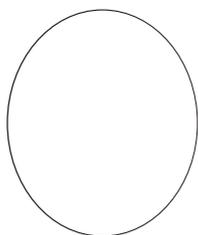
1985年からは米国のテキサス大学で心筋代謝

の研究を行いました。1988年に帰国した時に何をすべきか考えたとき、内科学第一講座や大学のために、私が役立てることは、松尾先生・寒川先生にご指導いただいたペプチド研究に関する方法論を生かすことだと思い、仕事をスタートしました。いろいろと苦労はありましたが、4年の歳月をかけてアドレノメデュリンを患者さんより提供いただいた褐色細胞腫組織より、発見することができました。その後は多くの先生の努力と協力により、アドレノメデュリンに関する研究が展開でき、今年から心筋梗塞治療薬としての開発治験が始まることになりました。

15年前に江藤先生が教授に就任されたときは、当大学の最初の卒業生である我々の世代が卒業10年目程度であり、若い医師・研究者が大部分で、未完成な部分も多かったと思います。現在では、江藤先生のご指導と各医局員の日々の努力のおかげで、若かった多くの教室員が成長し、第一内科は成熟した医師・研究者・教育者の集団となっております。今後は現在の優秀なスタッフと協力して臨床医学講座の責務である診療・教育・研究を推進したいと考えております。そして、高度の医学知識・技量と暖かな心を持った多数の良医を育成するとともに、医療と医学の進歩に貢献できる優秀な研究者を育てることで、教室・医局と宮崎大学の発展と地域医療の充実に貢献したいと考えております。

第一内科の教室・医局の発展には、医師会の先生の協力が不可欠であると思ひますし、今後とも第一内科の医師が医師会の先生のお世話になると思ひますので、よろしくご指導、ご鞭撻、ご支援のほどお願い申し上げます。

## 随 筆



## 早 春 の 庭

宮崎市 野崎病院 <sup>とも なり ひさ お</sup>友 成 久 雄

昨年庭で一番早く咲いた花木はアセビで、1月末に気づいた時はもうほとんど満開だった。アトリエの横で一番奥に植わっているの、近くに寄らないと見えない。鈴なりの白い花がいつもよりきれいに感じられた。今年は冬が寒かったせいか、庭梅や紅梅の方が早く、それらが満開になったのは2月初旬だった。一方、テラスの前に長方形に広がる芝生は枯れた葉が絨毯のように敷き詰まって、その上を歩くのは快い。その東側と南側には一部紅葉したサツキが並んでいる。

年末から体調が悪かったので、2月半ばになって冬の花を植えた。花壇の中心部にはストックを植え、周りにキンギョソウやピンクのマーガレット、ガザニア、丈の高い品種のナデシコなどを配した。縁取りには主にピオラを並べ、中央部だけをキンセンカにした。一部に春の花である桜草の新しい品種、プリムラマラコイデスも植えてみた。

テラスの主要な花は昨年と同じくパンジーとピオラ、プリムラジュリアンの3種である。パンジーだけは12月にチューリップの球根と一緒にプランターに植えていた。チューリップは大きな芽が5、6センチぐらいに伸びて、一部は先端が開いて葉が2、3枚見え、早春を思わす。昨秋購入した鉢植えのノボタンだけは冬の間も咲き続けていた。

2月半ばを過ぎて、紅梅は終わりかけ、素朴

な庭梅が満開になった。私が少し侘びやさびを感じるのはこのウメとコショウワビスケの花である。ワビスケは早くから咲いていたが、しばらく経って深紅の乙女椿が開花し始めた。少し離れて植わっている、白いがわずかにピンクがかった大輪の花の椿は蕾が膨らみ、一輪だけ開いている。斑入りヒイラギの黄色い花も咲き始めている。昔から何回も試みてうまく育たなかったジンチョウゲを久しぶりに植えてみたところ、北側の半日陰で急速に成長しつつある。それが深紅の小さな蕾が密に、円く集まって、濃い緑の葉とのコントラストが美しい。蕾が開くと花弁の内側が見えてきて、白い花になる。

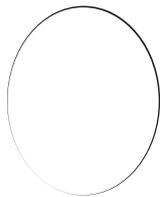
数年前ユキヤナギの親木を移植で枯らしたが、周りに生えてきていた小枝を集めて、前の所とは離れた大木のモミジの下に植えた。自然に出来たクローンだが、それがいつの間にか大きく成長し、姿形もいい若木になった。それが多くの芽を吹き、白い花も開き始めているのに気づいた。芽吹きが一番早いのはこの木である。同じ落葉樹のヒメコブシ、ドウダンツツジ、トサミズキ、グミなどの芽、アンズの蕾などが膨らんできている。一方、プラスチックの池の金魚やメダカたちの動きが速く活発になり、日が当たる所ではメダカも水面上がってくる。最近少し寒波がゆるみ、雨も多いためか春が速足で近づいてくるようだ。

## エコー・リレー

(370回)

(南から北へ北から南へ)

### 大人の脳を鍛える？

日向市 松岡内科医院 まつ おか けい こ 松 岡 敬 子

問題) 4つの異なる数字  
1, 3, , 9から3つの異なる数字を取り出して並べてできる3けたの整数は24個あり, その平均は555である。

これは, 今年の灘中学校の整数の入試問題です。数々の難問たる試験を受けてこられた諸先生方には簡単な問題でしょうが, 40歳をすぎニンテンドーDSの大人用のトレーニングソフトも怖くて手が出せない私は……いやあ, 問題を理解するのも, 解くのも非常に時間がかかりました。しかし, 小学生はこれをひらめきで解かなくてはいけならしいのです。しかも, 解説文にはひらめきの土台は知識であり, 「知ること」, 「知ったこと」を使いこなすことの喜びを知ってほしいなどと, グッとくるような一文もあり, 川島隆太先生の本をたくさん買うだけ買って使わない大人の代表の私など, 小学生にすでに敗北宣言してしまっている次第です。

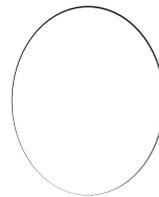
ちなみに, 答えですが, まず答えは0でないということに着目し, 平均の各位はそれぞれ, 4つの数字の平均になります。

この場合は5なので, 1, 3, , 9の平均が5になり  $5 \times 4 - (1 + 3 + 9) = 7$

いかがでしたか？

〔次回は, 都城市の藤元千絵先生にお願いします〕

### 桜

都城市 都城新生病院 かわ の かず なり 河 野 一 成

都城の桜の名所と言え, 母智丘公園で母智丘神社へ続く参道の桜並木があり, 約2kmに渡って桜のトンネルを造り, 日本のさくら名所100選にも選ばれています。母智丘は昔は丸い餅のよ

うな丘で, そこに明治4年, 三島地頭が桜を植え, 昭和2年には豪商江夏芳太郎氏が参道に延々と桜を植えられました。戦後は毎年桜まつりが開催され多くの人で賑わっています。市内中町交差点から西へ, 母智丘通線が走っていますが, この通りの宮丸町から南横市町までの約3kmに渡って10数年前より岩橋前都城市長が桜を植えられました。今春も美しく立派な花が咲き, 今では母智丘に負けないくらいの花のトンネルになり, 幻想的な夜桜や風で花が舞い散る様子がみられました。この桜並木が増々栄え, 華麗で優雅な桜の舞台を作ってくれる事を楽しみにしています。桜は日本の国花にもなっており, 春爛漫と咲き誇る花の美しさ, 落花の風情など古くから日本人に愛され, 和歌や短歌の歴史のなかでも最も多く詠まれています。300以上の品種があり, 80%以上が染井吉野で気象庁の開花予報はこれの開花を基準にしているとの事です。最近も森山直太郎や河口恭吾, コブクロと多くの歌手による桜の歌を耳にしますが, やはり, 日本人は根っから桜が好きなのです。

〔次回は, 西都市の前原正法先生にお願いします〕

## 特 集

台 風 災 害 保 険  
風水害に備えるために

昨年の9月の台風14号は予想もしなかった水害で宮崎市・延岡市を中心に大きな損害をもたらしました。しかしながら、「損害保険に加入していたにもかかわらず保険金の支払対象にならなかった」、「保険金の支払対象になったものの十分な補償を得られなかった」とのお話を多数聞いております。

そこで、集中豪雨や台風による風水災害と損害保険(火災保険)との関係についてご説明します。

## 1. 保険の目的についての確認事項

1) 建物(自宅や病院・診療所等)や営業用什器・備品、家財等の他に、門・塀や物置・車庫、畳・建具・造作及び基礎を含む契約になっているかを確認しておくことが重要です。補償の対象としたい物件が含まれているかを再度ご確認ください。

2) 屋外独立看板(建物に備え付けられた看板や門・塀に付着している看板以外)については、個別に保険契約をしていない場合には保険金の支払対象外です。

\*上記の保険の目的については、保険証券でご確認できます。

\*庭木やゴルフネット及び自動車(一般的には自動車保険の対象)は火災保険の目的にはなりません。

## 2. 保険の種類についての確認事項

風災について

1) 保険の種類によって支払いが異なります。

○通常の保険では、1構内で損害額(時価契

約の場合は減価償却した時価損害)が20万円以上の場合のみ支払いの対象になります。例えば建物損害、門・塀・看板等の損害額の合計が20万円以上になれば支払対象となります。1構内で複数の保険会社と契約している場合も、損害額を合算して20万円を超えているかどうかが問題となります。また、損害額が20万円以上の場合、全額が補償されず(20万円を超える部分のみの補償額ではありません。ただし、保険証券に免責額が明示してある場合には、その免責額が差し引かれます)。

\*最近では支払い対象が20万円以上という制限のない保険もあります。

2) 損害額の認定と保険金のお支払いについて

○損害については、台風が去ってからその損害についてもれなく把握することが重要です(瓦の破損やテレビのアンテナ等の破損等も確認して下さい)。

○建物等に損傷がなく、窓や通気孔等からの雨水の吹き込みや建物の老朽化によって屋根や壁の裂け目等からの雨水の吹き込みにより建物や設備等に被害が出た場合の事故につきましては、保険金のお支払いの対象外ですのでご注意ください。

(建物外部からの物体の飛来 瓦や看板等により窓ガラスが割れた場合など保険の目的に明確な損傷が生じている場合が保

険金のお支払いの対象となります。

- 損害額の認定は、保険会社が損害額を算定し、最終的にお支払い金額の協定(合意)を行うこととなりますが、保険金額の設定が建物の評価(新価・時価)に対して著しく低い場合等につきましては、お支払い金額が減額されますのでご注意ください。

水災について

- 1) 保険の種類によって支払いが異なります。
  - 従来の住宅火災保険(住宅が対象)や普通火災保険(病院・診療所が対象)では水災による損害は支払いの対象となりません。
  - 住宅総合保険(住宅が対象)や店舗総合保険(病院・診療所が対象)の場合は、建物または家財の損害額が時価(保険価額)の30%以上となった場合に支払いの対象と

なります。損害額の70%または保険金額の70%のいずれか低い額を限度に保険金が支払われます。

- また、損害割合が15%以上30%未満で床上浸水または地盤面から45cmを超える浸水があった場合は、保険金額の10%で200万円を限度に保険金が支払われます。
  - 損害割合が時価(保険価額)の15%未満で床上浸水または地盤面から45cmを超える浸水があった場合は、保険金額の5%で100万円を限度に保険金が支払われます。
- \* 営業用什器・備品や設備等(建物・家財以外)につきましては、床上浸水、または地盤面から45cmを超える浸水による損害があった場合は、保険金額の5%で100万円を限度に保険金が支払われます。

建物を保険の目的とする場合

| 損 害 の 程 度                          |                    | お 支 払 い す る 保 険 金                                  |
|------------------------------------|--------------------|----------------------------------------------------|
| イ．損害額が時価の30%以上となった場合               |                    | 損害額 × $\frac{\text{保険金額}}{\text{時 価}} \times 70\%$ |
| 上記イ．以外で床上浸水または地盤面から45cmを超える浸水による損害 | ロ．時価の15%以上30%未満の損害 | 保険金額 × 10%(1事故1構内200万円限度)                          |
|                                    | ハ．時価の15%未満の損害      | 保険金額 × 5%(1事故1構内100万円限度)                           |

設備、什器等を保険の目的とする場合

| 損 害 の 程 度                     | お 支 払 い す る 保 険 金        |
|-------------------------------|--------------------------|
| 二．床上浸水または地盤面から45cmを超える浸水による損害 | 保険金額 × 5%(1事故1構内100万円限度) |

(注1) 上記ロ．とハ．二．との保険金が同時に支払われる場合、保険金の合計額は1事故1構内につき200万円限度となります(ロ．の事故がない場合は、ハ．二．合算して1事故100万円が限度となります)。

(注2) 床下浸水(地盤面から45cmを超える浸水を除きます)による損害の場合には保険金をお支払いする対象とはなりません。

(注3) 臨時費用保険金、残存物片付け費用保険金は対象になりません。

- \* 保険の種類によりお支払いが可能か否か、可能であればどれ位補償されるか等、補償内容にかなりの差があります。
- \* 病院や診療所で水災による損害を100%補償にしたい場合は、基本の火災保険に水災を拡張担保する特約を付帯することも可能です。水害の危険性の高い地域にお住まいの場合には特約の付帯をお勧めします。

## 2) 損害額の認定と保険金のお支払いについて

- ほぼ風災の場合と同様ですが、水災の場合には浸水が床上または地盤面から45cm以上になっているかがポイントです。
- 水位がどこまで来たかを立証するために

必ず写真を撮っておいてください。

## 3. 結 論

加入されている保険の内容によりお支払いの対象になる場合、ならない場合がありますので、まず加入している保険の内容を確認することが重要です。

確認後、補償内容が不十分の場合には保険契約をグレードアップしておくことが次に必要となります。

## 4. 相談窓口

契約内容を確認したい、また内容変更について検討したいなどのご要望がありましたら、他社にて契約された保険でも医師協同組合担当者がご相談に応じますので、遠慮なくご連絡下さい。

## 保険用語の解説

|         |                                                                        |
|---------|------------------------------------------------------------------------|
| 保 険 金 額 | 保険会社が、保険契約に基づいて支払う保険金の最高限度額を示すもので、保険をいくら付けるかというときの「いくら」に当たる契約金額のことをいう。 |
| 保 険 価 額 | 保険を付けた物の価格(評価額)をいい、通常、「時価」と同じ意味である。                                    |
| 保 険 金   | 損害が発生したとき保険会社が被保険者に支払う金銭のことをいう。                                        |
| 保 険 料   | 保険契約者が保険契約に基づいて、保険会社に支払う金額のことをいい、通常、掛け金とも呼ばれる。                         |
| 保険の目的   | 保険契約の対象となる物をいう。例えば、建物に火災保険を付けた場合、建物が保険の目的となる。                          |

宮崎県医師協同組合

(有)エム・エム・エス・シー ☎ 0985-23-9100

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 4 月 ～

平成18年 4 月 3 日 ～ 平成18年 4 月30日( 第14週 ～ 17週 )

## 全数報告の感染症

- 1 類：報告なし。  
 2 類：報告なし。  
 3 類：腸管出血性大腸菌感染症 4 例が宮崎市( 2 例 ) , 中央( 2 例 )保健所から報告された。  
     宮崎市保健所  
     ・ 0 歳の女児で、チアノーゼがみられた。原因菌の血清型は O91( VT1 , VT2 産生 )。  
     ・ 20 歳代の女性で無症状。原因菌の血清型は O91( VT1 , VT2 産生 )。上記、女児と親子。  
     中央保健所  
     ・ 6 歳の女児で、水溶性下痢、嘔吐がみられた。原因菌の血清型は O26( VT1 ) , 家庭内での感染と思われる。  
     ・ 1 歳の男児で、下痢がみられた。原因菌の血清型は O26( VT1 )。  
 4 類：レジオネラ症( 肺炎型 )1 例が宮崎市保健所から報告された。60 歳代の男性で発熱、咳嗽がみられた。  
 5 類：C 型肝炎 1 例が宮崎市保健所から報告された。40 歳代の女性で、感染経路は不明。  
     梅毒 1 例が小林保健所から報告された。20 歳代の男性で無症状。

## 5 類定点報告の感染症( 表 )

定点からの患者報告総数は4,222人( 定点あたり123.3 )で、前月比69%と大幅に減少した。また、例年と比べると106%とやや多くなっている。

4 月に増加した主な疾病はヘルパンギーナと伝染性紅斑で、減少した主な疾病は感染性胃腸炎と流行性耳下腺炎であった。また、例年同時期より報告数の多かった疾病は、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、伝染性紅斑、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

ヘルパンギーナの報告数は41人( 1.1 )で前月の約3 倍、例年の約2 倍と大幅に増加した。1 歳と2 歳で全体の約7 割を占めた。延岡保健所( 4.3 )からの報告が多かった。

伝染性紅斑の報告数も62人( 1.7 )で前月比、例年比ともに約1.8 倍と多かった。3 歳から7 歳で全体の約8 割を占めた。日向( 6.0 )、宮崎市( 3.2 )保健所からの報告が多かった。

流行性耳下腺炎の報告数は338人( 9.1 )で前月比73%と大幅に減少した。また、例年と比べると約2 倍と多かった。2 歳から7 歳で全体の約8 割を占めた。宮崎市( 11.5 )、中央( 6.0 )、小林( 4.7 )保健所からの報告が多かった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数も388人( 10.5 )で前月比83%と減少した。また、例年と比べると122%と大幅に増加した。3 歳から6 歳で全体の約6 割を占めた。延岡( 19.3 )高鍋( 17.3 )、

表 前月との比較

|           | 平成18年 4 月    |               | 平成18年 3 月    |               | 例年との比較 |
|-----------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------|
|           | 報告数<br>( 人 ) | 定点当<br>た( 人 ) | 報告数<br>( 人 ) | 定点当<br>た( 人 ) |        |
| インフルエンザ   | 81           | 1.4           | 319          | 5.3           |        |
| RSウイルス感染症 | 20           | 0.5           | 16           | 0.4           |        |
| 咽頭結膜熱     | 104          | 2.8           | 122          | 3.3           |        |
| 溶レン菌咽頭炎   | 388          | 10.5          | 465          | 12.6          |        |
| 感染性胃腸炎    | 2,288        | 61.8          | 3,462        | 93.6          |        |
| 水痘        | 657          | 17.8          | 819          | 22.1          |        |
| 手足口病      | 6            | 0.2           | 9            | 0.2           |        |
| 伝染性紅斑     | 62           | 1.7           | 34           | 0.9           |        |
| 突発性発しん    | 187          | 5.1           | 189          | 5.1           |        |
| 百日咳       | 2            | 0.1           | 6            | 0.2           |        |
| 風しん       | 0            | 0.0           | 0            | 0.0           |        |
| ヘルパンギーナ   | 41           | 1.1           | 13           | 0.4           |        |
| 麻疹        | 0            | 0.0           | 0            | 0.0           |        |
| 流行性耳下腺炎   | 338          | 9.1           | 466          | 12.6          |        |
| 急性出血性結膜炎  | 0            | 0.0           | 1            | 0.3           |        |
| 流行性角結膜炎   | 42           | 10.5          | 79           | 19.8          |        |
| 細菌性髄膜炎    | 0            | 0.0           | 1            | 0.1           |        |
| 無菌性髄膜炎    | 5            | 0.7           | 4            | 0.6           |        |
| マイコプラズマ肺炎 | 1            | 0.1           | 3            | 0.4           |        |
| クラミジア肺炎   | 0            | 0.0           | 0            | 0.0           |        |
| 成人麻疹      | 0            | 0.0           | 0            | 0.0           |        |

例年同時期( 過去3 年の平均 )より報告数が多い  
 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

小林・日向(12.0), 日南(11.3)保健所からの報告が多かった。

### 月報告対象疾患の発生動向 4月

#### 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：11 ( 図 )

定点からの報告総数は62人( 定点あたり5.6 )で、前月比93%とやや減少した。また、昨年4月と比べると横ばいであった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数34人( 3.1 )で、男性16人、女性18人で、10歳代が約2割、20歳代が約半数を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数14人( 1.3 )で、男性4人、女性10人であった。前月比及び前年比共に約2倍に増加した
- 尖圭コンジローマ：報告数1人( 0.09 )。20歳代女性であった。
- 淋菌感染症：報告数13人( 1.2 )で、前月の報告数が多かったため、前月比約6割と減少した。男性11人、女性2人であった。20歳代が約半数を占めた。

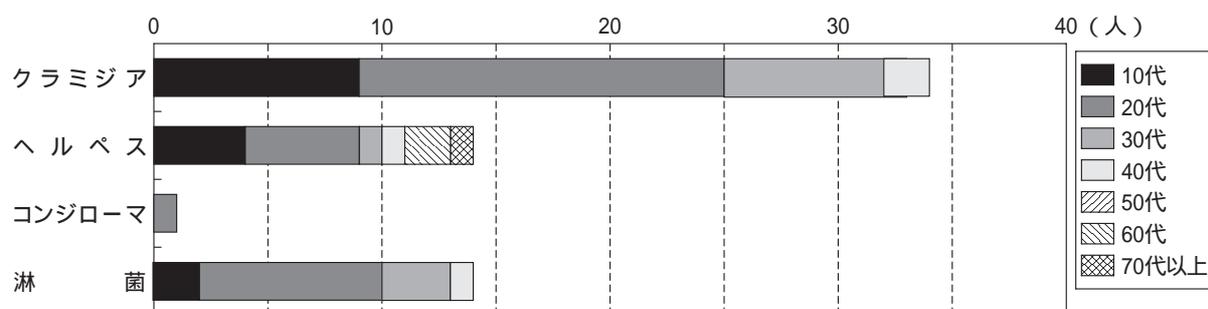


図 年齢別性感染症報告数(4月)

【全国】定点医療機関総数：949

定点からの報告総数は4,953人( 5.2 )で、前月比92%とやや減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,603人( 2.7 )、性器ヘルペスウイルス感染症851人( 0.9 )、尖圭コンジローマ495人( 0.52 )、淋菌感染症1,004人( 1.1 )であった。

#### 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点からの報告総数は30人( 4.3 )で前月比67%と大幅に減少した。また、昨年4月( 5.6 )と比べても77%と少なかった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数25人( 3.6 )で、前月の約6割、昨年の約8割と減少した。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数5人( 0.71 )で、全て宮崎市保健所からの報告であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：449

定点からの報告総数は2,332人( 5.2 )で、前月比103%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,831人( 4.1 )、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症461人( 1.0 )、薬剤耐性緑膿菌感染症40人( 0.09 )であった。

( 宮崎県衛生環境研究所 )

## 告知

## 第142回宮崎県医師会定例代議員会開催

と き 平成18年6月13日(火) 18:50~19:50  
(医師協同組合通常総代会終了後)

ところ 県医師会館4階研修室

## 次 第

1. 議長開会宣言
2. 議事録署名人選出
3. 県医師会長挨拶

## 4. 報 告

- 1) 平成18年度事業現況報告について
- 2) 宮崎県医師会館建設等について

## 5. 議 事

議案第1号 平成17年度宮崎県医師会各会計  
収入支出決算に関する件

## 1) 一般会計

- 2) 県・その他からの委託事業  
・補助事業特別会計

## 3) 福祉特別会計

## 4) 会館管理特別会計

(監査報告)

## 6. 協 議・その他

## 7. 議長閉会宣言

## 宮崎県医師連盟執行委員会開催

と き 平成18年6月13日(火) 19:50~  
(定例代議員会終了後)

ところ 県医師会館4階研修室

## 次 第

1. 開 会
2. 委員長挨拶
3. 報 告

- 1) 平成18年度事業現況報告について

## 4. 議 事

議案第1号 平成17年度宮崎県医師連盟収  
入支出決算に関する件  
(監査報告)

## 5. 協 議・その他

## 6. 閉 会

## 案 内

平成18年度宮崎県医師会 第62回定例総会 ,  
第56回互助会総会 ,第58回医師連盟大会

と き 平成18年 6 月24日(土) 16 : 00 ~

ところ 宮崎観光ホテル 東館 2 階「日向の間」

## 第56回互助会総会

16 : 00 ~ 16 : 10( 10分 )

- 1 . 開 会
- 2 . 互助会長挨拶
- 3 . 報 告
- 4 . 議 事  
議案第 1 号 平成17年度宮崎県医師会互助会  
収支決算について
- 5 . 閉 会

## 第58回医師連盟大会

16 : 10 ~ 16 : 20( 10分 )

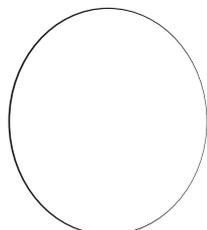
- 1 . 開 会
- 2 . 委員長挨拶
- 3 . 報 告  
1 ) 平成17年度事業報告について
- 4 . 議 事  
議案第 1 号 平成17年度宮崎県医師連盟収入  
支出決算に関する件  
( 監査報告 )
- 5 . 協議・その他
- 6 . 閉 会

## 第62回定例総会 16 : 20 ~ 17 : 20( 60分 )

- 1 . 開 会
  - 2 . 物故会員に対する弔慰黙祷
  - 3 . 県医師会長挨拶
  - 4 . 来賓祝辞及び来賓紹介( 祝電披露 )
  - 5 . 宮崎県医療功労者知事表彰
  - 6 . 退任役員表敬( 前役員 )
  - 7 . 議事録署名人選出( 定款第32条第 2 項により )
  - 8 . 報 告  
代議員会における決議事項  
会務報告
  - 9 . 議 事  
議案第 1 号 平成17年度宮崎県医師会各会計  
収入支出決算に関する件  
一般会計  
福祉特別会計  
会館管理特別会計
  - 10 . 閉 会
- 特別講演 17 : 20 ~ 18 : 20( 60分 )  
演題 「これからの地域保健」  
講師 厚生労働省大臣官房参事官  
梅 田 勝 先生

終了後「紅の間」にて懇親会を開催

## メディアの目



## 医師のお墨付き

宮崎日日新聞編集局次長兼報道部長

いわ した ゆずる  
岩 下 譲

「エアロビクスをしているんですよ。もう4、5年になるかな」。

週末に何かやっていますか、と尋ねられると、こう答えている。相手は決まって、「あなたがねー」といぶかしげな顔をして、「回りは女性ばかりですわ」「汗をかいた後のビールは最高でしょう」と決まって返ってくる。

腰痛に悩まされて久しい。病院はもちろん、いろんな民間療法を重ねたが、最後に指摘されるのは「運動で背筋、腹筋を鍛えなければ治りません」である。

そこで始めたのが、プールでの水中歩行。以来、宮崎市内のスポーツクラブで週2回、2時間ほど歩いたり、泳いだり、あるいはトレーニングマシンを使っただけの運動を繰り返していたが、単調であり面白くない。

そんなとき、女性のインストラクターが「初心者向けの40分エアロビ教室に参加しませんか」と声を掛けてきた。これが始めたきっかけである。

初めのころ回りは女性ばかりで、恥ずかしかったり、インストラクターの動きとは反対の動作をしたりで、汗と冷や汗の連続。その中で、特に指摘を受けたのが「呼吸をしてください」だった。一生懸命のあまり、しばし呼吸を忘れていたのである。これらを何とかクリアし、これま

で続けている。しかも60分のエアロビも付いていける。

今は、ヨガや太極拳も加わった。ゆっくりした動きのヨガはたいしたことないだろうと始めたが、腹式呼吸を繰り返しながらの運動で、これがきつい。

これらの運動をされていて気付くのは汗の質が違うことである。エアロビは、からっとしたのが大量に、ヨガは、ねっとりとした汗がじわっと体内からにじみ出てくる感じがするのである。どちらも終わった後は壮快である。ビールは決して飲んでいない。

5月9日の宮崎日日新聞に「メタボリック症候群」という耳慣れない言葉が出ていた。内臓に蓄積した脂肪が一因となって高脂血症、高血圧、高血糖などを重複して発症した状態を指すのだという。中高年は気を付けなさいと警告している記事である。

毎年1回健診を受けているが、血液検査で「要精密検査」というのは、近年一度もない。しかも2年前の一泊健診では医師から「血液はきれいです。運動のせいでしょう」とまで言われた。まさにわが意を得たりで、しかも医師のお墨付きを得たのである。

## グリーンページ

医療制度改革関連法案について(その2)  
- 医療費適正化計画について -

副会長 志 多 武 彦

## . はじめに

4月号では現時点で最重要課題となっている医療制度改革2法案の概要について述べた。

政府、厚労省は提出法案の会期内成立を目指しているが、法案のねらいは本格的な少子高齢化社会においても持続可能な医療制度を構築することである。そのために、

( ) 健保法改正では、  
医療費適正化計画の導入、  
保険給付の内容・範囲の見直し、  
高齢者医療制度の創設、  
都道府県単位の保険者の再編・統合など、

( ) 医療法改正  
など多岐にわたる内容を含んでいる。  
今回は最も大きな柱である医療費適正化の総合的推進を取り上げる。

要旨は社会保険旬報 2272(06.3.1)に記載されたものである。

## . 今回の改正案の特徴

## 1. 改革の背景

## (1) 従来の改革

支出増加への対応  
患者負担、保険加入者負担の増加

## (2) 今回の改革

高齢化社会での制度存続の可否  
厚労省から官邸主導へ  
関係団体(日医等)の政治力の低下

## 2. 改革の内容

## (1) 従来の改革

患者・加入者負担の強化  
国が主体の改正

## (2) 今回の改革

支出増加抑制等の導入  
・医療費適正化計画の導入(都道府県別評価)  
・医療計画との整合性の確保  
・予防事業法の実施  
都道府県が主体 - 計画の評価と負担方式  
民間の手法 - 品質管理の同一レベルの運営

## 3. 保険者機能

## (1) 従来の改革

従来の保険者単位で対応

## (2) 今回の改革

都道府県内の保険者の協調・連帯による  
事業の工夫と実施  
都道府県単位の責任と負担  
年次行程の明確化と柔軟な対応  
上部団体等の役割変化を要求

## ・成案にいたる過程

1. 従来とはかなり違っていた。厚労省予算が国の一般歳出の45%を占めることから、社会保障費の伸びの抑制は今や一省だけの問題でなく国の財政に直結する。

厚労省案がベースではあったが、医療制度改革案づくりは政府・与党を巻き込んだ官邸主導で進められた。

2. 経過は以下の如くである。

- ・平成17年10月19日、厚労省は議論のたたき台として「医療制度構造改革試案」を公表
- ・同年12月1日、政府・与党の医療改革協議会は「医療制度改革大綱」のとりまとめ
- ・平成18年度、政府予算案構成で診療報酬-3.16%を決定
- ・平成18年2月10日、厚労省は医療制度改革関連法案を閣議決定したうえで国会へ提出

3. 一連の経過の中で論争の焦点となったのは経済財政諮問会議と厚労省の医療費適正化(抑制)の仕組みについてであった。

(1)諮問会議の民間議員は、マクロ経済指標に基づく伸び率管理制度を主張。GDPの伸び率に高齢化の進展を加味した「高齢化修正GDP」の指標の導入による管理を主張した。

(2)これに対し厚労省は「医療費と経済成長は連動しない」と反論し、様々な医療費適正化対策の積み上げによる医療費抑制を主張した。

患者負担増や保険給付の見直しなど個々の施策は国民の理解を得ながら実施し、その施策の積み上げで取り組むとの主張があった。

(3)これらの議論をふまえ、政府・与党の「医療制度改革大綱」では、諮問会議の伸び率管理制度は採用せず、

医療費の伸びについて、5年程度の中期を含め将来の医療給付費の規模の見直しを示す

これを医療給付費の伸びの実績を検証する際の目安とする

一定期間後に目安となる指標と実績をつき合わせ、適正化方策の効果を検証

その検証結果を将来の施策の見直しに反映

との方針を打ち出した。

## ・医療費増加の構図と対策

1. 医療費増加の要因

(1)病床数の多さ、平均在院日数の長さ⇒1人当たり入院医療費の増加(寄与度の5割)

(2)生活習慣病を中心とする外来受診者数と回数多さ⇒1人当たり外来医療費の増加(同上)

(3)(1),(2)の結果として医療費増。主因は老人医療費増で、老人の数と単価(若人の5倍)の増による。

(4)老人医療費は都道府県により大きな格差。全国平均75万円、最高・福岡県90万円、最低・長野県60万円

2. 医療費適正化への取り組み

(1)医療機能の分化・連携と介護体制との連携⇒在宅医療率を高める

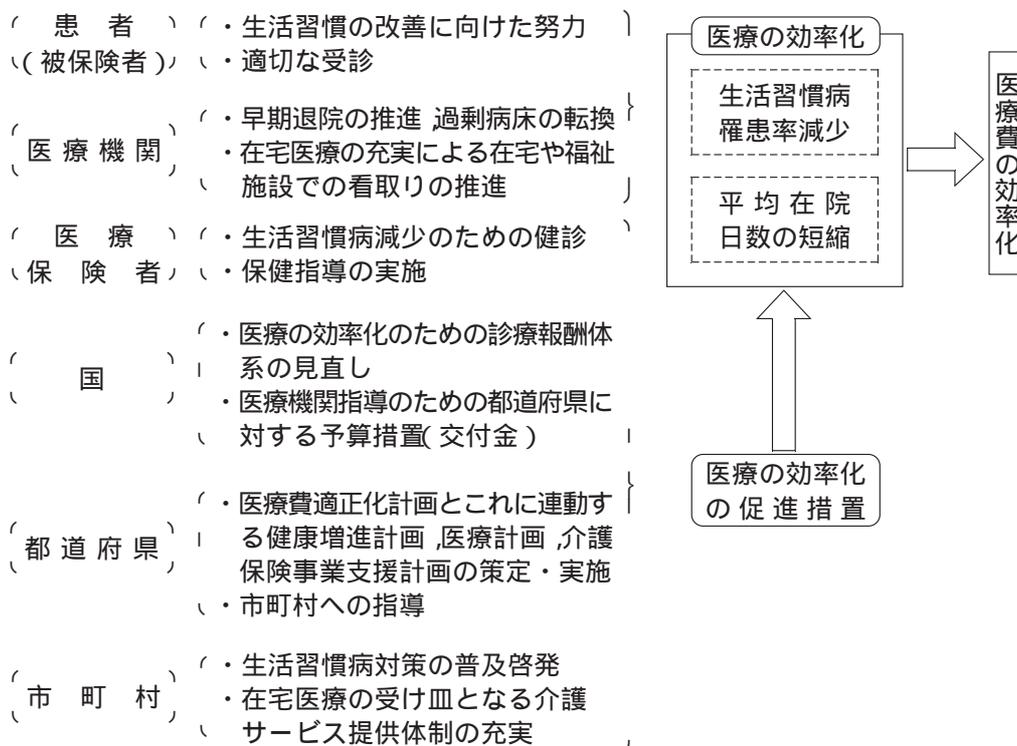
(注)医療機能=急性期・回復期・療養期・在宅医療

(2)生活習慣病対策⇒その患者・予備軍の減少

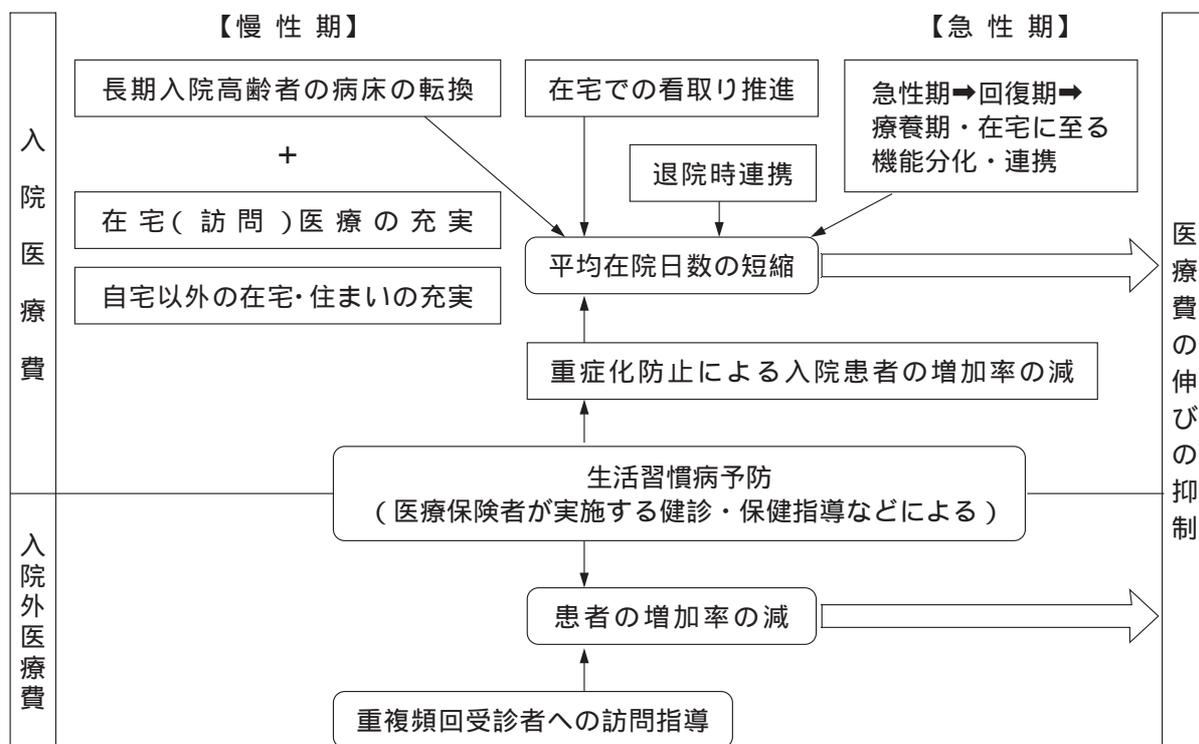
(注)生活習慣病対策=保険者と地域の連携による健康づくりの普及、啓発、網羅的、効率的な健診

ハイリスクグループの個別保健指導

関係当事者全員参加による医療費適正化



医療費適正化と各種取組みとの関係



### ・医療給付費の将来見通し

1月18日厚労省は、改革大綱の医療費適正化対策や診療報酬マイナス改定を織り込んで推計した下記の見通しを提出した。

それによると平成18年(2006年)の医療給付費は改革前の28.5兆円から27.5兆円へと1兆

円削減される。平成37年(2025年)では改革前の56兆円が改革により48兆円と8兆円削減されるとしている。その内容は、中長期策で6兆円、公的保険給付の内容・範囲の見直しで1兆円、診療報酬マイナス改定で1兆円である。

医療給付費の将来見通し(医療制度改革案ベース、平成18年1月)

|       | 2006年度(平成18年)<br>予算ベース | 2010年度(平成22年) | 2015年度(平成27年) | 2025年度(平成37年) |
|-------|------------------------|---------------|---------------|---------------|
| 改革案   | 27.5兆円                 | 31.2兆円        | 37兆円          | 48兆円          |
| 国民所得比 | 7.3%                   | 7.4%～7.7%     | 8.0%～8.5%     | 8.8%～9.7%     |
| GDP比  | 5.4%                   | 5.4%～5.6%     | 5.8%～6.1%     | 6.4%～7.0%     |
| 改革実施前 | 28.5兆円                 | 33.2兆円        | 40兆円          | 56兆円          |
| 国民所得比 | 7.6%                   | 7.9%～8.2%     | 8.7%～9.2%     | 10.3%～11.4%   |
| GDP比  | 5.5%                   | 5.8%～5.9%     | 6.3%～6.6%     | 7.5%～8.2%     |
| 国民所得  | 375.6兆円                | 403～420兆円     | 432～461兆円     | 492～540兆円     |
| GDP   | 513.9兆円                | 558～576兆円     | 601～634兆円     | 684～742兆円     |

(試算の前提)

1. 「改革実施前」は、平成18年度の診療報酬改定及び健康保険法等改正を実施しなかった場合を起算点とし、1人当たり医療費の伸びについては従前通り、70歳未満2.1%、70歳以上3.2%と設定して試算している。
2. 「改革案」は、平成18年度予算を起算点とし、平成18年度の診療報酬改定及び健康保険法等改正の効果を織り込んで試算したもの。
3. 国民所得比及びGDP比の算出に用いた名目経済成長率は、2011年度までは「改革と展望2005(案)」参考試算、2012年度以降は平成16年年金財政再計算の前提を用いて、「基本ケース」及び「リスクケース」の2つのケースを設定している。

名目経済成長率の推移

|        | 2006年 | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年～ |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 基本ケース  | 2.0%  | 2.5%  | 2.9%  | 3.1%  | 3.1%  | 3.2%  | 1.6%   |
| リスクケース | 2.0%  | 1.9%  | 2.1%  | 2.2%  | 2.1%  | 2.2%  | 1.3%   |

### ・医療費適正化の総合的推進

健保法等改正案のトップにあげられているものである。中長期的対策である「医療費適正化計画の策定」と、短期的対策である「保険給付の内容・範囲の見直し」の組合せで医療費の適正化をねらっている。又、介護療養型医療施設の廃止(平成24年4月)もその一環

である。

医療費適正化計画は、生活習慣病予防の徹底による糖尿病患者・予備軍の減少、平均在院日数の短縮の二つが中心で、この二つの対策を都道府県が策定する「医療費適正化計画」に盛り込み推進していく。

関係者全員参加による医療費適正化と各種取組みの構想は図の如くである。注目すべき

は、都道府県の関与を強く念頭においていることである。都道府県は医療計画、健康増進計画、介護保険事業支援計画の3大計画を背負っているが、これらに新たに医療費適正化計画が加わる。「鍵をにぎるのは都道府県」「全員参加の姿は美しいが…」等の指摘もある。

中長期的な医療費適正化の進め方は図のとおりで、医療費適正化計画は平成20(2008)年度を初年度とする5年間の計画として定め、生活習慣病対策としては生活習慣病患者・予備軍を25%減少(平成27年度)させるほか、平均在院日数の短縮では、全国平均(36日)と最短の長野県(27日)の差を半分に

縮小する(同年度)との政策目標を設定している。また、医療費適正化計画には、これらの政策の効果としての医療費削減額も明記する。計画の終了後には都道府県計画の政策目標・医療費見通しと実績と小要因分析を行い、対応策を検討する。その結果をもとに、国全体としての評価をふまえて国は診療報酬体系を見直し、都道府県ごとの特例的な診療報酬を設定することをうたっている。一方、医療保険者に対しては、平成20年4月から40歳以上の被保険者・被扶養者を対象に、糖尿病などの予防に着目した検診・保健指導の実施を義務づける。

中期的な医療費適正化方策

|                |                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>基本的な考え方</b> | 平成20年を初年度とする医療費適正化計画(5年計画)において、政策目標を掲げ、医療費の伸びを適正化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防の徹底→政策目標：生活習慣病有病者・予備軍を25%減少(平成27(2015)年度)</li> <li>・平均在院日数の短縮→政策目標：全国平均(36日)と最短の長野県(27日)の差を半分に縮小(同上)</li> </ul> |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

【 国 】

【 都 道 府 県 】

|                       |                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>役割</b>             | 全国医療費適正化計画・医療費適正化基本方針の作成<br>都道府県における事業実施への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平均在院日数の短縮に資する診療報酬の見直し</li> <li>・医療提供体制の整備</li> <li>・人材養成</li> <li>・病床転換に関する財政支援</li> </ul> 計画の進捗状況の評価(中間年・平成22年度)<br>実績の評価(最終年の翌年・平成25年度) | 都道府県医療費適正化計画の作成<br>事業実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>(生活習慣病対策)</li> <li>・保険者事業(健診・保健指導)の指導</li> <li>・市町村の啓発事業の指導</li> <li>(在院日数の短縮)</li> <li>・医療機能の分化・連携の推進、在宅医療の推進</li> <li>・病床転換の支援</li> </ul> 計画の進捗状況の評価(中間年・平成22年度)<br>実績の評価(最終年の翌年・平成25年度) |
| <b>実績評価の結果を踏まえた措置</b> | 都道府県に配慮して診療報酬を定めるように努める<br>都道府県と協議の上、適切な医療を効率的に提供する観点から見て合理的であると認められる範囲で都道府県の診療報酬の特例を設定することができる<br>設定にあたっては中医協において審議                                                                                                           | 診療報酬に関する意見を提出することができる                                                                                                                                                                                                                                     |
|                       | 保険者・医療機関に対する必要な助言または援助等( )                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                           |

|            |                                                 |
|------------|-------------------------------------------------|
| <b>保険者</b> | 保険者に、40歳以上の加入者に対して糖尿病等に着眼した健康診査及び保健指導の実施を義務付ける。 |
|------------|-------------------------------------------------|

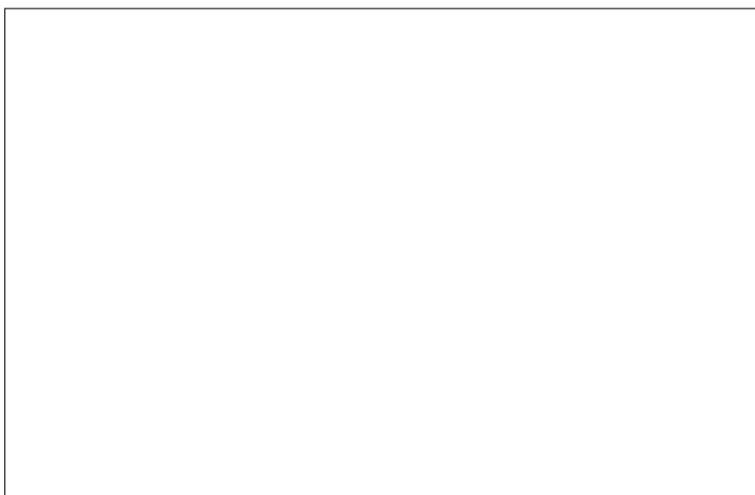
## お知らせ

## 第7回 宮崎県医師会 医家芸術展 作品募集！

「優秀な作品を一同に展示し、作品を通じて交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」を目標に、平成12年から始まった宮崎県医師会医家芸術展も、本年度で第7回を開催する運びとなりました。

回を追う毎に出展者、出展数ともに増え、昨年は過去最高の65名の方々から135点のご応募をいただきました。また、6日間で1,542人と過去の記録を大幅に更新する入場者数となっており、年々県民の間にも浸透しつつあるようです。

今年も県立美術館の県民ギャラリー 及び を確保して、下記の要領にて作品を募集いたします。多くの皆様のご出展を心よりお待ちしております。



( 前回会場風景 )

展示期間：平成18年8月23日(水)～8月27日(日)

場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー ・

応募作品：写真、書道、絵画

応募資格：宮崎県医師会会員及び家族(高校生以上)

応募方法：出品者名、出品部門、作品の点数・大きさ、ご連絡先等を  
下記宛電話またはFAXでご連絡ください。

応募締切：6月30日(金)

応 募 先：宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550



## あなたできますか？

平成17年度 医師国家試験問題より

( 解答は71ページ )

- 1 . 28歳の女性。妊娠30週。子宮底長は22cmで 腹部超音波検査で羊水はほとんど認めない。  
胎児で最も考えられるのはどれか。  
a 食道閉鎖                      b 心室中隔欠損  
c 腎低形成                      d 鎖 肛  
e 胎児水腫
- 2 . 10歳の男児。小学校で他の児童とうまく遊べないことを母親が心配して来院した。乳児のころはおとなしく、3歳児健康診査で言葉の遅れは指摘されなかった。幼稚園では一人遊びが多かった。運動は苦手であるが、プロ野球が好きで選手の背番号をすべて記憶している。冗談は通じずクラスで笑いものになることがある。  
最も考えられるのはどれか。  
a 選択緘黙                      b 行為障害  
c 小児自閉症                      d Asperger 症候群  
e 注意欠陥多動性障害(ADHD)
- 3 . 7か月の乳児。発熱を主訴に来院した。5日前から発熱が続き 昨日から発疹が出現している。体温39.4。全身に紅斑を認め、手背と足背とが腫れている。指圧痕は残らない。両側眼球結膜は充血し、口唇は発赤している。心雑音はなく、呼吸音も正常である。腹部は平坦、軟。肝を右肋骨弓下に2cm触知する。脾は触知しない。血液所見：赤血球390万  $\mu\text{m}^3$   $11.5\text{g/dl}$   $\text{Ht}38\%$ 、白血球15,600(桿状核好中球19%、分葉核好中球48%、好酸球1%、単球5%、リンパ球27%)、血小板41万、CRP16mg/dl。  
まず投与するのはどれか。  
a 抗菌薬                      b 利尿薬  
c アスピリン                      d イソニアジド  
e 副腎皮質ステロイド薬
- 4 . 36歳の男性。心窩部痛を主訴に来院した。10年前から十二指腸潰瘍の再発を繰り返している。夜遅くまで残業することが多く、食事不規則になることが多い。喫煙60本/日を15年間。2週間前から会社の決算期にあたり毎晩遅くまで仕事をしていたところ、心窩部痛が強くなった。血液所見：赤血球454万  $\mu\text{m}^3$   $13.4\text{g/dl}$ 、白血球7,800。血清生化学所見：尿素窒素14mg/dl、クレアチニン1.1mg/dl。 $^{13}\text{C}$  尿素呼吸試験陰性。  
対応として適切なのは、どれか。2つ選べ。  
a 禁煙の指導                      b 絶食の指示  
c 酸分泌抑制薬の投与  
d 非ステロイド性抗炎症薬の投与  
e ヘリコバクター・ピロリの除菌
- 5 . 3か月の乳児。嘔吐と不機嫌とを主訴に来院した。右鼠径部に鶏卵大の固い腫瘤を触知し、この部分を押しと大きな声で泣く。この腫瘤の超音波検査では、腸管と思われる構造を認めた。  
まず行うのはどれか。  
a 用手還納                      b 緊急手術  
c 腫瘤の穿刺                      d 抗菌薬の投与  
e グリセリン浣腸
- 6 . 25歳の女性。頭痛を主訴に来院した。15歳ごろから月に1回程度の頻度で、片側の拍動性頭痛がみられ、半日で軽快していた。頭痛直前に視覚障害があり、頭痛時に嘔吐を伴い光がまぶしく感じるという。来院時、頭痛はなく、意識は清明である。身体所見と神経学的所見とに異常はない。  
最も考えられるのはどれか。  
a 片頭痛                      b 群発頭痛  
c 緊張型頭痛                      d 三叉神経痛  
e くも膜下出血
- 7 . 30歳女性。無月経を主訴に来院した。3年前から月経が不調となり、その後無月経となった。また、このころから前頸部の腫れを自覚するようになった。3か月前から、全身倦怠感と手指の関節痛とが出現している。身長155cm、体重45kg。脈拍68/分、整。血圧112/72mmHg。前頸部にびまん性に軽度腫大した甲状腺を触知する。手指に軽度の浮腫を認める。血液所見：赤血球445万  $\mu\text{m}^3$   $14.0\text{g/dl}$   $\text{Ht}41\%$ 、白血球4,000。血清生化学所見：総コレステロール218mg/dl、AST16単位、ALT10単位、TSH10.5  $\mu\text{U/ml}$ (基準0.2~4.0)、FT40.7ng/dl(基準0.8~2.2)、プロラクチン80ng/ml(基準30以下)、尿妊娠反応陰性。  
この患者にみられるのはどれか。  
a 振 戦                      b 発 汗  
c 下 痢                      d 乳汁漏出  
e 髄膜刺激症状
- 8 . 28歳女性。悪心、嘔吐および蕁麻疹を主訴に来院した。昨夜青みの魚を食べた後、悪心と嘔吐とが出現し、全身に蕁麻疹も出現した。意識は清明。体温37.2。脈拍68/分、整。血圧120/60mmHg。胸部に異常はない。腹部は軽度膨隆し、右肋骨弓下に圧痛を認める。全身に小豆大の膨疹を認め、一部癒合している。尿所見：蛋白(-)、糖(-)、沈渣に異常はない。糞便検査：潜血(-)。血液所見：赤沈18mm/1時間、赤血球400万  $\mu\text{m}^3$   $12.6\text{g/dl}$ 、白血球8,600(好中球59%、好酸球4%、好塩基球1%、単球10%、リンパ球26%)、血小板39万。血清生化学所見：総蛋白7.9g/dl、尿素窒素9mg/dl、クレアチニン0.5mg/dl、AST12単位、ALT6単位、CRP0.5mg/dl。  
この患者の治療薬として適切なのはどれか。2つ選べ。  
a 抗菌薬                      b 免疫抑制剤  
c 抗ヒスタミン薬                      d 副腎皮質ステロイド薬  
e 非ステロイド性抗炎症薬

## 各郡市医師会だより

### 延岡市医師会

会 長 おか 岡 むら 村 ひろ 公 こ 子

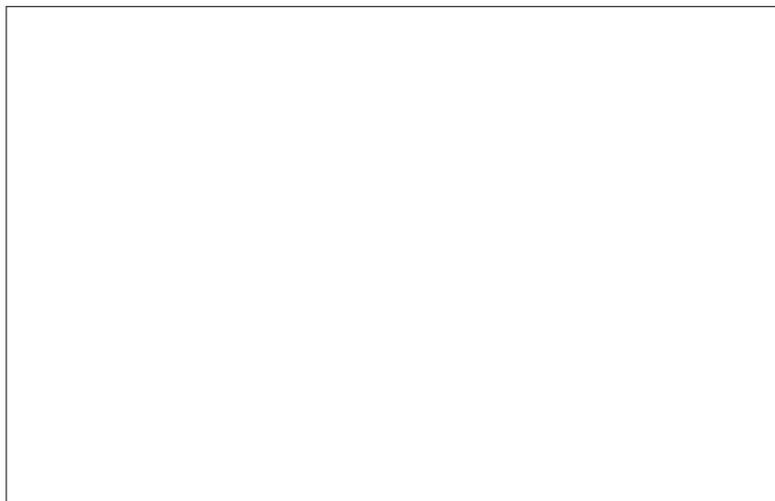
4月から5年間続いた前執行部を引き継ぎました。理事も5名入れ替わりまして若い方になっていただき若返りましたが女性理事を入りたいとの思いは今回かないませんでした。

会員の念願であった医師会病院の新築移転が終了してその運営はこの4月の診療報酬の改定までは順調でした。この改定でさらなる病院経営の手腕が理事会に求められる事になりました。今後病院の在院日数24日を守るために病院の機能の整備や地域連携を会員とともに考えてゆかねばなりません。患者さんの立場に立った地域医療の連携のために、延岡市全体を包括した福祉、介護、医療の地域連携ネットワークの構築が急務と考えています。

看護学校の新築移転も19年度開校を目指し施行業者の選定に向け進んでいるところです。生徒数が少ない事もありその運営も会員の協力なくしては成り立ちません。

懸案でありました救急医療ですが、医師会病院の横に市の夜間急病センターが設置され、小児の救急医療に関しては、大学の先生方の協力と多くの会員の先生方の協力のもと、365日準夜帯の診療が達成されました。内科、外科では365日準夜帯のみならず、週1日だけですが深夜も診療を行う事が出来ています。一步一步のたゆまぬ努力をもって5年間で市民や、行政や、大学医局、会員への啓蒙活動を行ってきた結果と考え、この現状を後退させる事なく今一步進めてゆくために更なる努力をしたいと思います。

これからの医師会活動は会員の多様性なるがゆえになかなかその意思の統一を図る事が難しい情勢ですが、同じ医業を行う一人の医師として、人間として若い先生方に医師会活動を啓蒙し、医師会を継承発展させてゆく基盤を作ってゆく事が私の目標です。



延岡市医師会理事会

### 役員名簿（任期 平成18年4月1日～平成20年3月31日）

| 役職名   | 氏 名   | 年齢 | 医療機関名             | 診療科                               | 担当業務                   |
|-------|-------|----|-------------------|-----------------------------------|------------------------|
| * 会 長 | 岡村 公子 | 57 | 岡村病院              | 内科,皮膚科                            | 渉外                     |
| 副会長   | 牧野 剛緒 | 55 | 黒木病院              | 外科,胃腸科,肛門科,<br>内科,放射線科,<br>泌尿器科   | 医師会病院,地域医療,医療行政        |
| * "   | 小川 修  | 58 | おおぬきクリニック         | 泌尿器科                              | 看護学校,総務,労務対策,医事紛争      |
| 理 事   | 吉田 建世 | 49 | 吉田病院              | 精神科,神経科                           | 県医師会常任理事               |
| "     | 大地 哲史 | 54 | 県立延岡病院            | 外科                                | 学術,会誌編集,勤務医部会          |
| "     | 井手 稔  | 52 | 井手耳鼻咽喉科<br>クリニック  | 耳鼻咽喉科,<br>気管食道科                   | 庶務,会計,学校保健             |
| "     | 佐藤 信博 | 54 | あたご整形外科           | 整形外科,麻酔科,<br>内科,リハビリ科,<br>リウマチ科   | 介護保険,社会福祉,医療保険         |
| * "   | 平野 雅弘 | 50 | 平野消化器科            | 消化器科,内科,<br>胃腸科,肛門科               | 救急医療対策,急病センター,産業医      |
| * "   | 江崎 豊  | 47 | 江崎医院              | 内科,胃腸科,小児科                        | 広報,看護師研修               |
| * "   | 石内 裕人 | 45 | 石内医院              | 内科,皮膚科,<br>泌尿器科,<br>リハビリテーション科    | 腎臓検診,公衆衛生              |
| * "   | 木谷 道隆 | 44 | 木谷医院              | 内科,呼吸器科,<br>消化器科,胃腸科,<br>循環器科,小児科 | 生活習慣病,健康教育             |
| * "   | 日高 孝紀 | 39 | 北方医院              | 内科,消化器科,<br>小児科,外科                | 心臓検診,医療情報,<br>文化厚生会員福祉 |
| 監 事   | 藤本 孝一 | 71 | 藤本内科小児科医院         | 内科,小児科                            |                        |
| "     | 日高 隆徳 | 70 | 日高内科医院            | 内科                                |                        |
| * "   | 戸島 信夫 | 57 | 戸島クリニック           | 内科,神経科                            |                        |
| * 議 長 | 宝珠山 弘 | 75 | ほうしやま子ども<br>クリニック | 小児科                               |                        |
| * 副議長 | 木下 義美 | 59 | 谷村病院              | 内科                                |                        |

\*は新任

**各郡市医師会だより**

## 日向市東臼杵郡医師会

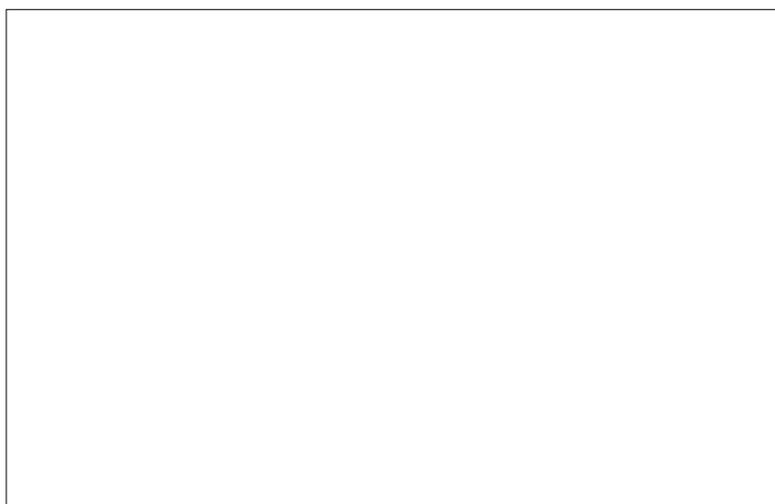
会 長 <sup>か</sup> 甲 <sup>い</sup> 斐 <sup>ふみ</sup> 文 <sup>あき</sup> 明

平成18年1月28日(土)、臨時総会を開催し、任期満了による役員改選を行い、不肖私が会長を続けることになりました。副会長2人も続投です。当医師会の理事は選挙によって少なくとも4名は入れ替ることになっています。長年宮崎県医師会理事を勤められました和田徹也先生が県理事を退かれ、金丸吉昌先生が新しく就任しました。詳しくは役員名簿をご覧ください。

平成18年度の事業計画は、前年度とほぼ同じです。その中で「地域における医療・保健・福祉の推進」に力点をおきたいと考えています。新聞や、NHKのTV番組でも都市以外の公立病院等では、医師不足の窮状が報道されています。地域医療の在り方、特に救急医療への対応が大きな課題となっており、その対策を検討しなければなりません。当医師会二次救急医療体制の輪番制は、当医療圏に大きく貢献し、地域住民が安心して暮らせる社会の一翼を担っています。しかし、済生会日向病院の内科医引き上げにより苦慮しているところです。「地域における医療・保健・福祉の推進」を会員一同の英知を結集して進めていきたいと考えています。

また、昨年度は、9月に市の総合防災訓練(地震・津波)、3月に集団災害事故救急救護訓練、その他日向市等の要請を受け、協力実践してまいりました。引き続き本年度も地域の行政との連携協力を推進していきます。

益々厳しい状況になってきました准看護師養成学校の運営、訪問看護ステーション等の運営の安定・充実にも目を向けたいと考えています。



日向市東臼杵郡医師会理事会

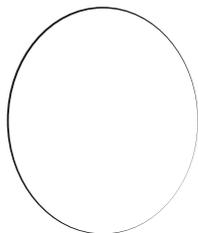
## 役 員 名 簿 (任期 平成18年 4月 1日 ~ 平成20年 3月31日)

| 役職名 | 氏 名   | 年齢    | 医 療 機 関 名  | 診 療 科                                                                            | 担 当 業 務                                                                     |
|-----|-------|-------|------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 会 長 | 甲斐 文明 | 74    | 甲斐外科医院     | 外科 , 消化器科                                                                        | 会務全般 , 渉外 , 日向看護高等専修学校<br>長 , 日向市東臼杵郡医師連盟委員長 ,<br>県医互助会支部長 ,<br>県医師連盟支部委員長  |
| 副会長 | 三ヶ尻榮一 | 69    | 三ヶ尻整形外科医院  | 整形外科 ,<br>リハビリテーション科                                                             | 総務 , 医事紛争 , 労災 , 医療安全対策                                                     |
| "   | 渡邊 康久 | 56    | 三股病院       | 泌尿器科 , 内科                                                                        | 総務 , 日向看護高等専修学校副校長 ,<br>老人保健 , 成人保健 (がん検診) ,<br>看護師研修会 ,<br>日向市東臼杵郡医師連盟副委員長 |
| 理 事 | 中村 恒雄 | 69    | 向洋クリニック    | 泌尿器科                                                                             | 学校医部会 (総括) , 腎臓検診委員長 ,<br>かかりつけ医推進運営委員長 ,<br>小児生活習慣病健診委員長                   |
| "   | 中島 清美 | 61    | 済生会日向病院    | 外科 , 消化器外科 ,<br>呼吸器外科                                                            | 勤務医部会 , 感染症 医の倫理 , 公衆衛生                                                     |
| "   | 和田 徹也 | 60    | 和田病院       | 外科 , 内科 , 消化器科                                                                   | 訪問看護ステーション運営委員長 ,<br>介護保険 (在宅サービス)                                          |
| "   | 古賀 正広 | 55    | 古賀内科胃腸科    | 内科 , 胃腸科 ,<br>消化器科                                                               | 会計 給与 医師連盟会計責任者 ,<br>内科医会長 , かかりつけ医推進運営委員 ,<br>訪問看護運営委員                     |
| *   | "     | 瀧井 修  | 瀧井病院       | 精神科 , 内科                                                                         | 学術 , 生涯学習 , 健康教育                                                            |
| *   | "     | 金丸 吉昌 | 美郷町国保西郷病院  | 内科                                                                               | 県医師会理事                                                                      |
| "   | 千代反田晋 | 51    | 千代田病院      | 外科 , 呼吸器科 ,<br>消化器科 , 胃腸科 ,<br>循環器科 , 肛門科 ,<br>呼吸器外科 ,<br>心臓血管外科 ,<br>気管食道科 , 内科 | 救急医療                                                                        |
| "   | 尾崎 峯生 | 51    | 尾崎眼科       | 眼科                                                                               | 情報システム , 広報委員 , 地域医療保健                                                      |
| *   | "     | 吉田 馨  | 吉田クリニック    | 内科 , 循環器科                                                                        | 予防接種 , 小児保健 ,<br>学校検診 (心臓検診委員) ,<br>小児生活習慣病ドクターズ委員会委員                       |
| *   | "     | 鮫島 貴  | 鮫島整形外科医院   | 整形外科                                                                             | 産業医 , 医療保険 , 会員福祉 ,<br>訪問看護運営委員                                             |
| 監 事 | 吉森 治男 | 80    | 吉森医院       | 内科 , 胃腸科                                                                         |                                                                             |
| "   | 田中 浩夫 | 75    | 田中病院       | 精神科 , 神経科 , 内科 ,<br>放射線科                                                         |                                                                             |
| *   | 議 長   | 大久保史明 | 大久保外科胃腸科医院 | 外科 , 胃腸科 ,<br>放射線科 , 肛門科 ,<br>リハビリテーション科                                         |                                                                             |
| *   | 副議長   | 二木 秀人 | 二木医院       | 産婦人科 , 外科 ,<br>胃腸科 , 放射線科                                                        |                                                                             |

\*は新任

## 宮崎大学医学部だより

### 病態解析医学講座 麻酔生体管理学分野



たかさき まゆみ  
高崎 眞弓 教授

改名しました

講座の名称を麻酔学から上記のように変更しました。ただし仕事の中味は変わっていません。教育と研究、それに診療を25人ほどの医師でこなしています。診療は、手術部と集中治療部における患者管理、ペインクリニックと緩和医療です。マンパワーを手術の患者管理に60%、集中治療の患者管理に25%、疼痛患者の管理に15%くらいの割合で注いでいます。

急増する手術・麻酔件数

開院以来の手術件数を図に示しました。手術件数は平成11年から増加し、平成17年度は前年度より10%も増えました。ついに手術室が足りなくなり、今秋から建築を始め来秋には新しい手術室が12室完成します。国立大学病院ではど

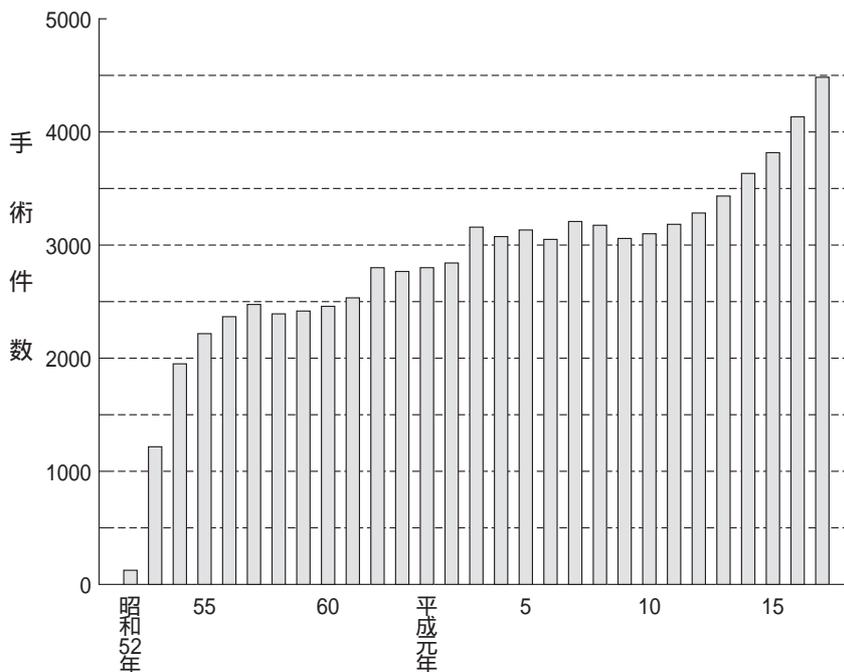


図 手術件数の年次推移

こでも手術件数が急増しています。出来高払いが残る手術と麻酔で稼ごうというわけです。近い将来、国立大学病院で、年間手術件数1万件というところも現れるでしょう。

大学病院と宮崎県内の関連病院で、平成17年度は1万3千件の麻酔業務を行いました。

対応に困窮する麻酔科

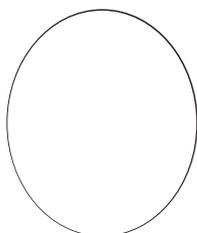
麻酔科医は、手術件数の80%の麻酔管理を行っていますが、対前年比10%の急増に対応しなければなりません。そのためには、給料を払えるポジションを確保して、麻酔科医を育成しなければなりません。現在の国立大学病院では、麻酔科医の募集・採用・育成は科長に、ポジションの確保は医学部長または病院長にまかされています。育成しても職がなければ、高給を出すほかの病院へ移動します。診療業務だけに追い回されると、同じ業務を行っても給料の高い市中病院のほうへ移動します。大学病院の特徴である研究に30%の時間を使うことができれば、多少給与が安くても大学病院で働いてもらえるでしょう。

以上のどこかが破綻して、42の国立大学病院のうちの10~15%の麻酔科が最近壊れました。東北

大学病院では麻酔科医が足りないために手術を増やせず、ついに高額を払って派遣会社から麻酔科医を派遣してもらっていることは、テレビや新聞で報道されました。麻酔科の教授を首になった人、科長を降ろされた人、辞表を出したが辞めさせてもらえない教授などさまざまです。国立大学病院に比べると私立大学病院はしたたかです。麻酔科医には給料を2倍出し、定員を設けず何人も雇います。この柔軟な発想が、私立大学の麻酔科を支えているように感じます。

(高崎 眞弓)

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り ( 眼 科 医 会 )



はらだ かずみち  
原田 一道 会長

宮崎県眼科医会の総会員数は平成18年4月1日現在、A会員50名、私的医療機関に勤務するB1会員29名、公的医療機関に勤務するB2会員18名、卒後5年未満のC会員7名、会費免除会員8名の計112名で構成されており、役員は原田一道会長、柴田博副会長、川島謙一郎副会長と各ブロックより選出した理事14名の体制で活動を行っております。役員は全員業務を分担しますが、年間の決算予算組みを行う会計のほか、総会や理事会などの会の運営を司る総務部、年1回会誌を発行する庶務部、角膜移植のための眼球提供を推進するアイバンク部、県医師会指導の社会保険研究会や保険審査委員と役員との連絡協議会を運営する健康保険対策部、勤務医の問題点の収集と対策を行う勤務医対策部、日本眼科医会よりの情報伝達や、各県支部や大学との連絡網として広報部がありますが、その他に隔月に開催する理事会の決定事項を通達する理事会報の発刊やホームページの追加更新など広報活動も精力的に行っています。医療対策部は県医師会と連携して医事紛争への対処と情報収集を広範に行っています。公衆衛生部は毎年、厚労省の事業の一端として他科と協力して3歳児検診を行っています。最近地域も拡大しその範囲は郡部にまで及んでいますが、児童の検診事業は更に発展させたいとこ

ろです。又、本年は大事業として県民参加のフォーラムとして「目の健康講座」とそれに付随した無料検診を9月30日開催予定で現在作業をすすめております。県民の皆様の多数の参加を期待するところです。専門医制度は医会主催の講習会を年5回行う計画です。これは生涯教育を目的とするほか日本眼科学会専門医制度認定のための事業でもあります。その他福祉部もあり会員の福祉のために、眼科医療従事者のスキルアップをめざし外部より講師を招聘しての上級者講座、および内部認定眼科コメディカルのための初級講座を随時開催しております。また会員のレクレーションとしてはアウゲン会と称してゴルフとテニス大会を年2回開催し親睦を図っておりますが、年々参加者も増加しており喜ばしいことと思っております。

来年度は宮崎大学医学部眼科と宮崎県眼科医会の担当で第77回九州眼科学会が当地で開催されます。全国各地より学問のため多数の参加者が望まれるところですが、この学会を通じて多少なりとも県眼科医会の活動をご理解いただければと思います。

ご高承のごとく眼科医はマスコミの誤った記事のひとり歩きにてバッシングをこの数年うけておりますが、宮崎県眼科医会は県民の目の健康のためにめげずに鋭意努力する次第です。県医師会会員の皆様にはどうぞご理解のうえご支援とご協力を賜れば幸いです。

(原田 一道)

## 会館建設だより

### ボーリング調査が始まりました

現会館西側駐車場の購入手続きも終了し、地質調査のためのボーリングが始まりました。下記の予定で約 1 か月間にわたり 4 か所を調査します。

#### (工事期間)

現会館西側通路(北側)付近

5月9日(火)～5月13日(土) 5日間

西側駐車場南西付近

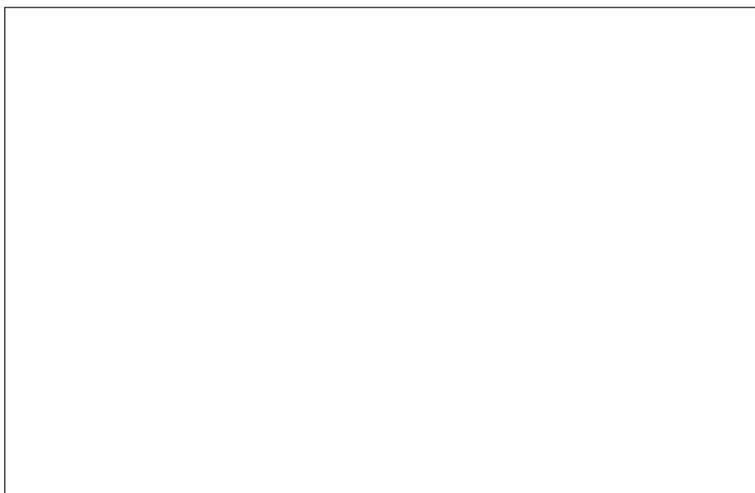
5月15日(月)～5月20日(土) 6日間

西側駐車場北西付近

5月22日(月)～5月27日(土) 6日間(日曜日は除く)

現会館西側通路(南側)付近

5月25日(木)～6月5日(月) 10日間(日曜日は除く)



## 平成18年度第 1 回各都市医師会長協議会

と き 平成18年 4 月14日(金)

ところ 宮崎観光ホテル

稲倉常任理事の司会により秦会長の挨拶があり開会された。

### 1. 報 告

#### 1) 4月1日(土)・2日(日)第114回日本医師会定例代議員会について

志多副会長から次のような報告があった。

1日目は役員及び裁定委員の選挙があり、ご存知のとおり前東京都医師会長の唐澤祥人先生が現職の植松治雄先生を破って当選、副会長も定数3名に対し4名の立候補があり選挙となり、常任理事についても定数10名に対し11名が立候補され選挙となった。なお、九州からは副会長に福岡県医師会長の竹嶋先生、常任理事には長崎県医師会の今村先生が当選された(選挙の詳細な結果については県医 FAX ニュース及び日州医事5月号に既報)。

2日目は新会長の唐澤先生の所信表明があり、平成18年度の事業計画・予算等審議され全ての議案が承認された。その後、執行部に対する質問がありブロック代表質問4件、個人質問9件が行われた(質問及び回答については日医雑誌5月号別冊に全文掲載)。

#### 2) 宮崎県医師会館建設進捗状況について

稲倉常任理事から次のような説明があった。

会館西側県有地の土地売買契約を4月10日に行い、近々代金を県に支払い、その後所有権移転登記を予定している。建築許可に向けては、3月28日に建築許可申請書を

宮崎市に提出。今後付近住民への説明会、公聴会を経て、建築審査会で協議の後、正式許可が下りる予定。今後は、設計業者との正式契約、ポーリング調査をはじめとする実施設計、施行業者の選定となるが、重要案件については代議員会、会長協議会にお諮りしたい。

#### 3) 研修会の開催日程について

稲倉常任理事から次のような説明があった。

この3月に診療報酬改定、介護保険の改定等もあり、その上社会保険医療担当者の集団指導、医療安全対策の研修会、成人病検診基本健康診査従事者研修会等が重なり先生方にご迷惑をおかけした。平成18年度はなるべく研修会等の開催を平準化していきたい。

#### 4) 保険医療機関の取り消しについて

秦会長及び稲倉常任理事から今回の事実経過及び県社会保険事務局での答申内容を説明、県医師会執行部としての対応並びに声明文についても言及し、不祥事件の発生防止に努めることを述べた。

### (出席者)

|        |                                                |
|--------|------------------------------------------------|
| 各都市医師会 | 中村会長, 夏田会長, 岡村会長, 甲斐会長, 永友会長, 相沢会長, 大井会長, 大森会長 |
| 県 医    | 秦会長, 大坪・志多副会長, 稲倉・西村常任理事<br>児玉課長, 竹崎課長補佐       |

## みやざきナース Today 2006

1990年に厚生省はフローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日を『看護の日』と制定した。看護の日記念行事として恒例になった「みやざきナース Today」は、本年度も県立看護大学高木講堂で開催された。

記念式典では、主催者代表挨拶、来賓祝辞、主催者紹介の後、日本医師会長、日本看護協会会長からの祝電が披露された。

次いで、各種表彰に移り、永年に渡り看護や介護事業に功績のあった看護職の方々へ贈られる「看護の日」記念宮崎県知事表彰が行われ、県医師会推薦の1名を含む次の6名に表彰状と記念品が渡された。

新 名 善 子（海老原病院）

福 島 セツ子（藤元病院）

荒 竹 トシ子（椎葉村国民健康保険病院）

長 友 俊 子（野崎東病院）

橋 口 佳 子（日南看護専門学校）

内 山 ハルミ（都城市郡医師会病院）

続いて「伝えたい看護の心のメッセージ」優秀作品宮崎県医師会長表彰が行われ、大坪副会長が表彰状と記念品を授与した。本年度は197点の応募があり、慎重に審査した結果、最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作3点を選考した。この受

と き 平成18年5月13日(土)

と ころ 県立看護大学高木講堂

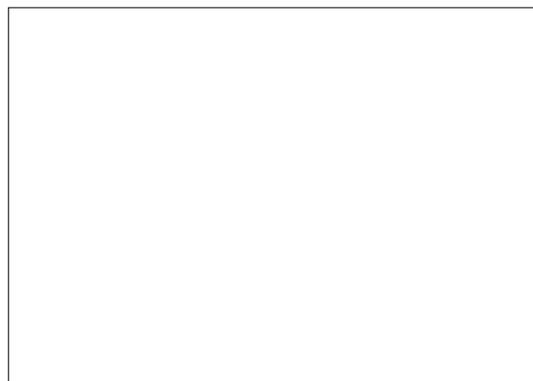
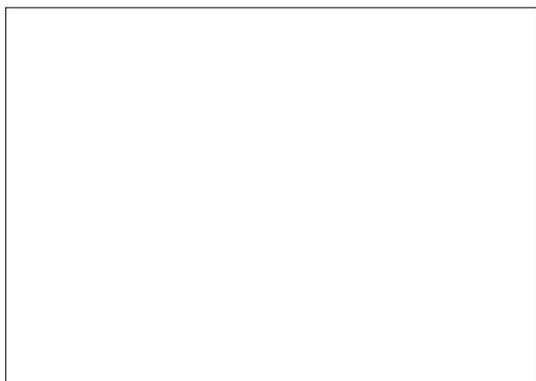
賞作品6点はプログラムにも掲載された。

次に、「ふれあい看護体験」感想文優秀作品・宮崎県看護協会会長表彰が行われた。

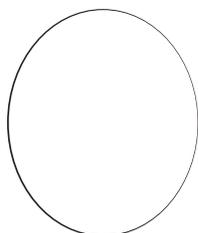
特別講演では、元じゅぴあ財団理事長上原道子氏を招き、「癒しあい、育ちあい」と題して講演があり、客席ひとりひとりに優しく語りかけるような講演に、満員の会場も引き込まれていた。

また、ミニフォーラムでは、「訪問看護をご存知ですか？」と題し、実際に県内で訪問看護に深く関わっている医師・訪問看護師・訪問看護利用者の3名がパネリストとして招かれ、それぞれの違った立場から「訪問看護」をどのように捉えているかについて発表した。医師の立場として、パネリスト日高四郎先生(日高医院長)からは、訪問看護で関わった患者さんとの思い出の写真や、ご自身が地域の方々と触れ合いながら取り組んできた活動の写真を交えながら訪問看護の現状の話があり、そのユニークな語り口に、会場は熱心に耳を傾けていた。会場とパネリストが意見・質問を交わしあい、活発なフォーラムであった。参加者は489名であった。

出席者 大坪副会長、久永係長、福元・串間・那須主事



## 「伝えたい、看護の心のメッセージ」



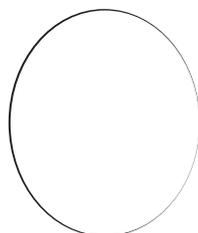
## 最優秀賞

あい こう かず よ  
愛 甲 和 代

(宮崎医療福祉専門学校)

## 「すてきな看護師さん」

実習先で見かけた、若くて笑顔がすてきな看護師さん。私はあなたのこと名前すらわかりません。でも、あなたを見たとき、とてもすがすがしい気持ちになりました。あなたはいつでも患者様のナースコールが鳴ると嫌な顔せずやってきて、笑顔で看護をしています。あなたに甘えたくて、たわいもないことでナースコールを押していることを、あなたは知っているのに。あなたのことをすてきなあと、感じているのは私だけではありませんでした。患者様が私にそっと教えてくれたのです。「あの看護師さんはいいわあ。忙しくてもこの病室を通るときでも、病室の前にくると顔をのぞかせていつも笑顔で声かけてくれるわー」って。すばらしい看護者を決めるのは患者様なのだと言われても私には信じられません。あなたの笑顔は何よりも患者様を元気にしています。私もあなたのような看護師になりたい。



## 優秀賞

もと やま あつ こ  
本 山 厚 子

(宮崎 市)

## 「医師のひと言」

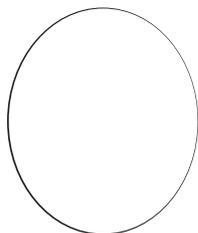
「お母さんが急変したから直ぐに行って…」姉からの深夜の電話。取るものも取りあえずパジャマを着替えると大急ぎで母のいる特別養護老人ホームに夫と共に駆けつけた。母は既に帰らぬ人となっており、傍らには医師が一人見守っておられた。しばらくの後、医師より「亡くなられた時の状況を説明しましょう」と最期の様子を話され、終わりに「一生懸命看病されたので、とても安らかな顔をされてますよ」と結んで下さった。

一人暮らしをしていた母の家に、姉・兄達と交替でお世話に通い、やがては交替で泊まるようになり、ついには特別養護老人ホームにお世話になって其処に交替で通うこととなった。

その間、連れ合いの大病、他町に居住、姑のお世話、残業続きの職場等々各々の者が其々の事情を抱えながらの母の看病であった。時には、『母の傍らにもっと居てあげたい...』『でも早くあの仕事もしておかねばならないので.....』等と母の元を離れるのに心が揺れ、葛藤した。

母の最期に及んで、医師の結びのひと言により私は何かしら肩の力が抜ける様な、救われる様な気持ちになり、『ああ、母もきっと安らかに旅立てる。これで長い療養生活が終わり、母は楽になるのだ』と思った。

97歳で逝った母、永い間頑張ってくれて本当にありがとう。そして、最期までお世話になった先生、かけがえのないひと言をありがとう。



## 優 秀 賞

かわ ぐち  
川 口 モモエ

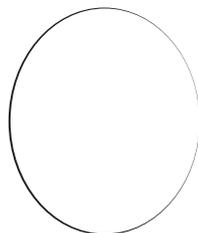
(都 城 市)

「今、老健で思うこと」

「Sさん!!何歳でしたかねえ」「私ね、75歳じゃよ」と、現在90歳のSさんは、脳血管障害になられた時の年齢でとまったままなのです。

「今日は家族が迎えに来るから」といつも荷物をまとめておられるOさん。「バスに乗せて～」とデイサービス用の送迎車にせがむTさん。利用者の誰もが「家が一番いい」と思いながらも、この施設の中でお過ごしになっておられます。それぞれの事情で、それが難しいことが多くなっている現実に、胸の痛い思いをしている、今日この頃です。

現場で働く看護師や介護福祉士は、利用者様の笑顔の中に、さびしさや、悲しさや、がまん強さのあることを思いやりながら、利用者様にとって、家族と職場と地域が、心の通い合う絆で結ばれていければと切に願っています。



## 佳 作

さ とう さと こ  
佐 藤 聡 子

(宮崎看護専門学校)

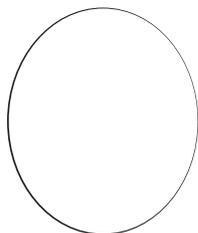
私は以前、療養型の病院で介護の仕事をしていました。その病棟の患者様の多くは高齢者や体の不自由な方が殆どでした。福祉の仕事に全く携わった事のない私には、毎日が驚きの連続で私の人生の大きなターニングポイントとなりました。

人として思いやりを持つ。分かっていたようで、今までの自分には欠けていたのだと深く痛感させられました。

私には、脳出血で障害者となった母親がいます。その母が勤務してしばらくたつ私に「あなたは変わったわね」と言いました。私がどこかと聞くと「優しくなったよ、思いやりが感じられるよ」と言ってくれたのです。それまで親子という関係に甘え、障害者である弱い立場の母に、自分と同じものさしで全てを測り、求めていたのだと初めて気付きました。

私は看護や介護をするという事は、知識や技術ももちろんですが、何よりも『思いやりの心』で接する事が一番大切だと思いました。

私は患者様が心を和ませる事のできる、そんな温かいナースになりたいです。



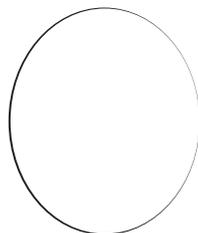
佳 作

なか はら あ い  
中 原 亜 衣

(小林西高校)

私は学校に通いながら准看護師として病院に勤務しています。去年の5月私の父は脳出血で倒れ、寝たきりになりました。たくさんの点滴やモニターにつなわれ、ほとんど言葉も発せず、頬がやせこけ、顔が変わっていました。食事は鼻のチューブからとり、排泄の援助もしなければならぬのです。そんな父の姿は生きながら死んでいるようだと感じた事もありました。徐々に状態が良くなって話ができる様になった時、父が「死にたい」と言った事があります。私は准看護師の資格を持っていながら、何の力にもなれず、父の体の変化にも気付いてあげられなかったことが悔しくて涙がでました。そんな時、看護師さんの「あなたがしっかりしないと。あなたが准看の資格を持っているから、こうしてお父さんの事も見てあげられるんでしょう。一緒に頑張ろう」という言葉に本当に勇気づけられました。患者さんもそうだけど、患者さんの家族にとっても看護師さんの言葉にはとても励まされるものだ実感しました。身体面だけのケアでなく、精神面のケアも大事な事だと改めて感じました。

看護師の一言にはパワーがあると思います。私も患者さんに元気や生きる力を与えられる看護師になりたいと思っています。



佳 作

おし かわ し ま  
押 川 志 麻

(宮崎看護専門学校)

3月に7歳の長女が手術を受けました。両側扁桃摘出術という一般的なものでしたが、母としての私は不安がつり、押しつぶされそうな気持ちでした。

術後、泣いて腫れあがった娘の顔を見て、一緒に泣きながら手を握ってあげる事しかできない私は、一晩中娘の顔を見守りました。

看護を今現在学ぶ者として、患者の母親という立場となって初めて、不安や辛さがのしかかってくる重みを感じることができました。

患者だけではなく、家族へのケアの重要性に本当に気付く事の出来た瞬間に、自分がこれから行っていく看護に必要な心を少しでも理解できたのだと感じました。

術後も年齢が小さいために病棟の看護師さんには時間をさいていただき、話し相手になってもらったり、食事をなかなかとれない娘を上げまし、様々な事で楽しませてくれようとする姿を見て、私も安心することが出来、本当に感謝するだけでは足りない思いでした。

これから看護師となる私がこのような経験を通して病棟の看護師さんのように一生けんめいで、患者や家族の精神的なケアにも自を向けていける、そんな看護師を目指そうと思います。

## 日医 FAX ニュースから

### 医療制度改革関連法案で意見陳述

内田健夫常任理事は4月26日、医療制度改革関連法案を審議中の衆院厚生労働委員会に参考人として出席し、医療現場を預かる医師の立場から、意見を述べた。

内田常任理事は、国民皆保険制度を維持するためには今回の法改正は必要なことと理解しているとしながらも、財政主導の視点が目立つなど、法案の中身は問題点も多いと指摘。具体的な事項として、まず、高齢者負担増、高額療養費支援の縮小など、患者負担増が顕著になっていることを挙げ、これ以上自己負担が増えれば、医療保険制度の崩壊につながるとその危険性に言及した。

いわゆる混合診療の導入については、あらためて反対を表明、平均在院日数、総治療期間の短縮については、治療中断や医療従事者の業務過密化が起り、かえって疾病の重症化や長期化を招く恐れがあることなどを指摘し、適切な医療提供体制の整備のための財源の確保など、迅速な対応を求めた。

都道府県が医療費適正化計画や保険料を設定するという点については、地域格差の増大を招き、「負担は公平、給付は平等」という保険の基本理念に反すると批判。また、介護療養型医療施設の廃止については、介護難民、医療難民が大規模に発生する恐れがあるとした上で、療養病床や長期医療の在り方について、介護保険、医療保険、医療法などを包含した検討を行うことを求めた。（平成18年5月9日）

### 医療制度改革関連法案の問題点を指摘

日医は5月16日、都内のホテルで緊急記者会見を行い、国会で審議中の医療制度改革関連法案についての考えを説明した。

唐澤会長は、「審議中の法案を地域医療に適用することを考えると、不整合なものが多い」と指摘。地方からは、地域医療に大きな混乱を来す可能性があるとの意見が出ていることを明ら

かにした上で、随時、現場の意見を強く主張していきたいと述べた。

竹嶋副会長は、「医療は国民のライフラインである」と強調。同法案に盛り込まれている財政主導の政策を問題視するとともに、医療関係分野における質の低下を危くした。また、医療の地域格差や負担の公平性、社会医療法人の創設の問題等にも言及し、地域医療全般を視野に入れた対応を求めた。今後の対応としては、「十分な議論を尽くし、不備な部分については付帯決議、政・省令等で適切に対応するよう要望していく」との考えを示した。

療養病床の再編に関しては、1 介護保険3施設は、「いわゆる社会的入院の解消」を目的として創設されたこと 2 第3期介護保険事業計画(2006～08年度)の策定には、介護療養型医療施設の廃止を含む療養病床再編計画が織り込まれていないことを挙げ、制度設計から短時間で大幅な見直しを迫るのは、論理性に欠けると説明。介護難民の流出、社会的資源の損失を防ぐためにも、早急に見直しを提言する必要があるとした。

また、4月に行われた診療報酬と介護報酬の同時改定についても、制度間の整合性がなく、社会的入院の問題解決が示されていないと指摘。具体的な解決策を早急に検討する必要があると述べた。

診療報酬改定については、1 「医療区分1」の点数設定があまりにも低く設定されていること 2 月72時間に制限された看護師の夜勤時間等の人員基準 3 リハビリテーションにおける集団療法の廃止等を、緊急に対応が必要な事項として挙げた。

また、告示から届け出までの期間が非常に短いことを指摘し、改定実施までの準備期間が十分に取れるような対応を求めていくとの考えを示した。（平成18年5月19日）

### 3割の勤務医が「過労死」環境の過重労働

病院勤務医の1週間当たりの平均超過勤務時間は16.8時間だが、20時間以上の超過勤務以下、

超勤)をしている勤務医は29.3%に上ることが、大阪府医師会が行ったアンケート調査で分かった。週20時間以上の超勤は、厚生労働省の過労死認定基準を超えるもので、約3割の勤務医は「過労死」環境の中で働いていることになる。

調査は、府医勤務医部会が2002年に設置した勤務環境検討委員会(委員長=志村研太郎・住友病院産婦人科主任部長)が昨年7月に実施した。府医会員病院の協力を得て、初めて非会員の勤務医からも調査した。

アンケートは府下73病院を対象に、医師会未入会の常勤医師(非会員)337人に調査票を出し、192人から回答を得た。非会員を対象にしたのは、若い勤務医の状況を抽出するため。同時に会員勤務医にも、「会員意見調査」(隔年実施)で同じ設問での調査を行い、両者をクロス集計分析した。分析では会員、非会員ともに回答者を49歳以下で区切った。その結果、会員193人、非会員176人の計369人の回答を有効回答として分析した。

勤務実態の結果では、厚労省が01年に出した「過労死認定基準」である、1か月当たりおおむね80時間を超える時間外労働(当直を除く)をしている非会員が30.7%いることが判明。会員でも28.0%に上り、性別では男性33.7%、女性18.1%。また「過労死」環境の勤務医は大学病院勤務者では43.9%と4割を超えた。中間値推計の労働時間は64.0時間。

また、74.0%の勤務医が当直をしており、回数は月1~4回が55.8%と過半数。中央値は4.18回。当直中、45.9%が平均5件以上の患者診療を行い、本来の「電話当番・診回り」(当局が当直として認める業務内容)といった実態とはかけ離れていた。当直明けも94.7%が通常業務に就いていた。

調査をまとめた藤田敬之助副部会長(大阪市立総合医療センター副院長)は、「過重労働実態は認識していたが、これほどの結果には率直に驚いた」とし、勤務医数を増やす政策的対応が必然であり、こうした調査結果が、医療費はもっと増やすべきだという国民世論を喚起することにつながるのではないかとしている。

(平成18年5月23日)

## 研修修了者も大学離れ

卒後臨床研修を今年、修了した医師で出身の大学病院に戻った人は51.2%にとどまり、大学病院離れが進んでいることが19日、全国医学部長病院長会議がまとめた調査結果で分かった。研修終了後、産婦人科に入局した医師は、卒後臨床研修制度が始まった2年前と比べて18.5%減、小児科は28.1%減で、脳神経外科や外科などでも減少が目立つ。

調査結果を受けて同会議は同日の総会で、卒後臨床研修制度の抜本的な見直しを厚生労働、文部科学両省に求めることを決定。同会議としても卒後臨床研修制度の対案の策定を急ぐ方針だ。

調査は、同会議の「地域医療に関する専門委員会」(小川彰委員長、岩手医科大)が今年4月、全国80の医学部、医科大を対象に調査。中間報告として5月上旬までに集まった68大学の回答を集計した。

調査結果によると、臨床研修後に出身大学病院に戻った帰学者は、2年前の72.1%から20ポイント以上低下した。

地域別では、四国が30.2%(02年74.0%)と最低となり、東北32.1%(63.1%)、北海道33.1%(76.4%)、中国36.0%(73.1%)が3割台。四国や北海道は2年前と比べ減少が著しく、とくに50万人未満の小都市圏で減少が激しかった。

大学に戻った医師を診療科別にみると、産婦人科、小児科以外でも、脳神経外科(42.3%減)や、外科(32.8%減)など、外科系救急担当科の減少が大きく、救急医療や24時間体制の科の減少が顕著だった。一方で、形成外科(40.9%増)、皮膚科(23.6%増)などは増加した。

専門委員会の小川委員長は、「過疎地を含む地方の医療の崩壊や、日本の医学・医療・研究の沈滞が危ぐされる。国民福祉の後退につながる重大問題が現実的に出てきた」と危機感をあらわにした。また「調査では命を守る救急医療の志望が減少も明らかになった。日本の医療制度全体の危機」と述べた。(平成18年5月23日)

## 医事紛争情報

メディアファクスより転載

### 治療中の死亡について厚労省 モデル事業で調査報告

診療行為に関連した死亡について解剖所見に基づき第三者の専門家が調べる厚生労働省のモデル事業の調査報告がまとまった。肝内胆管がんの疑いで拡大肝右葉切除術を受けた60代男性が、術中の出血性ショックで死亡した事例について調査報告は、「早期からの十分な輸血・輸液と積極的な昇圧剤使用などの対応で救命可能であった可能性が高い」と結論づけた。手術や手技にはまったく問題がないとする病院内の調査報告に異論を唱えた。

モデル事業は、厚労省の委託で日本内科学会が主体となり昨年9月に開始。現在、東京、愛知、大阪など全国6か所で行われている。

調査報告は、モデル事業で調査が行われた14事例(4月7日時点)のうち、1件についてまとめた。関係診療科の臨床医の立ち会いの下で法医、病理医による解剖を行い、解剖結果報告書を作成し、臨床医による診療録などの調査や聞き取り調査も行った。

60代男性の事例では、死亡の翌日、病院は院内スタッフと外部委員からなる調査委員会を設置して、「術中の手術手技・麻酔管理に大きな問題はない」との結論をまとめている。

これに対し調査報告は、「術中、心筋梗塞、その他の異常が起きたとの所見は解剖報告にはまったく見当たらない。臨床経過、解剖結果のいずれからも術中の手術・手技・麻酔管理に問題があったと考えるのが妥当」とし、病院調査委員会の結論に疑問を投げ掛けた。

病院内のスタッフで構成した院内の調査委員会については、医療者側の委員だけでは、客観的な判断を十分にしているとは言いがたいと指

摘。手術操作、麻酔管理については専門的な知識を持った外部委員を入れなければ、最も重要な原因を見落とす可能性があるとし、病院内で確かな事故調査をし再発防止策をまとめることが、最大の再発防止になると強調している。

死亡事例については、患者の肝臓の状態が極めて良好な割りに手術時間が長く出血量も多いことから、執刀医として肝切除術の経験が少し不足していたと分析。再発防止策として、肝切除術の経験豊富な肝臓外科医の下で術前に手術方法の指導や直接手術指導を受けて、手術に臨むことを提案した。

手術、看護、麻酔などの診療記録には、出血時刻など、手術中に起きた出来事をそれぞれの担当者ができる限り正確に記載すべきと促した。

### 全身麻酔時の監視が不適切として 5200万円の賠償命令

兵庫県姫路市の「藤森病院」で、蓄膿の手術中に低酸素脳症に陥り死亡した同市の男性(当時46)の妻ら遺族が、病院側に計約1億2000万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で、神戸地裁は4月13日、病院側の過失を一部認め、計約5200万円を支払うよう命じた。

判決理由で佐藤明裁判長は、手術中に指に装着して血中の酸素状態を測定する機器を装着しなかったことと死亡との因果関係を認定。「全身麻酔での手術に必要なこの機器を備えていないのに、手術をしたのは違法」と指摘した。

判決によると、男性は2000年2月に藤森病院で手術を受けた。しかし、手術中に低酸素状態から心肺停止に陥り、術後に別の病院へ搬送されたが、低酸素脳症による脳機能障害で死亡した。

### 出産時の出血で処置が遅れたと 8000万円賠償命令

千葉市中央区の小野寺産婦人科病院で男児を出産した母親(当時26)が死亡したのは、病院側

の処置の遅れが原因として、遺族が約1億1700万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で、千葉地裁は4月17日、病院側の過失を認め、約7700万円の支払いを命じた。

判決理由で小磯武男裁判長は「早期に輸血を行うか、転院していれば死亡しなかった可能性がある」と指摘した。

判決によると、母親は2003年12月24日、同病院で男児を出産した際に大量に出血。輸血が遅れた上に、約3時間たってから千葉大病院に転院搬送され、約1か月後に死亡した。男児は無事だった。

### 看護師のペンタゾシン持ち出しを 届け出ず立ち入り調査

京都府宇治市の宇治徳洲会病院(丸山立憲院長)の女性看護師(57)が、向精神薬の入った注射液を無断で持ち出し、使っていたことが4月18日、分かった。同病院は、紛失の判明後も法律に定められた届け出を京都府にしていなかった。府は薬品管理の徹底などを指導する。

病院は今月上旬、看護師を懲戒解雇した。

病院や府によると、3月末、向精神薬ペンタゾシンを含む鎮痛剤「ソセゴン注射液」のアンブル(15ミリグラム)がなくなっているのが分かった。内部調査で、看護師は「1月から3月までに32本を持ち出し、腰が痛かったので使った」と認めたという。

看護師は薬品管理の担当で、保管場所の鍵も持っていた。

ペンタゾシンは大量に使用すると幻覚や依存を起こすとされる。麻薬取締法は、ペンタゾシンを紛失した場合、都道府県などに速やかに届け出るよう定めている。

病院は「結果的に薬品の管理が不十分だった。府の指導に従って改善を検討する」としている。

府は外部からの情報提供を受け、今月13日に立ち入り調査した。

### ウィニーで患者のエックス線画像 流出

福井県は4月19日夜、県立病院(福井市)の救急外来患者32人のエックス線や超音波などの画像が、ファイル交換ソフト「ウィニー」を通じてインターネット上に流出したと発表した。情報が悪用されたとの報告はないという。

県によると、昨年2月ごろ、当時、愛知県内の病院から同病院に派遣され研修を受けていた20代の男性医師が、研究のために指導医の許可を得て患者の画像データをフラッシュメモリーに入れて持ち出した。画像は患者の氏名や年齢、病名も含まれていた。

この医師の自宅のパソコンから流出したと見られるが、時期は不明という。今月18日夕に県立病院に画像データのコピーが持ち込まれて漏えいが発覚した。

### 無断で治験を行ったとして賠償命令

金沢大病院が十分な説明をしないまま比較臨床試験のがん治療をしたとして、死亡した女性患者の遺族が大学側に約1000万円の損害賠償を求めた訴訟で、最高裁第二小法廷(滝井繁男裁判長)は4月21日、遺族の上告を退ける決定をした。72万円の賠償を命じた二審名古屋高裁金沢支部判決が確定した。

昨年4月の二審判決によると、金沢大病院は卵巣がん患者に「CAP」、「CP」と呼ばれる2種類の化学療法の効果を比べる臨床試験を実施。女性患者は無断で症例登録され、1998年にCP療法を受けたが、腎機能障害のため中止され、転院先で死亡した。

一審金沢地裁判決は165万円の支払いを命じたが、二審判決は「説明義務違反はあったが、治療は適切だった」として賠償額を減額した。

## 薬事情報センターだより (229)

## トリプタン系薬剤

慢性頭痛の一種である片頭痛の発作発現には、脳血管の過度の拡張及び血管周囲の三叉神経終末からの神経炎症物質の放出が関与していると考えられています。トリプタン系薬剤は、セロトニン受容体のサブタイプである5-HT<sub>1B</sub>受容体及び5-HT<sub>1D</sub>受容体に選択的に作用して、血管の拡張を防止し、神経炎症物質の放出を阻止することなどにより片頭痛を緩和すると考えられています。

片頭痛発作に用いる薬剤としては、非ステロイド性消炎鎮痛薬 (NSAIDs) エルゴタミン製剤、トリプタン系薬剤等があります。これらの中で、副作用の少なさや片頭痛に対する有効性等から片頭痛発作治療の中心に据えられるのがトリプタン系薬剤だと思われます。このトリプタン系薬剤は、わが国では、2000年にコハク酸スマトリプタンの注射剤が初めて販売された比較的新しい薬剤です。その後、現在までに4成分の注射剤、錠剤、口腔内速溶錠・口腔内崩壊錠、点鼻剤ののべ8製品が使用できるようになっています(表)。なお、コハク酸スマトリプタンの注射剤には群発頭痛の効能・効果も認められています。

トリプタン系薬剤の成分間には薬物動態を初め様々な違いがあります。ある薬剤では効果がなくても、他の薬剤が有効である場合もありま

す。剤型について見ると、注射剤は極めて即効性に優れています。しかし、医療機関を受診しないと投与が受けられません。一方、その他の剤型では、患者が携行し、使用することができます。口腔内速溶錠・口腔内崩壊錠は水なしでも服用できるため、片頭痛発作時の使用が容易です。点鼻剤は注射剤に近い即効性が期待できるとともに、悪心、嘔吐等を伴い経口剤を服用できない場合でも使用できます。このように剤型ごとに様々な特徴があるため、現在のように多様な製品が使用できるようになっていることは、患者の状況に応じて、成分や剤型を選択できるという利益があります。

トリプタン系薬剤は片頭痛発作のどの時期に使用しても効果が期待できますが、早めに使用した方が効果が高い薬剤でもあります。但し、頻繁に使用すると薬物性の頭痛が生じる可能性があると考えられていますので注意が必要です。

現在販売されているトリプタン系薬剤はいずれも作用時間が比較的短いため、片頭痛が再発する可能性もあるので、今後、作用時間がより長い薬剤が市販されることも期待されます。

参考) 片頭痛治療薬の変遷と今後の動向。

臨床と薬物治療23(4), 28-32. 2004

頭痛の治療薬 治療8(4), 135-140. 2004

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

(表) 現在発売されているトリプタン系薬剤(2006年5月1日現在)

| 一般名           | 剤型  | 薬価収載年月  | 一般名         | 剤型     | 薬価収載年月  |
|---------------|-----|---------|-------------|--------|---------|
| コハク酸スマトリプタン   | 注射剤 | 2000年4月 | ゾルミトリプタン    | 錠剤     | 2001年8月 |
|               | 錠剤  | 2001年8月 |             | 口腔内速溶錠 | 2002年6月 |
|               | 点鼻剤 | 2003年6月 | 安息香酸リザトリプタン | 錠剤     | 2003年9月 |
| 臭化水素酸エレクトリプタン | 錠剤  | 2002年7月 |             | 口腔内崩壊錠 | 2003年9月 |

## 医師協同組合だより

宮崎県医師協同組合  
第21回通常総代会の開催について(通知)

と き 平成18年 6 月13日(火) 18:00~

ところ 県医師会館 4 階研修室

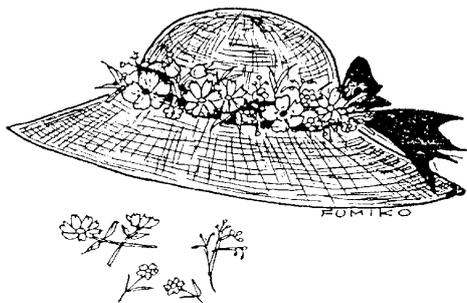
- |                                            |                                   |
|--------------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 開会の辞                                    | 議案第 2 号 平成18年度事業計画及び収支予算案の承認を求める件 |
| 2. 議長選出                                    | 議案第 3 号 借入金残高最高限度額決定の件            |
| 3. 通常総代会成立宣言                               | 議案第 4 号 役員報酬決定の件                  |
| 4. 理事長あいさつ                                 | 議案第 5 号 役員退任慰労金決定の件               |
| 5. 議 事                                     | 議案第 6 号 役員(理事・監事)改撰の件             |
| 議案第 1 号 平成17年度事業報告, 決算及び<br>剰余金処分案の承認を求める件 | 6. 協 議                            |
|                                            | 7. 閉会の辞                           |

## お知らせ

## カット、イラストの募集

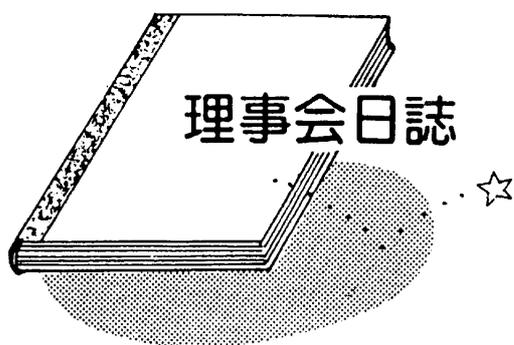
日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。是非、作品をお寄せください。

なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。



## 原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会  
〒880-0023  
宮崎市和知川原 1 丁目101  
genko@m-iyazakimed.or.jp



平成18年4月18日(火) 第3回全理事会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

1. 九医連常任委員並びに委員について  
常任委員は秦会長，委員には，大坪・志多・稲倉・前原・甲斐・西村・富田先生が決定した。
2. 九医連監事の選出について  
大坪副会長を選出することになった。
3. 本会外の役員等の推薦について  
県学校・地域保健連携推進事業連絡協議会委員の推薦について  
各専門分科医会に推薦を依頼することになった。  
特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく特別児童扶養手当及び特別障害者手当等の障害程度判定のための嘱託医の推薦について  
各専門分科医会に推薦を依頼することになった。  
国民健康保険診療報酬審査委員会委員(保険医代表)の推薦について  
内科系委員からの辞任申し出があり，県内科医会に推薦を依頼することになった。
4. 各種委員会委員募集(公募枠)について  
今年度から公募制を採用するので FAX ニュースにより募集することになった。

5. 宮大医学部教授と県医師会との懇談会について

5/23宮観ホテルで例年どおり開催することが決まった。

6. 九医連学校医会・評議員について

引き続き秦会長，大坪副会長，浜田常任理事を評議員として推薦することが決まった。

7. 会費減免申請について

宮崎市郡医師会の2名の会員の減免が承認された。

8. 岩手県医師会との懇談会について

6/10,11岩手県医師会との交流を兼ねて行うことになった。

9. その他

##### 職員の人事について

4/1発令した日高局長が体調不良により依願退職することになった。後任については当分の間，児玉総務課長を局長代行にあてることになった。

介護サービス情報の公表制度「指定調査機関」にかかる業務のための嘱託職員の採用について

嘱託職員1名を5/1付けで採用することになった。

##### (報告事項)

1. 週間報告について
2. 4/14(金) 宮観ホテル)各都市医師会長協議会について
3. 4/15(土) 大分)九医連常任委員会について
4. 4/15(土) 大分)九州医連常任執行委員会について
5. 4/12(水) 福祉総合センター)県社会福祉協議会運営適正化委員会について
6. 4/13(木) 県医)母体保護法指定医師審査委員会について
7. 4/17(月) 県医)広報委員会について
8. 4/17(月) 県医)障害者自立支援法にかかる「医師意見書の記載方法等」研修会について

## 医師国保組合関係

## (協議事項)

1. 傷病手当金支給申請について  
1名の申請が承認された。

平成18年4月25日(火) 第1回常任理事会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 4/27(木) 県医) 県医定例代議員会について  
次第の再確認が行われた。
2. 5/16(火) (東京) 日医役員就任披露パーティー開催案内について  
志多副会長が出席することになった。
3. 5/20(土) (福岡) 日医新役員代表者との懇談会(仮称)について  
秦会長, 大坪副会長, 稲倉・西村常任理事が出席することになった。
4. 後援・共催名義等使用許可について  
7/21(金)・22(土) (市民プラザ) 日本がん検診・診断学会市民公開講座の後援について  
名義後援を承諾することになった。  
6/16(金) (総合保健センター) 肺炎球菌ワクチンフォーラム共催のお願いについて  
共催することが決まった。
5. 平成18年度各種業務委託について  
業務委託をすることが決まった。
6. 看護教員養成事業補助金の額の内示について  
補助金内示額を承諾することにした。
7. 5・6月の行事予定について  
6月の行事を詳細に説明した。
8. 岩手県医師会との懇談会について  
時間の関係で名古屋経由の往復で盛岡1泊とし参加者をつのることになった。

## (報告事項)

1. 週間報告について
2. 4/24(月) 県医) 広報委員会について
3. 4/20(木) (福祉総合センター) 県社会福祉協議会地域福祉権利擁護事業契約締結審査会

## について

4. 4/20(木) 県医) 産業医部会理事会について  
医師連盟関係

## (協議事項)

1. 4/27(木) (宮観ホテル) 県医連執行委員会について  
次第の再確認が行われた。
2. 5/17(水) (宮観ホテル) 三師会懇談会の開催について  
秦委員長, 大坪副委員長, 稲倉常任執行委員が出席することになった。
3. 九州医連連絡会の役員について  
九医連の役員と同様とすることが決まった。

## (報告事項)

1. 4/18(火) (日医) 日医連執行委員会について  
医師協同組合・エムエムエスシー関係

## (協議事項)

1. 組合員加入承認について  
1名の加入が承認された。

## (報告事項)

1. 4/25(火) 県医) 医協運営委員会について

平成18年5月9日(火) 第2回常任理事会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 会館建設について  
(株)別当設計との建築設計・管理業務委託について  
別当設計との取り交わす建築設計・管理業務契約書について詳細に検討した結果, 契約することになった。今後, 執行部と事務局が密接に連携をとりながら会館建設のプロジェクトを立ち上げ進めていき, 進捗状況については日州医事に随時掲載し会員に周知することになった。  
(株)別当設計との地質調査(ポーリング)業務委託について  
業務委託を承認し契約することになった

- た。なお、4か所ポーリングし、2週間後に報告書を提出予定。
2. 診療報酬改定に伴うQ & A冊子作成について  
厚生労働省・日医及び県医への質問を冊子にまとめ各会員に配布するので、各役員に校閲を依頼。早急に会員へ配布することで承された。
  3. 平成18年度学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣被表彰者の推薦について  
協議の結果、1名を推薦することになった。
  4. 業務委託について  
成人T細胞白血病(ATL)母子感染防止対策事業に係る業務委託について  
昨年度同様、契約することになった。  
平成18年度県立学校児童生徒の定期健康診断における結核健康診断に係る検診業務の契約について  
契約することになった。  
介護サービス情報の公表推進事業貸付金の貸付け決定について  
代議員会でも承認されており貸付を受けることになった。
  5. 後援・共催名義等使用許可について  
長編アニメ映画「NAGASAKI1945アンゼラスの鐘」上映に伴う後援について  
後援を承認することになった。
  6. 日医会内委員会委員の推薦について  
Ⅲ 化推進検討委員会に富田常任理事を、病院委員会に濱砂常任理事を、介護保険委員会に野崎常任理事を推薦することになった。
  7. 社会保険健康づくり事業推進協議会における保健医療関係者の推薦について  
地域保健担当の河野常任理事を推薦することになった。
  8. 平成18年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会運営委員及び常任委員の推薦について  
常任委員には大坪副会長を、運営委員には長倉常任理事を推薦することになった。
  9. 岩手県医師会との懇談会について  
岩手県医師会との懇談会とし情報交換を行うことになった。
- (報告事項)
1. 週間報告について
  2. 4/26(水) 宮観ホテル)宮崎政経懇話会について
  3. 4/26(水) 支払基金)支払基金幹事会について
  4. 4/26(水) 県医3階)労災診療指導委員会について
  5. 4/27(木) 福祉総合センター)県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について
  6. 5/9(火) 宮観ホテル)県介護支援専門員連絡協議会理事会について
  7. 4月末日現在の会員数について

## 県 医 の 動 き

( 5 月 )

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 県健康づくり協会辞令交付式(会長)<br/>別当設計との打合せ会(大坪副会長他)</p> <p>8 県内科医会学術委員会(志多副会長他)</p> <p>9 県介護支援専門員連絡協議会理事会(会長他)<br/>医協理事会(会長他)<br/>労災部会会計監査<br/>第2回常任理事会(会長他)</p> <p>10 宮崎市郡医師会特別講演会・例会(会長)</p> <p>11 医協会計監査(会長他)</p> <p>12 日本プライマリ・ケア学会全理事会(愛知)<br/>(会長)<br/>日本プライマリ・ケア学会評議員会(愛知)<br/>(会長他)</p> <p>13 みやざきナース Today2006(大坪副会長)</p> <p>13~14 日本プライマリ・ケア学会(愛知)<br/>(会長他)</p> <p>15 病院部会・医療法人部会会計監査<br/>広報委員会(大坪副会長他)<br/>損保ジャパンとの懇談会(会長他)</p> <p>16 日医役員就任披露パーティ(東京)<br/>(志多副会長)<br/>第3回常任理事会(会長他)</p> <p>17 三師会懇談会(会長他)</p> <p>18 全配協九州ブロック定期総会(会長)<br/>県学校・地域保健連携推進事業連絡協議会<br/>(大坪副会長他)<br/>県農業協同組合中央会主要団体代表者懇談<br/>会(早稲田常任理事)</p> <p>19 産業医研修会</p> | <p>20 県外科医会・整形外科医会・労災部会総会<br/>合同学会(河野常任理事)<br/>日医新執行部代表者との懇談会(福岡)<br/>(会長他)<br/>日医新役員を囲む懇親会(福岡)(会長)</p> <p>22 県地域医療対策協議会(会長)<br/>県難病医療連絡協議会(河野常任理事)<br/>県産婦人科医会常任理事会(西村常任理事他)<br/>県内科医会理事会(志多副会長他)</p> <p>23 サービス評価事務局評価審査小委員会<br/>(事務局)<br/>県腎臓バンク理事会(会長)<br/>第4回全理事会(会長他)<br/>宮大医学部教授との懇談会(会長他)</p> <p>24 県健康づくり協会監査(西村常任理事)<br/>広報委員会(富田常任理事他)</p> <p>25 支払基金幹事会(会長)<br/>県医諸会計監査(会長他)</p> <p>26 県健康づくり協会評議員会(志多副会長他)<br/>県アイバンク協会理事会(会長)<br/>南那珂医師会総会懇親会(南那珂)(会長他)</p> <p>27 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会<br/>理事会・総会・研修会(野崎常任理事)<br/>産業医部会総会・研修会(会長他)</p> <p>29 県内科医会評議員会(志多副会長他)</p> <p>30 県暴力追放県民会議理事会(会長)<br/>宮大医学部医の倫理委員会(大坪副会長)<br/>県公衆衛生センター理事会(会長)<br/>医協運営委員会(会長他)<br/>県医連常任執行委員会(会長他)<br/>第5回全理事会(会長他)<br/>医協理事会(会長他)</p> <p>31 労災診療指導委員会(河野常任理事)<br/>県健康づくり協会理事会(会長他)</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 医師国保組合だより

### 組合員及び配偶者の健康診断について

平成18年度も、組合員及び被保険者である配偶者を対象に健康診断を実施いたします。

宮崎市郡医師会成人病検診センターにおいて実施されます日曜日の集団検診につきましては、下記日程のとおりです。所属都市を問わず受診できますが、定員は1回20名ですので、予約の申込みはお早めに県医師国保組合(☎0985-22-6588)

へお願いいたします。

なお、内容につきましては、組合員の皆様へ直接ご案内いたします。

医師国保組合では受診率30%を目指しております。病気の早期発見、早期治療のために是非とも来年3月までに多くの方が健康診断を受診されますようお願いいたします。

#### 【宮崎市郡医師会成人病検診センター検診日】

|       |               |
|-------|---------------|
| 平成18年 | 6月25日(第4日曜日)  |
|       | 9月10日(第2日曜日)  |
|       | 11月12日(第2日曜日) |
| 平成19年 | 1月21日(第3日曜日)  |
|       | 2月18日(第3日曜日)  |
|       | 3月4日(第1日曜日)   |

宮崎市郡医師会成人病検診センターの日曜日の集団検診に限らず、他の医療機関並びに自院での検診もできます。

### 「国民健康保険高齡受給者証」交付対象者の方へ

平成14年10月の健康保険法等の改正により、70歳になられた方が医療機関に受診される際は、満75歳に達するまで、被保険者証とともに組合発行の「国民健康保険高齡受給者証」の提示が必要です。

この「国民健康保険高齡受給者証」は、組合が被保険者の方々の所得を確認して発行するものです。このため対象者の方々には右記の様な所得を確認する書類を提出いただく必要があります。

つきましては、組合よりご案内を差し上げた

場合には何卒ご協力下さるようお願いいたします。

所得把握の対象となるのは、昭和7年10月1日～昭和12年7月1日生まれの被保険者のいる世帯です。

所得を確認する書類

1. 平成18年度 住民税決定通知書(納税通知書)
2. 平成18年度 住民税課税証明書(「課税標準額」「課税総所得」の記載があるもの)もしくは非課税証明書

### 老人保健法第25条第1項第2号(障害認定)について

組合では65歳以上の方で、居住する市町村長より障害認定を受けられた方につきましては、その人数の把握が必要となっております。

組合では被保険者からの届出がない限り把握することが不可能となっておりますので、もし

認定を受けられた方がいらっしゃいましたら、その旨を組合へご連絡(この場合、ご家族の協力をお願いします)下さるようよろしくお願いいたします。

## 5月のベストセラー

- |    |                    |           |         |
|----|--------------------|-----------|---------|
| 1  | ハリーポッターと謎のプリンス 上・下 | J.K.ローリング | 静山社     |
| 2  | 国家の品格              | 藤原正彦      | 新潮社     |
| 3  | 愛の流刑地(上)(下)        | 渡辺淳一      | 幻冬舎     |
| 4  | 人は見た目が9割           | 竹内一郎      | 新潮社     |
| 5  | 会社法入門              | 神田秀樹      | 岩波書店    |
| 6  | 食品の裏側              | 安部司       | 東洋経済新報社 |
| 7  | この国のけじめ            | 藤原正彦      | 文藝春秋    |
| 8  | 明日の記憶              | 荻原浩       | 光文社     |
| 9  | 他人は見下す若者たち         | 速水敏彦      | 講談社     |
| 10 | 病気にならない生き方         | 新谷弘実      | サンマーク出版 |

宮脇書店本店調べ

提供：宮崎店(宮崎市青葉町)

☎(0985)23-7077

## 追悼のことば

宮崎市郡医師会

友清義海先生

大正14年4月28日生 80歳

弔 辞

本日、ここに故友清義海先生の告別式が執り行われるにあたり、宮崎市郡医師会を代表して、謹んで哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。

3月15日、午後10時13分、友清義海先生が80歳の御生涯を静かに閉じられたとの突然の御訃報に接し、にわかには信じられず、会員一同、深い悲しみに包まれております。

先生には、一昨年、2回に亘る手術を乗り越えられ、その後は御自宅において、御療養中でした。先生は、昨年10月には医師会役員監事として、医師会の会計監査にお元氣なお姿で御出席戴きましたので、順調に御回復なさっておられるものと会員一同、安心致しております。

今、こうして葬送の列に加わり、奥様はじめ御遺族、御親戚の皆様方の御心中をお察し申し上げますとき、お悲しみは如何ばかりかと胸塞がる思いでございます。

先生は、お父様のご勤務の関係で大正14年4月28日、韓国梁山浦においてお生まれになり、幼少期から旧制中学までを韓国でお過ごしになりましたが、その後、山口県にお帰りになりました。

先生は、若くして医学の道に志を立てられ、昭和24年3月、岩手医学専門学校を優秀な成績で御卒業になりました。昭和25年5月からは宮崎県立日南病院外科医局に4年間御勤務の後、昭和29年3月、九州大学医学部病理学教室の専攻生として御入局になり、病理学の研鑽に日夜お励みになりました。

先生は、昭和32年6月、産婦人科医を目指されまして佐伯市西田病院に御勤務になりました。その後、昭和35年6月、宮崎県立宮崎病院産婦人科医局の勤務を経られまして、同年10月、田野町立病院に産婦人科医長として赴任されまし

て、地域医療の発展に御活躍いただきました。

昭和36年5月、田野町立病院を御退職になり、同年6月、旧中村町4丁目に友清産婦人科医院を御開業になりましたが、昭和45年4月、国道の拡張工事に伴いまして、現在地の淀川3丁目に移転新築なさいました。

平成7年6月、御子息の義彦先生が、お父上と御一緒に新たな診療への取り組みをなさった機会に、医院名をともしよ内科に変更なさいました。先生は、平成10年1月、院長職を御子息の義彦先生にお譲りになるまでの37年の永きに亘って、ひたすら地域医療の第一線において、昼夜の別なく御診療に献身的に従事され、地域医療の充実と地域住民の健康福祉の向上発展に御尽力いただきました。先生の誠実で飾り気のない、そして温かいお人柄は、地域の人々にも親しまれ、多くの患者さんからの信望を集めて、地域に根ざした診療活動を展開され、我々医師会員にとりまして、正に範たるものでありました。

先生は御多忙な御診療の傍ら、医師会活動にも積極的に御活躍いただきまして、市郡医師会監事29年、検診センター婦人細胞診採取委員26年、看護専門学校運営委員及び同講師12年などの要職を歴任され、地域医療ならびに医師会の充実発展に献身的に御貢献いただきました。

先生の長年に亘る一般健康診査、婦人検診の輝かしい御業績は、平成13年9月、老人保健事業功労部門において宮崎県知事表彰の榮譽をもって顕彰されております。

一方、先生はお忙しい御診療の合間には、ゴルフと囲碁を御趣味として楽しんでおられたとお聞きいたしております。

御家庭にありましては、二男一女のお子様に恵まれ、御長男の義彦先生は、地域医療の重要な担い手として御立派に御活躍中であり、御二男の泰彦先生も東京で眼科を御開業になっておられますので、後顧の憂いなきものと存じます。

友清先生、惜別の情つくし得ませんが、ここに先生の長年に亘る医療活動の御功績に対し、改めて深甚の敬意を表し、心から御冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。先生、どうぞ安らかに眠り下さい。

平成18年3月21日

宮崎市郡医師会

会長 綾部 隆夫

## 追悼のことば

宮崎市郡医師会

佐藤 衛 先生

大正7年1月1日生 88歳

弔 辞

謹んで今は亡き、佐藤 衛先生の御霊前に、宮崎市郡医師会を代表してお別れの言葉を申し上げます。

一昨日、先生の突然の御訃報に接し、にわかには信じられず、会員一同、深い悲しみに包まれております。

先生には、近年、お身体の不調を訴えられ、御自宅で御療養の日々をお過ごしでしたが、3月29日、午前11時10分、ご家族に見守られながら88年の御生涯を静かに閉じられました。今、こうして葬送の列に加わり、奥様はじめ御親族の皆様方の御心中をお察し申し上げますとき、お悲しみは如何ばかりかと胸塞がる思いでございます。

先生は、鹿児島県加治木町で、5人兄弟の御長男としてお生まれになり、幼少期から文学に大変御興味を持っておられましたので、将来の進路を決めるにあたり文学の道に進むか医学の道に進むか選択にお悩みになられたと伺っております。

先生は、志を医学の道に立てられ、昭和16年3月、九州帝国大学医学部を優秀な成績で御卒業になりました。

昭和17年1月、医師国家試験に合格されますと間もなく、応召され中部南方太平洋戦線に海軍在外部隊付医科士官として御勤務になり、トラック諸島、チモール戦線等に参戦なさいました。そして昭和21年5月、召集解除により帰国なさいました。

先生は、復員後ただちに昭和21年7月より母校の九州帝国大学医学部小児科学教室に入局され、小児科医局長、講師等の要職を10年に亘りお勤めになりました。その後、昭和25年9月、宮崎県立宮崎病院小児科部長として宮崎市に赴任され、6年間の御勤務の後、昭和31年1月、

御開業のため御退職になりました。

先生は、戦後の混乱期を乗り越えた地域住民の小児医療の充実に対する期待を担われ、御退職と同時に現在地の清水3丁目に佐藤小児科医院を御開業になり、以来、平成3年11月に御子息の雄一先生に院長職をお譲りになるまで、35年の永きに亘り、第一線で地域医療の充実と健康福祉の向上発展に寄与されました。

また、先生は医師会活動にも御活躍いただき、県医師会理事11年、同国民健康保険組合常務理事10年、市郡医師会看護学校運営委員8年など多くの要職を歴任され、地域医療並びに医師会の充実発展、会員の融和・団結に献身的にお取り組みいただきました。その御功績により、平成9年6月宮崎県知事表彰、同13年11月勲五等双光旭日章を授与されております。

また先生は、御多忙な御診療の傍ら、中央保育所、高千穂幼稚園、野の花幼稚園の園医として45年の永きに亘り、園児の健康管理や衛生活動に多大な御貢献をいただきました。

一方、御診療を離れられました休日にあっては、文学、歌舞伎鑑賞、旅行、食文化など幅広い御趣味をもっておられました。中でも食文化を題材とした随筆を機関誌「醫友しのめ」に数多く御投稿いただきました。

また、先生は御家庭にありましては、慈しみと優しさをもって導き育てられました二男一女のお子様がおられますが、御長男の雄一先生は地域医療の担い手として御活躍中であり、御二男の清二先生も、さいたま市立病院で小児科部長として御活躍なさっておりますので、後顧の憂いなきものと存じます。

私ども会員一同は先生が尽くされました地域医療の充実に、なお一層の努力をいたして参りたいと存じます。

佐藤先生、惜別の情、尽くし得ませんが、ここに謹んで先生の御霊前に哀悼の意を捧げ、永年の御功績に心から感謝と敬意を表し、御冥福をお祈り申し上げます、お別れの言葉といたします。先生、どうぞ安らかにお眠りください。

平成18年3月31日

宮崎市郡医師会  
会長 綾部 隆夫

## 会 員 消 息

平成18年5月末現在 会員数 1,677名

( A 会員 809名 , B 会員 868名 )

( 男 性 1,524名 , 女 性 153名 )

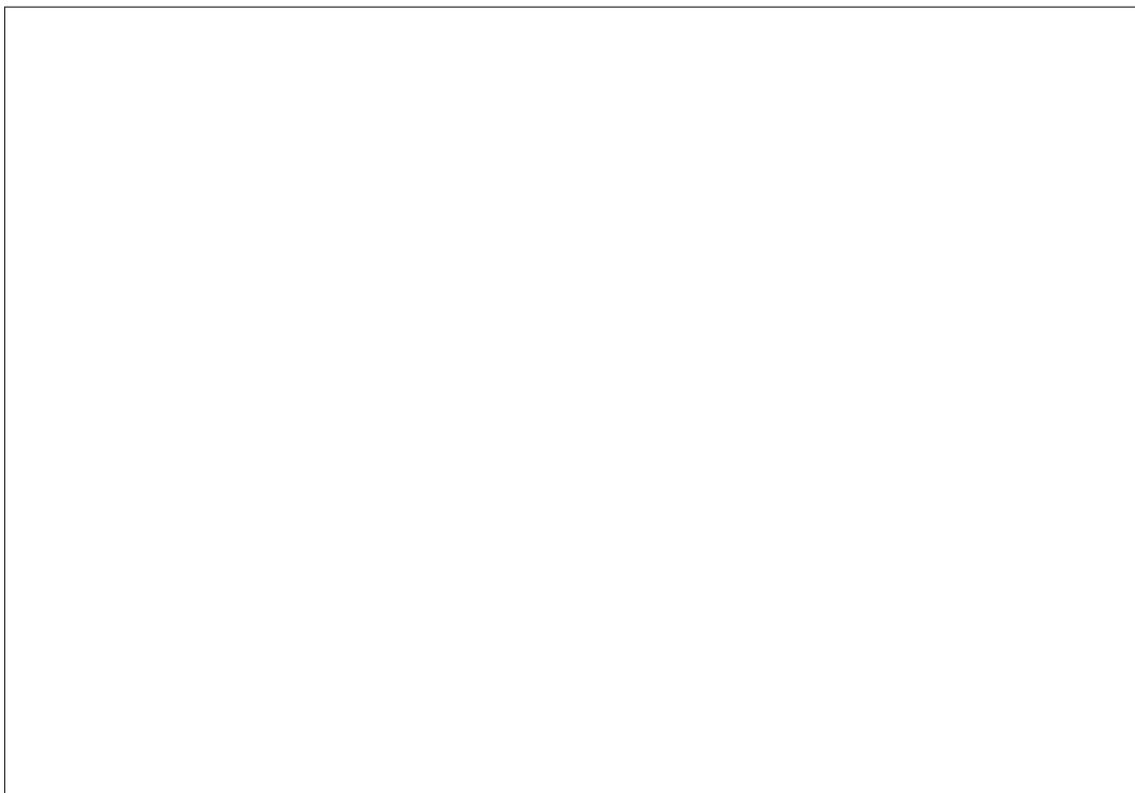
### 入 会

|                 |             |          |                          |                                     |
|-----------------|-------------|----------|--------------------------|-------------------------------------|
| B <sup>A2</sup> | 河埜 喜久雄(宮崎)  | H18.4.1  | (医)陽明会<br>増田病院           | 宮崎市大字大瀬町2176-1<br>☎0985-41-1234     |
| B               | 白土 明美 (宮崎)  | H18.4.1  | (医)社団晴緑会<br>宮崎医療センター病院   | 宮崎市高松町2-16<br>☎0985-26-2800         |
| B               | 末吉 哲也 (宮崎)  | H18.4.1  | (財)弘潤会<br>野崎東病院          | 宮崎市村角町高尊2105<br>☎0985-28-8555       |
| B               | 船ヶ山まゆみ(宮崎)  | H18.4.1  | "                        | "                                   |
| B               | 高崎 恵美 (宮崎)  | H18.4.1  | (医)プレストピア<br>プレストピアなんば病院 | 宮崎市丸山2丁目112-1<br>☎0985-32-7170      |
| B               | 田中 千晶 (宮崎)  | H18.4.1  | "                        | "                                   |
| B               | 中原 浩 (宮崎)   | H18.4.1  | "                        | "                                   |
| B               | 古澤 秀実 (宮崎)  | H18.4.1  | "                        | "                                   |
| B               | 町田 英一郎(宮崎)  | H18.4.1  | "                        | "                                   |
| B <sup>A2</sup> | 吉田 尚紀 (都城)  | H18.4.1  | 橘病院                      | 都城市中町15-24<br>☎0986-23-7236         |
| B <sup>A2</sup> | 麻田 貴志 (延岡)  | H18.4.1  | (医)健寿会<br>黒木病院           | 延岡市北小路14-1<br>☎0982-21-6381         |
| B <sup>A2</sup> | 木屋 博昭 (延岡)  | H18.4.1  | (医)社団光学堂<br>あたご整形外科      | 延岡市愛宕町3丁目161<br>☎0982-22-7575       |
| B               | 塩盛 建二 (延岡)  | H18.4.1  | 延岡市医師会病院                 | 延岡市出北6丁目1621<br>☎0982-21-1302       |
| A               | 松岡 文章 (延岡)  | H18.4.1  | (医)社団永和舎<br>延岡クリニック      | 延岡市出北1丁目3-20<br>☎0982-21-4321       |
| A               | 秋吉 昌三 (児湯)  | H18.4.1  | (医)社団聖山会<br>川南病院         | 児湯郡川南町大字川南18150-47<br>☎0983-27-4111 |
| A               | 笠目 敏夫 (児湯)  | H18.4.1  | (医)春光会<br>高鍋春光会病院        | 児湯郡高鍋町大字高鍋町830<br>☎0983-23-0013     |
| B               | 脇坂 信一郎(南那珂) | H18.4.1  | 県立日南病院                   | 日南市木山1丁目9-5<br>☎0987-23-3111        |
| B <sup>A2</sup> | 中藺 紀幸 (西諸)  | H18.4.12 | (医)三和会<br>京町温泉病院         | えびの市大字亀沢391-1<br>☎0984-37-2233      |

|                 |                                                         |          |                                     |                                     |
|-----------------|---------------------------------------------------------|----------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| B               | 後田 卓成 (宮崎)                                              | H18.4.24 | (医)清芳会<br>井上病院                      | 宮崎市大字芳士80<br>☎0985-39-5396          |
| 異 動             |                                                         |          |                                     |                                     |
| A               | 隅 清克 (都城)<br>(会員区分変更: B <sup>A2</sup> A)                | H18.3.30 | (医)清陵会<br>隅病院                       | 都城市高崎町大牟田1204<br>☎0986-62-1100      |
| A               | 金井 一男 (延岡)<br>(会員区分変更等: B A)                            | H18.4.1  | (財)潤和リハビリテーション振興財団<br>延岡リハビリテーション病院 | 延岡市長浜町1丁目1777<br>☎0982-21-6211      |
| B               | 岸田 克明 (延岡)<br>(会員区分変更: A B)                             | H18.4.1  | "                                   | "                                   |
| A               | 窪山 美穂 (児湯)<br>(医療法人へ変更, 自宅住所変更)                         | H18.4.1  | (医)光穂会<br>花と緑のクリニック                 | 児湯郡新富町大字上富田3349-1<br>☎0983-33-6666  |
| A               | 佐藤 信博 (延岡)<br>(医療法人へ変更)                                 | H18.4.1  | (医)社団光学堂<br>あたご整形外科                 | 延岡市愛宕町3丁目161<br>☎0982-22-7575       |
| B               | 柴田 紘一郎 (宮崎)<br>(勤務先変更等: 南那珂 宮崎)                         | H18.4.1  | (医)耕和会<br>介護老人保健施設サンヒルほたけ           | 宮崎郡清武町大字木原5886-16<br>☎0985-84-0333  |
| B               | 鶴 紀子 (宮大)<br>(勤務先変更等)                                   | H18.4.1  | 九州保健福祉大学                            | 延岡市吉野町1714-1<br>☎0982-23-5643       |
| B               | 永田 卓生 (延岡)<br>(会員区分変更: A B)                             | H18.4.1  | (医)社団永和舎<br>延岡クリニック                 | 延岡市出北1丁目3-20<br>☎0982-21-4321       |
| A               | 細川 和義 (宮崎)<br>(自宅住所変更等)                                 | H18.4.1  | 細川内科クリニック                           | 宮崎市佐土原町東上那珂14901-4<br>☎0985-74-0058 |
| B               | 北國 秀一 (延岡)<br>(勤務先変更等)                                  | H18.4.1  | (医)隆誠会<br>延岡保養園                     | 延岡市緑ヶ丘5丁目14-30<br>☎0982-33-6396     |
| B               | 松 敬文 (宮崎)<br>(自宅会員へ変更: A B)                             | H18.4.1  |                                     |                                     |
| A               | 宮永 敏 (宮崎)<br>(医療法人へ変更等)                                 | H18.4.1  | (医)社団 M S<br>宮永 ENT クリニック           | 宮崎市大島町西田2128-2<br>☎0985-31-1133     |
| A               | 義川 剛太郎 (都城)<br>(会員区分変更: B A, 施設名称・所在地変更等)               | H18.4.1  | よしかわクリニック                           | 都城市前田町5-2<br>☎0986-23-9384          |
| B <sup>A2</sup> | 義川 英治 (都城)<br>(会員区分変更: A B <sup>A2</sup> , 施設名称・所在地変更等) | H18.4.1  | "                                   | "                                   |
| B               | 川口 武俊 (南那珂)<br>(自宅会員へ変更)                                | H18.4.2  |                                     |                                     |
| A               | 満留 武宣 (南那珂)<br>(有床 無床へ変更)                               | H18.4.11 | (医)社団誠光会<br>みつとめ眼科                  | 串間市大字西方5397-1<br>☎0987-72-7000      |
| B               | 石原 史朗 (宮崎)<br>(文書送付先変更)                                 | H18.4.28 | (医)社団仁和会<br>竹内病院                    | 宮崎市霧島2丁目260<br>☎0985-26-0123        |
| B               | 荒木 早苗 (宮大)<br>(所属医師会変更)                                 | H18.5.1  | 宮崎大学医学部<br>医療情報部                    | 宮崎郡清武町大字木原5200<br>☎0985-85-9057     |

|                 |                                                            |          |                          |                                     |
|-----------------|------------------------------------------------------------|----------|--------------------------|-------------------------------------|
| A               | 矢野 良英 (都城)<br>(医療法人へ変更)                                    | H18.5.1  | (医) 社団橘会<br>橘病院          | 都城市中町15-24<br>☎0986-23-7236         |
| B <sup>A2</sup> | 柏木 輝行 (都城)<br>(医療法人へ変更)                                    | H18.5.1  | "                        | "                                   |
| B <sup>A2</sup> | 狩野 文夫 (都城)<br>(医療法人へ変更)                                    | H18.5.1  | "                        | "                                   |
| B <sup>A2</sup> | 矢野 英寿 (都城)<br>(医療法人へ変更等)                                   | H18.5.1  | "                        | "                                   |
| B <sup>A2</sup> | 吉田 尚紀 (都城)<br>(医療法人へ変更)                                    | H18.5.1  | "                        | "                                   |
| A               | 杉田 新 (宮崎)<br>(医療法人へ変更, 施設名称変更)                             | H18.5.1  | (医) 次裕会<br>おおつか杉田眼科      | 宮崎市大塚町大迫南平4394<br>☎0985-50-3131     |
| B <sup>A2</sup> | 杉本 精一郎 (宮崎)<br>(勤務先変更等: 宮大 宮崎, 会員区分変更: B B <sup>A2</sup> ) | H18.5.1  | 独立行政法人<br>国立病院機構宮崎東病院    | 宮崎市大字田吉4374-1<br>☎0985-56-2311      |
| A               | 成田 博実 (宮崎)<br>(医療法人へ変更)                                    | H18.5.1  | (医) みのり会<br>フタバ皮膚科形成外科医院 | 宮崎市大塚町馬場崎3523-1<br>☎0985-53-8877    |
| A               | 藤浦 芳丈 (南那珂)<br>(会員区分変更: B A, 勤務先変更)                        | H18.5.1  | (医) 芳潤会<br>藤浦循環器科内科クリニック | 日南市中央通1丁目6-18<br>☎0987-23-3188      |
| B <sup>A2</sup> | 藤浦 芳郎 (南那珂)<br>(会員区分変更: A B <sup>A2</sup> , 施設名称変更)        | H18.5.1  | "                        | "                                   |
| A               | 松岡 裕二 (宮崎)<br>(医療法人へ変更)                                    | H18.5.1  | (医) 社団裕弘会<br>まつおか小児科医院   | 宮崎市花山手東1丁目2-3<br>☎0985-55-1717      |
| 退 会             |                                                            |          |                          |                                     |
| B               | 土屋 和代 (宮崎)                                                 | H18.3.31 | (財) 弘潤会<br>野崎東病院         | 宮崎市村角町高尊2105<br>☎0985-28-8555       |
| B               | 山内 正倫 (宮崎)                                                 | H18.3.31 | "                        | "                                   |
| B               | 坪内 直子 (宮崎)                                                 | H18.3.31 | (医) 社団晴緑会<br>宮崎医療センター病院  | 宮崎市高松町2-16<br>☎0985-26-2800         |
| B               | 樋口 茂輝 (宮崎)                                                 | H18.3.31 | (医) 社団仁和会<br>竹内病院        | 宮崎市霧島2丁目260<br>☎0985-26-0123        |
| B <sup>A2</sup> | 有村 博史 (都城)                                                 | H18.3.31 | (医) 社団清風会<br>花房泌尿器科医院    | 都城市北原町1641-2<br>☎0986-25-1177       |
| B               | 田中 浩一 (延岡)                                                 | H18.3.31 | (医) 悠生会<br>吉田病院          | 延岡市松原町4丁目8850<br>☎0982-37-0126      |
| A               | 久保田 憲彦 (児湯)                                                | H18.3.31 | (医) 社団聖山会<br>川南病院        | 児湯郡川南町大字川南18150-47<br>☎0983-27-4111 |
| B               | 藤本 裕一 (児湯)                                                 | H18.3.31 | (医) 宏仁会<br>海老原総合病院       | 児湯郡高鍋町大字上江字堂ヶ瀬207<br>☎0983-23-1111  |

|                 |                      |          |                        |                                    |
|-----------------|----------------------|----------|------------------------|------------------------------------|
| A               | 宮路 重和 (児湯)           | H18.3.31 | (医)春光会<br>高鍋春光会病院      | 児湯郡高鍋町大字高鍋町830<br>☎0983-23-0013    |
| B <sup>A2</sup> | 永瀆 重遠 (西諸)           | H18.3.31 | (医)三和会<br>京町温泉病院       | えびの市大字亀沢391-1<br>☎0984-37-2233     |
| B               | 山崎 俊輔 (西諸)           | H18.3.31 | 小林市立市民病院               | 小林市大字細野2235-3<br>☎0984-23-4711     |
| B <sup>A2</sup> | 長倉 竜士 (延岡)           | H18.4.30 | 旭化成健康保険組合診療所<br>健診センター | 延岡市中島町1丁目45-2<br>☎0982-22-2950     |
| B               | 松尾 佳彦 (南那珂)          | H18.4.30 | (医)春光会<br>日南春光会病院      | 日南市園田1丁目4-2<br>☎0987-22-2324       |
| 死 亡             |                      |          |                        |                                    |
| B               | 永吉 實光 (都城)<br>(100歳) | H18.5.8  | (医)社団恵泉会<br>永吉眼科医院     | 都城市姫城町5-4<br>☎0986-22-1530         |
| B <sup>A2</sup> | 志々目 亨 (都城)<br>(80歳)  | H18.5.15 | (医)志々目医院               | 都城市山之口町大字花木1999-2<br>☎0986-57-2004 |



## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成18年 5 月17日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しております。ご覧ください。

1 . 求職者登録数 5 人

1 ) 男性医師求職登録数 5 人 ( 人 )

| 希望診療科目  | 求職数 | 常勤・非常勤別 |
|---------|-----|---------|
| 内 科     | 3   | 常勤, 非常勤 |
| 整 形 外 科 | 1   | 非常勤     |
| 精 神 科   | 1   | 非常勤     |

2 . 斡旋成立件数 12人

1 ) 男性医師 7 人

2 ) 女性医師 5 人

3 . 求人登録 68件 196人 ( 人 )

| 募集診療科目     | 求人数 | 常勤・非常勤別             |
|------------|-----|---------------------|
| 内 科        | 73  | 常勤( 52 ), 非常勤( 21 ) |
| 胃 腸 科      | 13  | 常勤( 9 ), 非常勤( 4 )   |
| 循 環 器 科    | 10  | 常勤( 9 ), 非常勤( 1 )   |
| 呼 吸 器 科    | 7   | 常勤( 6 ), 非常勤( 1 )   |
| 外 科        | 11  | 常勤( 8 ), 非常勤( 3 )   |
| 整 形 外 科    | 25  | 常勤( 18 ), 非常勤( 7 )  |
| 泌 尿 器 科    | 3   | 常勤( 2 ), 非常勤( 1 )   |
| 産 婦 人 科    | 1   | 常勤( 1 )             |
| 眼 科        | 4   | 常勤( 4 )             |
| 耳 鼻 科      | 4   | 常勤( 3 ) 非常勤( 1 )    |
| 放 射 線 科    | 4   | 常勤( 4 )             |
| リハビリテーション科 | 2   | 常勤( 2 )             |
| 脳 神 経 外 科  | 3   | 常勤( 3 )             |
| 神 経 内 科    | 5   | 常勤( 5 )             |
| 精 神 科      | 15  | 常勤( 12 ), 非常勤( 3 )  |
| 麻 酔 科      | 4   | 常勤( 4 )             |
| 小 児 科      | 3   | 常勤( 1 )             |
| 皮 膚 科      | 3   | 常勤( 2 ), 非常勤( 1 )   |
| 人 工 透 析    | 1   | 常勤( 1 )             |
| そ の 他      | 5   | 常勤( 5 )             |

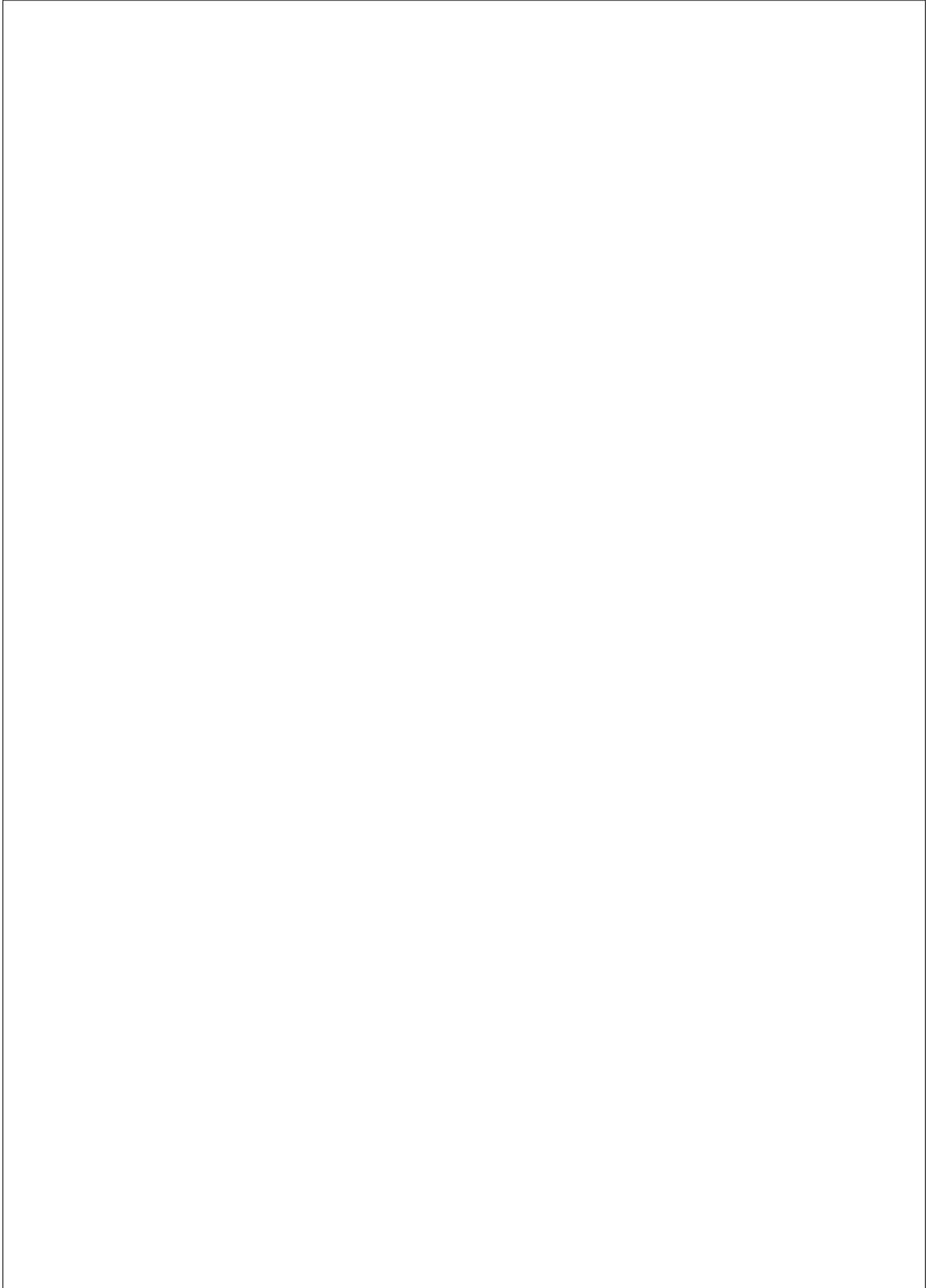
4 . 病医院施設の譲渡・賃貸 賃貸 5 件

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人登録は、申し込みが必要ですので宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は公開について同意をいただいております。 (平成18年5月17日現在)

| 登録番号 | 医療機関名                | 所在地 | 募集診療科                         | 求人数 | 常勤・非常勤      | 年齢    |
|------|----------------------|-----|-------------------------------|-----|-------------|-------|
| 91   | 西都市・西児湯医師会立西都救急病院    | 西 都 | 外(2)内(2)                      | 4   | 常勤(4)       | 不問    |
| 93   | (医)リッカ会ピア・メンタルささき病院  | 宮 崎 | 精(2)内(1)                      | 3   | 常勤(2)非常勤(1) | 不問    |
| 97   | 都農町国民健康保険病院          | 児 湯 | 内(1)外(1)小(1)整(1)泌(1)          | 5   | 常勤(5)       | 不問    |
| 99   | (医)正立会 黒松病院          | 都 城 | 内(2)                          | 2   | 常勤(1)非常勤(1) | 70歳迄  |
| 101  | (医)敬和会 戸嶋病院          | 都 城 | 内(4)小(1)不問(2)                 | 7   | 常勤(3)非常勤(4) | 65歳迄  |
| 105  | (財)延岡リハビリテーション病院     | 延 岡 | 内(1)整(1)リハ(1)                 | 3   | 常勤(3)       | 60歳迄  |
| 106  | (医)浩洋会 田中病院          | 日 向 | 内(1)精(1)                      | 2   | 常勤(2)       | 不問    |
| 107  | (医)望洋会 鮫島病院          | 日 向 | 精(2)内(2)                      | 4   | 常勤(2)非常勤(2) | 65歳迄  |
| 108  | (医)プレストピアなんば病院       | 宮 崎 | 外(1)放(1)内(1)婦(1)              | 4   | 常勤(4)       | 不問    |
| 109  | (医)宏仁会 海老原記念病院       | 都 城 | 内(1)                          | 1   | 常勤(1)       | 65歳迄  |
| 110  | (医)相愛会 桑原記念病院        | 西 諸 | 内(1)                          | 1   | 常勤(1)       | 60歳迄  |
| 113  | (医)悠生会 吉田病院          | 延 岡 | 精(1)内(1)                      | 2   | 常勤(2)       | 65歳迄  |
| 114  | (医)愛鍼会 山元病院          | 南那珂 | 内(4)消(2)                      | 6   | 常勤(4)非常勤(2) | 不問    |
| 115  | (医)宏仁会 海老原総合病院       | 児 湯 | 内(1)眼(1)麻(1)泌(1)耳鼻(1)整(1)循(2) | 8   | 常勤(8)       | 50歳迄  |
| 116  | (医)隆徳会 鶴田病院          | 西 都 | 整(1)内(1)放(1)眼(1)耳鼻(1)         | 5   | 常勤(5)       | 60歳迄  |
| 117  | (医)養気会 池井病院          | 西 諸 | 内(1)                          | 1   | 常勤(1)       | 45歳迄  |
| 118  | 介護老人保健施設みずほ          | 西 諸 | 内(1)                          | 1   | 常勤(1)       | 65歳迄  |
| 119  | (医)順養会 海老原病院         | 宮 崎 | 整(1)外(1)内(1)                  | 3   | 常勤(3)       | 不問    |
| 120  | 東郷町国民健康保険病院          | 日 向 | 整(1)                          | 1   | 常勤(1)       | 不問    |
| 121  | (医)社団橋会 橋病院          | 都 城 | 整(6)内(1)麻(1)                  | 8   | 常勤(5)非常勤(3) | 60歳迄  |
| 124  | (医)同心会 古賀総合病院        | 宮 崎 | 精(2)内(3)循(1)麻(1)老健(1)健診(2)    | 10  | 常勤(10)      | 不問    |
| 125  | (医)如月会 若草クリニック       | 宮 崎 | 整(1)内(1)                      | 2   | 常勤(2)       | 60歳迄  |
| 126  | (医)如月会 若草病院          | 宮 崎 | 精(1)                          | 1   | 常勤(1)       | 50歳迄  |
| 127  | (医)健寿会 黒木病院          | 延 岡 | 外(3)内(2)消(4)                  | 9   | 常勤(5)非常勤(4) | 不問    |
| 128  | (医)連理会 ウノ内科医院        | 西 諸 | 内(1)                          | 1   | 常勤(1)       | 40歳迄  |
| 130  | (医)十善会 県南病院          | 南那珂 | 内(1)精(1)                      | 2   | 常勤(2)       | 65歳迄  |
| 132  | (医)誠和会 和田病院          | 日 向 | 外(1)神内(1)麻(1)循(1)泌(1)整(1)     | 6   | 常勤(6)       | 不問    |
| 134  | 国民健康保険中部病院           | 南那珂 | 整(1)眼(1)                      | 2   | 常勤(2)       | 不問    |
| 138  | (医)和芳会 小林中央眼科        | 西 諸 | 眼(1)                          | 1   | 常勤(1)       | 不問    |
| 140  | 宮崎社会保険病院             | 宮 崎 | 検診(2)                         | 2   | 常勤又は非常勤     | 不問    |
| 141  | (医)再生会 鈴木病院          | 南那珂 | 内(1)                          | 1   | 常勤(1)       | 不問    |
| 142  | (医)博愛社 佐土原病院         | 宮 崎 | 内(1)                          | 1   | 常勤(1)       | 60歳迄  |
| 146  | (医)慶明会 191めい記念病院     | 宮 崎 | 内(2)整(2)耳鼻(2)胃(2)皮(2)         | 10  | 常勤(5)非常勤(5) | 50歳迄  |
| 147  | 五ヶ瀬町国民健康保険病院         | 西臼杵 | 内(1)外(1)                      | 2   | 常勤(2)       | 不問    |
| 150  | (医)春光会(宮路,日南,東,雁ヶ音)  | 宮 崎 | 胃(2)外(2)内(2)整(2)              | 8   | 常勤(4)非常勤(4) | 不問    |
| 151  | (医)尚成会 近間病院          | 宮 崎 | 内(1)外(1)整(1)                  | 3   | 非常勤(3)      | 60歳迄  |
| 154  | (医)アプラハムクラブベテスダクリニック | 都 城 | 循(2)呼(2)消(2)内(2)神内(2)         | 10  | 常勤(10)      | 不問    |
| 155  | (医)清陵会 隅病院           | 都 城 | 内又は消(1)整(1)外(1)               | 3   | 常勤又は非常勤(3)  | 70歳迄  |
| 156  | 国立病院機構宮崎病院           | 児 湯 | 呼(2)麻(1)内(2)                  | 5   | 常勤(5)       | 50歳迄  |
| 158  | (医)杉杏会 杉本病院          | 延 岡 | 内 循 精 いずれか(1)                 | 1   | 常勤(1)       | 65歳迄  |
| 160  | (医)友愛会 上原内科          | 宮 崎 | 内(1)                          | 1   | 常勤又は非常勤     | 不問    |
| 161  | 美郷町国民健康保険南郷診療所       | 日 向 | 外 整 内 いずれか(1)                 | 1   | 常勤(1)       | 60歳未満 |
| 162  | 独立行政法人国立病院機構都城病院     | 都 城 | 内(2)                          | 2   | 常勤(2)       | 65歳迄  |
| 164  | 旭化成健康保険組合診療所健診センター   | 延 岡 | 内(1)                          | 1   | 非常勤(1)      | 不問    |
| 165  | 美郷町国民健康保険西郷病院        | 日 向 | 内(1)                          | 1   | 常勤(1)       | 50歳未満 |
| 166  | (医)青隆会 野口脳神経外科       | 都 城 | 脳外(1)神内(1)                    | 2   | 常勤(2)       | 50歳迄  |
| 167  | 小林市立市民病院             | 西 諸 | 小(2)                          | 2   | 常勤(2)       | 45歳迄  |



## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成18年 5 月25日現在

| 6  |   |                                                                            | 月  |   |                                                                                                                                    |   |                                                 |
|----|---|----------------------------------------------------------------------------|----|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------|
| 1  | 木 | 16:00 学校保健及び学校安全に関する<br>文部科学大臣表彰審査会<br>9:30 会館建設住民説明会                      | 14 | 水 | 19:00 県「ピンクリボン活動みやざき」<br>実行委員会                                                                                                     |   |                                                 |
| 2  | 金 | 18:30 病院部会・医療法人部会合同総<br>会                                                  | 15 | 木 | 19:00 県医学会役員会                                                                                                                      |   |                                                 |
| 3  | 土 | 14:00 医協経営セミナー                                                             | 16 | 金 | 19:00 肺炎球菌ワクチンフォーラム                                                                                                                |   |                                                 |
|    |   | 14:30 (福岡) 日産婦医会九州ブロック<br>会                                                | 17 | 土 | 14:00 医協セミナー                                                                                                                       |   |                                                 |
|    |   | 15:30 (大分) 九医連常任委員会<br>16:40 (大分) 九医連定例委員総会<br>18:10 (大分) 九州医連連絡会執行委員<br>会 | 18 | 日 |                                                                                                                                    |   |                                                 |
| 4  | 日 | 10:00 (福岡) 日産婦医会九州ブロック<br>会                                                | 19 | 月 | 11:45 (東京) 全国訪問看護事業協<br>会都道府県連絡協議会<br>19:00 勤務医部会理事会                                                                               |   |                                                 |
| 5  | 月 |                                                                            | 20 | 火 | 15:00 (日医) 都道府県医師会長協<br>議会<br>18:00 医協運営委員会<br>19:00 第4回常任理事会                                                                      |   |                                                 |
| 6  | 火 | 9:30 認知症高齢者グループホーム外<br>部評価調査員養成研修                                          | 21 | 水 | 宮大経営協議会                                                                                                                            |   |                                                 |
|    |   | 14:30 県高齢者虐待防止連絡会議                                                         |    |   | 22                                                                                                                                 | 木 | 18:30 病院部会・医療法人部会合<br>同理事会<br>19:00 県内科医会誌編集委員会 |
|    |   | 18:00 第6回全理事会<br>18:30 県福祉保健部と県医師会との懇<br>談会                                |    |   |                                                                                                                                    |   |                                                 |
| 7  | 水 | 9:30 認知症高齢者グループホーム外<br>部評価調査員養成研修                                          | 23 | 金 |                                                                                                                                    |   |                                                 |
|    |   | 15:00 県健やか妊娠推進専門部会                                                         | 24 | 土 | 16:00 県医定例総会                                                                                                                       |   |                                                 |
|    |   | 18:30 病院部会・医療法人部会合同特<br>別研修会<br>19:00 日産婦学会専門医制度宮崎地方<br>委員会                | 25 | 日 | 11:00 (東京) 日産婦医会通常総会                                                                                                               |   |                                                 |
| 8  | 木 | 14:00 産業医研修会                                                               | 26 | 月 | 19:00 県産婦人科医会常任理事会<br>19:00 広報委員会                                                                                                  |   |                                                 |
|    |   | 15:00 (北海道) 全国国保組合協会通常<br>総会                                               | 27 | 火 | 18:00 第7回全理事会<br>19:00 各都市医師会長協議会                                                                                                  |   |                                                 |
| 9  | 金 | 14:00 産業医研修会<br>15:00 宮崎社会保険事務局社会保険健<br>康づくり事業推進協議会                        | 28 | 水 | 14:00 産業医研修会<br>15:00 労災診療指導委員会<br>15:00 支払基金幹事会<br>18:00 県プライマリ・ケア研究会世話<br>人会<br>19:00 県プライマリ・ケア研究会総会・<br>講演会<br>19:00 会館建設宮崎市公聴会 |   |                                                 |
| 10 | 土 | (岩手) 岩手県医師会との懇談会                                                           |    |   | 29                                                                                                                                 | 木 | 17:30 医師国保定例事務監査                                |
|    |   | 14:00 (東京) 日産婦医会理事会<br>14:30 産業医研修会<br>16:00 県内科医会総会・特別講演会                 |    |   |                                                                                                                                    |   |                                                 |
| 11 | 日 | (岩手) 岩手県医師会との懇談会                                                           | 30 | 金 | 9:30 全国自治体病院協議会九州地方<br>会議<br>9:30 認知症高齢者グループホーム外<br>部評価調査員養成研修                                                                     |   |                                                 |
| 12 | 月 | 19:00 互助会定時評議員会                                                            |    |   |                                                                                                                                    |   |                                                 |
| 13 | 火 | 14:00 産業医研修会                                                               |    |   |                                                                                                                                    |   |                                                 |
|    |   | 18:00 医協総代会<br>18:50 県医定例代議員会<br>19:50 県医連執行委員会                            |    |   |                                                                                                                                    |   |                                                 |

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成18年5月25日現在

| 7  |   | 月                                                                                              |                                                                                                                    |
|----|---|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 土 | 14:30 勤務医部会理事会<br>15:30 勤務医部会総会・講演会                                                            | 16 日 (大分)九州地区医師会立共同<br>利用施設連絡協議会                                                                                   |
| 2  | 日 |                                                                                                | 17 月 (海の日)<br>(大分)九州地区医師会立共同<br>利用施設連絡協議会                                                                          |
| 3  | 月 |                                                                                                | 18 火 19:00 第7回常任理事会                                                                                                |
| 4  | 火 | 19:00 第5回常任理事会                                                                                 | 19 水 国                                                                                                             |
| 5  | 水 |                                                                                                | 20 木 ↑保                                                                                                            |
| 6  | 木 | 9:30 日本看護学会「看護総合」                                                                              | 21 金 ↑審                                                                                                            |
| 7  | 金 |                                                                                                | 22 土 14:30 産業医研修会 社査                                                                                               |
| 8  | 土 | 15:00 各都市医師会・医師国保組合各<br>支部等職員事務研修会<br>19:00 日本周産期・新生児医学会総会・<br>学術集会会長招宴<br>19:00 木原プラタナス倶楽部講演会 | 23 日 保                                                                                                             |
| 9  | 日 | 14:00 安藤知事県政報告会                                                                                | 24 月 19:00 県産婦人科医会全理事会<br>19:00 広報委員会 査 ↓                                                                          |
| 10 | 月 |                                                                                                | 25 火 19:00 第8回全理事会                                                                                                 |
| 11 | 火 | 18:00 第6回常任理事会<br>18:30 新研修医保険診療説明会・祝賀会                                                        | 26 水 15:00 労災診療指導委員会<br>15:00 支払基金幹事会                                                                              |
| 12 | 水 |                                                                                                | 27 木 19:00 医師国保組合通常組合会                                                                                             |
| 13 | 木 | 19:00 広報委員会                                                                                    | 28 金                                                                                                               |
| 14 | 金 |                                                                                                | 29 土 16:00 (長崎)九医連常任委員会<br>17:00 (長崎)九州学校検診協議会幹事<br>会<br>18:00 (長崎)九州各県医師会学校保健<br>担当理事者会<br>(千葉)全国有床診療所連絡協議<br>会総会 |
| 15 | 土 |                                                                                                | 30 日 9:00 (長崎)九州学校検診協議会<br>11:30 (長崎)九医連学校医会評議員会<br>12:30 (長崎)九州ブロック学校保健・<br>学校医大会<br>(千葉)全国有床診療所連絡協議<br>会総会       |
|    |   |                                                                                                | 31 月                                                                                                               |

都合により、変更になることがあります。

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位。当日，参加証を交付。

がん検診＝各種がん検診登録・指定・更新による研修会 太字＝医師会主催・共催  
アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名 称                                    | 日 時                           | 場 所<br>会 費                           | 演 題                                                                                             | そ の 他<br>＝ 連絡先                                                                          |
|----------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 第20回都城心臓血管懇話会<br>( 3 単位 )              | 6 月 2 日(金)<br>19:00<br>～20:30 | ホテル<br>中山荘<br>500円                   | 循環器領域における下肢閉塞性動脈硬化症の治療(仮)<br>藤元早鈴病院循環器科<br>臨床現場の心エコー法<br>(21世紀の超診器)<br>国立病院機構鹿児島医療センター<br>循環器部長 | 主催<br>都城心臓血管懇話会<br>共催<br>大塚製薬(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県医師会<br>☎0986-22-0711                 |
| 第28回宮崎整形外科セミナー<br>( 3 単位 )             | 6 月 2 日(金)<br>19:15<br>～20:30 | ホテル JAL<br>シティ宮崎<br>1,000円           | 膝スポーツ外傷の最近の話題<br>熊本大学大学院医学薬学研究部<br>運動骨格病態学分野教授<br>水田 博志                                         | 共催<br>宮崎県臨床整形外科<br>医学会<br>宮崎県整形外科医会<br>帯人ファーマ(株)<br>(連絡先)<br>獅子目整形外科病院<br>☎0985-39-1052 |
| TOP フォーラム<br>in MIYAZAKI<br>( 3 単位 )   | 6 月 5 日(月)<br>19:30<br>～21:00 | 宮崎観光<br>ホテル                          | メタボリックシンドロームと高血圧<br>東京大学大学院医学系研究科<br>内科学教授 藤田 敏郎                                                | 共催<br>日本高血圧学会<br>アステラス製薬(株)<br>☎0985-61-1537<br>日本ペーリンガーイ<br>ンゲルハイム(株)                  |
| 宮崎市産婦人科<br>医会 6 月例会<br>( 3 単位 )        | 6 月 5 日(月)<br>19:00～          | 県医師会館                                | 陣痛抑制薬の罨 - 早産どころではない<br>陣痛抑制薬の怖い副作用 -<br>秋田大学医学部生殖発達医学<br>講座産婦人科分野助教授<br>平野 秀人                   | 主催<br>宮崎市産婦人科医会<br>(連絡先)<br>宮崎市医師会<br>☎0985-53-3434                                     |
| 宮崎市産婦人科<br>医会第29回症例検<br>討会<br>( 3 単位 ) | 6 月 8 日(木)<br>19:30～          | 宮崎市郡医<br>師会病院                        | 各医院からの紹介例<br>県立宮崎病院産婦人科<br>嶋本 富博                                                                | 主催<br>宮崎市産婦人科医会<br>(連絡先)<br>宮崎市医師会<br>☎0985-53-3434                                     |
| 第 4 回宮崎血液血<br>管研究会<br>( 3 単位 )         | 6 月 9 日(金)<br>18:40<br>～20:50 | ホテル JAL<br>シティ宮崎<br>1,000円<br>(医師のみ) | 閉塞性動脈硬化症の外科治療<br>宮崎大学医学部附属病院<br>外科学第 2 講師 中村 都英<br>最近の大血管治療<br>国立循環器病センター<br>心臓血管外科医長 荻野 均      | 共催<br>宮崎血液血管研究会<br>第一製薬(株)<br>☎0985-26-2171                                             |

| 名 称                                   | 日 時                         | 場 所<br>会 費         | 演 題                                                                                                                      | そ の 他<br>= 連絡先                                                           |
|---------------------------------------|-----------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 西諸医師会・西諸<br>内科医会合同学術<br>講演会<br>(5単位)  | 6月9日(金)<br>18:40<br>~21:00  | ガーデンベ<br>ルズ小林      | 生活習慣病から心筋梗塞・心不全まで<br>- ARB による心血管保護 -<br>国立循環器病センター内科心臓<br>血管部門部長 北風 政史                                                  | 主催<br>西諸医師会<br>☎0984-23-2113<br>西諸内科医会<br>共催<br>ノバルティスファ<br>ーマ(株)        |
| 都城市北諸県郡医<br>師会学術講演会<br>(5単位)          | 6月9日(金)<br>19:00<br>~20:10  | ホテル<br>中山荘         | パーキンソン病とその類縁疾患の治<br>療戦略<br>宮崎大学医学部神経呼吸内分泌<br>代謝学教授 中里 雅光                                                                 | 主催<br>都城市北諸県郡医<br>師会<br>☎0896-22-0711<br>共催<br>キッセイ薬品工業(株)<br>ファイザー(株)   |
| 宮崎県内科医会総<br>会並びに学術講演<br>会<br>(5単位)    | 6月10日(土)<br>16:00~          | 宮崎観光<br>ホテル        | 厳格な降圧の時代における高血圧治療<br>国立病院機構九州医療センター<br>高血圧内科医長 土橋 卓也<br>いま無視できないムシたち<br>- 最近注目すべき寄生虫症 -<br>宮崎大学理事/副学長(研究・<br>企画担当) 名和 行文 | 共催<br>宮崎県内科医会<br>☎0895-22-5118<br>宮崎県医師会<br>三共(株)                        |
| 日本皮膚科学会宮<br>崎地方会「教育セミ<br>ナー」<br>(3単位) | 6月10日(土)<br>17:00~          | 宮崎観光<br>ホテル        | じんましん治療の実際<br>島根大学医学部皮膚科学講座<br>教授 森田 栄伸                                                                                  | 共催<br>日本皮膚科学会宮崎<br>地方会<br>塩野義製薬(株)<br>☎0985-27-1041                      |
| 宮崎県精神科医会<br>懇話会<br>(3単位)              | 6月10日(土)<br>17:30<br>~19:00 | 宮崎観光<br>ホテル        | アミン代謝産物測定による精神状態<br>の評価<br>佐賀大学医学部精神医学講座<br>教授 山田 茂人                                                                     | 主催<br>宮崎県精神科医会<br>共催<br>アステラス製薬(株)<br>(連絡先)<br>吉田病院(植村)<br>☎0982-37-0126 |
| 木曜会学術講演会<br>(3単位)                     | 6月15日(木)<br>18:45<br>~20:00 | ホテル<br>中山荘<br>500円 | 臨床医のための血液検査値異常<br>- 血液疾患の診断と治療 -<br>宮崎大学医学部附属病院輸血部<br>講師 久富木 庸子                                                          | 主催<br>木曜会<br>共催<br>キリンビール(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711     |
| 宮崎木曜会講演会<br>(3単位)                     | 6月15日(木)<br>19:00<br>~21:00 | 宮崎観光<br>ホテル        | 最近の上腹部症状の治療について(仮)<br>佐賀大学医学部内科学教授<br>藤本 一眞                                                                              | 主催<br>宮崎木曜会<br>共催<br>アストラゼネカ(株)<br>☎0985-38-6611<br>後援<br>宮崎県医師会         |

| 名 称                                    | 日 時                                    | 場 所<br>会 費                              | 演 題                                                                                      | そ の 他<br>= 連絡先                                                                                          |
|----------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宮崎市郡内科医会<br>学術講演会<br>( 3 単位 )          | 6 月 15 日 ( 木 )<br>19 : 00<br>~ 20 : 30 | ホテル JAL<br>シティ宮崎                        | 高齢者の排尿管理 , その問題点と対<br>策<br>- 宮崎市における高齢在宅介護者の<br>排尿状態実態調査より -<br>宮崎大学医学部泌尿器科学<br>講師 井上 勝己 | 共催<br>宮崎市郡内科医会<br>アステラス製薬(株)<br>( 連絡先 )<br>宮崎市医師会<br>☎0985-53-3434                                      |
| 第16回宮崎消化器<br>病研究会<br>( 3 単位 )          | 6 月 16 日 ( 金 )<br>18 : 40<br>~ 20 : 30 | ホテル JAL<br>シティ宮崎<br>1,000円<br>( 学生は除く ) | C 型肝硬変のインターフェロン治療<br>- フェロンの適応拡大による新たな<br>展開 -<br>埼玉医科大学消化器・肝臓内科<br>教授 持田 智              | 共催<br>宮崎消化器病研究会<br>第一製薬(株)<br>☎0985-26-2171                                                             |
| 身体症状を伴う不<br>安・抑うつ治療の<br>コツ<br>( 5 単位 ) | 6 月 16 日 ( 金 )<br>19 : 00<br>~ 21 : 00 | 宮崎観光<br>ホテル                             | わが国におけるうつ病の考え方<br>- 身体症状との関連性 -<br>久留米大学医学部精神神経科<br>教授 前田 久雄                             | 共催<br>宮崎市医師会<br>宮崎県内科医会<br>宮崎県プライマリ・<br>ケア研究会<br>明治製菓(株)<br>☎0985-25-6215<br>後援<br>身体疾患と不安・抑<br>うつ研究会 他 |
| 宮崎県糖尿病性神<br>経障害研究会<br>( 3 単位 )         | 6 月 16 日 ( 金 )<br>18 : 45<br>~ 20 : 30 | 宮崎観光<br>ホテル                             | 糖尿病性神経障害のエビデンスは今<br>中部労災病院長 堀田 饒                                                         | 共催<br>宮崎糖尿病懇話会<br>小野薬品工業(株)<br>☎0985-50-0173<br>後援<br>宮崎県医師会                                            |
| 肺炎球菌ワクチン<br>フォーラム<br>( 5 単位 )          | 6 月 16 日 ( 金 )<br>19 : 00<br>~ 20 : 30 | 県総合保健<br>センター                           | 肺炎球菌ワクチンの今日的な位置づけ<br>佐賀大学臨床検査医学講座<br>助教授 青木 洋介<br>意見交換 : 肺炎球菌ワクチン接種を<br>考える              | 共催<br>宮崎県肺炎球菌ワク<br>チン研究会<br>宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>万有製薬(株)                                          |
| 宮崎県北産婦人科<br>医会<br>( 3 単位 )             | 6 月 16 日 ( 金 )<br>19 : 15<br>~ 21 : 30 | ホテルメリ<br>ージュ延岡                          | 小児における耳鼻咽喉科疾患<br>県立延岡病院耳鼻咽喉科<br>中島 崇博                                                    | 主催<br>宮崎県北小児科医会<br>共催<br>ファイザー(株)<br>( 連絡先 )<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300                                 |
| 第56回宮崎県腹部<br>超音波懇話会<br>( 3 単位 )        | 6 月 17 日 ( 土 )<br>16 : 00<br>~ 20 : 00 | ホテル<br>マリックス<br>1,000円                  | 急性腹症の超音波診断<br>八尾総合病院放射線科<br>部長 本田 伸行                                                     | 共催<br>宮崎県腹部超音波懇<br>話会<br>第一製薬(株)<br>☎0985-26-2171                                                       |

| 名 称                          | 日 時                         | 場 所<br>会 費                                                      | 演 題                                                                                                                                                                                                   | そ の 他<br>= 連絡先                                                                     |
|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 第14回江南医療連携の会・症例検討会<br>(3単位)  | 6月22日(木)<br>19:00<br>~20:30 | 宮崎社会<br>保険病院<br>100円                                            | Distally based sural flap による下<br>肢・足部の再建<br>宮崎社会保険病院形成外科<br>医長 伊木 秀郎<br>2006年前期における胃・大腸症例に<br>ついて<br>同病院外科医員 平田 宗嗣<br>当科におけるアキレス腱断裂の治療<br>同病院整形外科医員<br>小島 岳史<br>呼吸器感染症の画像診断<br>同病院健康管理センター長<br>杜若 陽祐 | 共催<br>江南医療連携の会<br>☎0985-51-7575<br>(宮崎社会保険病院内)<br>エーザイ(株)                          |
| 宮崎市郡内科医会<br>総会学術講演会<br>(3単位) | 6月23日(金)<br>19:00<br>~20:30 | 宮崎観光<br>ホテル                                                     | 高血圧治療の展望<br>- REAL VALUEの結果をふまえて -<br>熊本大学大学院医学薬学研究部<br>生態機能薬理学教授<br>光山 勝慶<br>レニン・アンジオテンシン系とアド<br>レノメデュリン<br>宮崎大学医学部循環体液制御学<br>教授 北村 和雄                                                               | 主催<br>宮崎市郡内科医会<br>ノバルティスファーマ(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>0985-53-3434                |
| 第27回宮崎てんかん懇話会<br>(3単位)       | 6月23日(金)<br>18:30<br>~20:30 | 宮崎観光<br>ホテル                                                     | 脳梁離断術の基礎と臨床<br>国立病院機構長崎医療センター<br>脳神経外科部長 馬場 啓至                                                                                                                                                        | 共催<br>宮崎てんかん懇話会<br>協和発酵工業(株)<br>☎0985-22-8801                                      |
| 宮崎市郡内科医会<br>講演会<br>(3単位)     | 6月24日(土)<br>16:30<br>~18:00 | JA A Z M                                                        | 糖尿病薬物治療の進歩<br>- SU 剤への新たな期待 -<br>川崎医科大学内科学教授<br>加来 浩平                                                                                                                                                 | 共催<br>宮崎市郡内科医会<br>宮崎糖尿病懇話会<br>サノフィ・アベン<br>ティス(株)<br>後援<br>宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434 |
| 第119回宮崎県<br>眼科医会講演会<br>(3単位) | 6月24日(土)<br>16:30<br>~19:10 | 宮崎観光<br>ホテル<br>2,000円<br>(開業医・勤務医)<br>1,000円<br>(公的医療機関<br>勤務医) | 保険研究会<br>眼科保険診療の諸問題について<br>宮崎県眼科医会副会長・健保<br>担当理事 川島 謙一郎                                                                                                                                               | 主催<br>宮崎県眼科医会<br>☎0985-24-8661<br>(宮崎中央眼科病院)                                       |

| 名 称                                              | 日 時                                    | 場 所<br>会 費                             | 演 題                                                                                                           | そ の 他<br>= 連絡先                                                |
|--------------------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| ASCOT 講演会<br>( 3 単位 )                            | 6 月 29 日 ( 木 )<br>18 : 30<br>~ 21 : 30 | 宮崎観光<br>ホテル                            | EBM にみる高血圧の診断と治療 ( 仮 )<br>琉球大学臨床薬理学教授<br>植田 真一郎                                                               | 共催<br>宮崎県内科医会<br>ファイザー(株)<br>☎0985-23-9103                    |
| 児湯医師会学術講演会<br>( 5 単位 )                           | 6 月 29 日 ( 木 )<br>19 : 00<br>~ 20 : 30 | ホテル<br>四季亭                             | 過活動膀胱の診療と治療<br>宮崎大学医学部泌尿器科学講師<br>井上 勝己                                                                        | 共催<br>児湯医師会<br>☎0983-22-1641<br>アステラス製薬(株)                    |
| 第 2 回宮崎県緩和医療研究会<br>( 3 単位 )                      | 7 月 1 日 ( 土 )<br>14 : 00<br>~ 18 : 00  | JA A ZM                                | がん性疼痛緩和について - 具体的な症例を中心に - ( 仮 )<br>国立国際医療センター緩和ケア科長<br>有賀 悦子                                                 | 主催<br>宮崎県緩和医療研究会<br>塩野義製薬(株)<br>☎0985-27-1041<br>後援<br>宮崎県医師会 |
| 第 4 回宮崎県肝疾患カンファレンス<br>( 3 単位 )                   | 7 月 8 日 ( 土 )<br>19 : 00<br>~ 20 : 30  | ホテル<br>マリックス                           | 生体肝移植の将来と展望<br>九州大学大学院消化器・総合外科講師<br>武富 紹信                                                                     | 共催<br>宮崎県肝疾患カンファレンス<br>シュering・プラウ(株)<br>☎092-474-9790        |
| 宮崎甲状腺疾患研究会<br>( 3 単位 )                           | 7 月 14 日 ( 金 )<br>18 : 30<br>~ 20 : 30 | 宮崎観光<br>ホテル<br>1,000円<br>( 学生・研究生は除く ) | 甲状腺疾患の病理 ( 仮 )<br>和歌山県立医科大学第 2 病理学教授<br>覚道 健一                                                                 | 共催<br>宮崎甲状腺疾患研究会<br>あすか製薬(株)<br>☎092-781-6551                 |
| 第 17 回宮崎感染症研究会<br>( 3 単位 )                       | 7 月 19 日 ( 木 )<br>18 : 45 ~            | 宮崎観光<br>ホテル<br>1,000円<br>( 学生は除く )     | Q 熱の臨床 - 新興感染症か否か ?<br>東北大学加齢医学研究所呼吸器腫瘍研究分野助教授 渡辺 彰<br>知っておくべきヘルペス感染症<br>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚・粘膜・結合学教授<br>岩田 啓氏 | 共催<br>宮崎感染症研究会<br>第一製薬(株)<br>☎0985-26-2171                    |
| 消化管運動学術講演会 - JMMS ( 大規模比較試験 ) 発表記念 -<br>( 3 単位 ) | 7 月 27 日 ( 木 )<br>19 : 00<br>~ 20 : 30 | 宮崎観光<br>ホテル                            | 機能的ディスペプシアの病態と治療<br>兵庫医科大学内科学講座<br>上部消化管科教授 三輪 洋人                                                             | 共催<br>宮崎県内科医会<br>大日本住友製薬(株)<br>☎0985-29-5855                  |

| 名 称                           | 日 時                       | 場 所<br>会 費                                         | 演 題                                                                                                                                         | そ の 他<br>= 連絡先                                           |
|-------------------------------|---------------------------|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 第54回日本教育医学<br>学会宮崎大会<br>(3単位) | 8月5日(土)<br>9:00<br>~17:30 | 宮崎大学医<br>学部<br>6,000円<br>(学会員)<br>3,000円<br>(臨時会員) | 地域・職場・学校での全人医療に不<br>可欠な心身医学と心療内科(仮)<br>九州大学医学部心身医学科<br>教授 久保 千春                                                                             | 主催<br>日本教育医学会<br>後援<br>宮崎大学<br>☎0985-58-4768<br>宮崎県医師会 他 |
|                               | 8月6日(日)<br>9:00<br>~17:30 | (一般・学生・当<br>日会員)<br>2,000円                         | 患者中心の新しい看護および医学教<br>育システムの構想(仮)<br>宮崎大学医学部医学教育改革部<br>教授 林 克裕<br>教育現場での安全とメンタルヘルス<br>その他・シンポジウム(仮)<br>宮崎大学安全衛生保健センター<br>メンタルヘルス部門教授<br>秋坂 真史 |                                                          |

## はまゆう随筆原稿募集

7・8月号に夏の恒例となりました「はまゆう随筆」欄を企画致しますので奮ってご投稿をお願い致します。毎年皆様に大変ご好評のようです。

題 材：

1. 平成18年度診療報酬改定：本年4月に改定された診療報酬について、ご意見をお寄せください。
2. 自由題：これまで通り、診療閑話、私の趣味、旅行記、スポーツ談義、詩、短歌、俳句など何でも結構です。

なお、本文に関連した写真・イラスト等も掲載できます。

字 数：800字以内

締 切：6月30日

宛 先：宮崎県医師会広報委員会

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

投稿項目、タイトル、ご氏名を先頭に付記してください。

ご投稿の原稿が他誌に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせください。

掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願い致します。

原則として原稿はお返し致しません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。

原稿は、FAX、電子媒体にても受け付けております。テキスト形式で保存し、ディスクまたはメールにて下記へお届けください。

FAX 0985 - 27 - 6550

E-mail: genko@m-iyazakim-ed.or.jp

## 診療メモ

## はにわネットを活用しよう

宮崎県医師会，宮崎県，宮崎大学医学部が中心となり，地域での医療情報の共有と医療サービスの向上を目的として，平成13年度より始まった電子カルテの連携プロジェクト「はにわネット」も，今年度で6年目を迎えました。医療情報の連携が注目を浴びている割には，まだまだ利活用は進んでいないのが現状です。そこで，はにわネットを皆さまに使っていただくためのヒントを紹介させていただきます。

その1：電子カルテは必須ではありません。

はにわネットでは，インターネットエクスプローラのようなブラウザを使ったWeb電子カルテという簡易版の電子カルテを無償で提供しています。院内あるいはご自宅で，インターネットに接続されているコンピュータが

あれば，会員登録するだけで使えるようになります。このWeb電子カルテを使って，様々なサービスを提供しています。

その2：外注検査データを見たり，グラフにしたり出来ます。

はにわネットに参加している検査センターは，エスアールエル，クリニカル・パソロジー・ラボラトリー，ビー・エム・エル，宮崎市郡医師会臨床検査センター，臨床宮崎です。大半をカバーしていると思います。これらの検査センターに出した検査結果は，はにわネットのWeb電子カルテで参照可能です(図)。

その3：患者さんとの連携は喜ばれます。

はにわネットと連携している電子カルテであれば，その内容をWeb電子カルテを使って

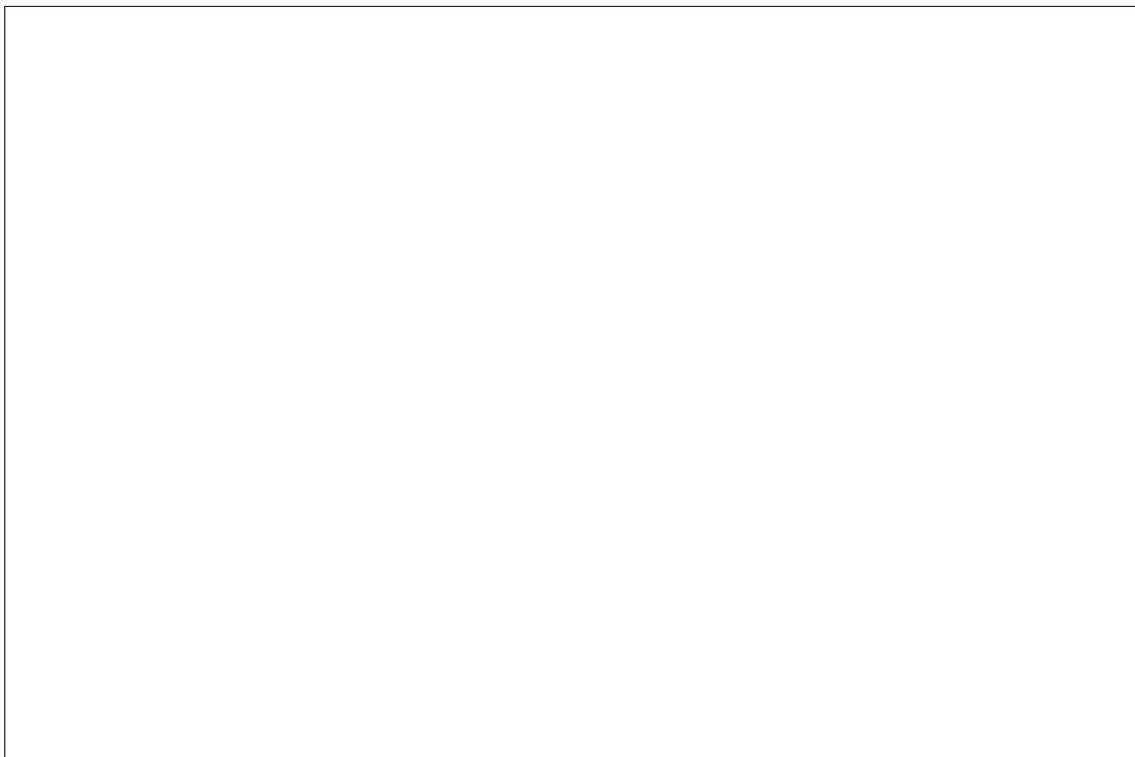


図 Web電子カルテにて検歴とグラフを参照

患者さんに参照してもらうことが出来ます。生活習慣病の患者さんであれば、患者教育にもなるでしょう。本格的な電子カルテを導入していなくても、前述の検査データのみを参照してもらうことも可能です。

その4：宮崎大学病院(宮大病院)連携に参加してください。

宮大病院では、平成18年5月1日から、新システムを稼働させ、原則電子カルテに移行しました。今年中には、放射線画像の「はにわネット」連携も開始します。宮大病院にご紹介いただいた患者さんについては、紹介元の医師に宮大病院のカルテを参照していただくサービスを行っています。参照はWeb電子カルテを使います。是非ご活用ください。また、同様の連携を各県立病院でも計画しています。

その5：元気eランドみやざきに参加してください。

Web電子カルテの最大の特徴は、特別なソフトを必要とせず、会員登録するだけで連携ができるということです。このメリットを生かして、一般の方向けの健康支援サービス「元気eランドみやざき」を平成17年度から開始しました。利用者は日々の健康データ(血圧、体重、体脂肪、運動や食事の内容)を入力することができ、データはウェルネスマネジャー(現在は管理栄養士や健康運動指導士が担当)が毎日チェックコメントを返します。さらに、ウェルネスプランナー(通常は医師)が上位にいて専門的な指導を担当します。医者の不養生という言葉もありますから、是非一般利用者として参加してください。また、医師の皆さまがウェルネスプランナーとして、自院の患者さんの家庭での健康管理をチェックすることも出来ます。

元気eランドみやざき ホームページ

<http://www.genkie.net/>

その6：インターネット予約システムを計画中です。

今年中に宮大病院のインターネット予約システムを稼働予定です。Web電子カルテを使っ

て、様々な診療予約ができるようにします。ホテルの予約のようなイメージですが、診療情報という特殊性から、セキュリティに配慮した「はにわネット」で行うのが望ましいと考えます。まず最初に、宮大病院のCT、MRI、PET-CT(今年9月導入)などの空状況を見ながら予約が出来るサービスを提供します。同様の仕組みを、はにわネット参加医療機関にも拡大し、外来予約や各種検査予約ができるように計画しています。

その7：はにわネット連携に強い電子カルテを開発しました。

Web電子カルテを使ったサービスについて述べましたが、本格的な電子カルテでの医療情報連携も積極的に進めて行きたいと考えています。連携可能な電子カルテの一覧を東京都医師会のHOTプロジェクトで管理していますので、下記のアドレスのHOT対応電子カルテの項をご参照ください。

<http://www.ocean-shinagawa.tokyo.jp/hot/index.html>

これ以外に、はにわネットでは、地元のIT企業と連携し、はにわネット連携に強い電子カルテを開発し宮大病院でも稼働しました。下記アドレスをご参照ください。

<http://www.corecreate.com/main.html>

以上、様々なサービスを提供しながら、皆さまとともに利活用を推進して行きたいと考えていますので、是非ご協力をお願いします。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

\*宮崎健康福祉ネットワーク協議会事務局

宮崎県医師会： ☎0985-22-5118 担当 牧野

アブック株式会社： ☎0985-50-6600 担当 米

宮崎大学医療情報部： ☎0985-85-9057 担当 荒木

ホームページ：<http://www.haniwa-net.jp/>

お問い合わせ時間：月～金 9：00～17：00

(宮崎健康福祉ネットワーク協議会

宮崎大学医学部附属病院医療情報部

荒木 賢二)

読者の広場

読者からの投書

“会長のページ”では、毎月秦会長が自らの言葉で意思を発信しておられます。県医のトップが、何を思いそして何を行おうとしているのかストレートに伝わってきます。“審査会から”の情報は、減額査定を防ぐ上で有用です。これからも、日州医事という公的な紙面で、審査基準をどんどん公開して下さい。

70ページの「診療メモ」の表1に間違いがあるのではないのでしょうか。

(平成18年5月13日 K生)

広報委員会の回答

ご意見、ご指摘ありがとうございます。今後も審査会からなど、皆様に役立つ情報を提供して行きたいと思えます。4月号の診療メモの表は、山本先生から頂いた原稿は正しい物でしたが、印刷ミスを校正しないまま掲載してしまいました。おわび申し上げます。下記に正しい表を記載いたします。

日州医事では、会員の皆さんからのご意見を募集しています。

(宮崎県医師会 FAX 0985 - 27 - 6550)

(訂正5月号P70)

表1 切除例からみたリンパ節転移の頻度、適応拡大へ (国立がんセンター)

■部分が適応拡大

| 深達度・潰瘍 |      | 分化型腺癌  |        | 未分化型腺癌 |        | 脈管侵襲 |
|--------|------|--------|--------|--------|--------|------|
| M      | u(-) | ~ 2 cm | 2 cm ~ | ~ 2 cm | 2 cm ~ |      |
|        |      |        | 0 %    | 0 %    | 0 %    | 3 %  |
|        | u(+) | ~ 3 cm | 3 cm ~ | 5 %    |        |      |
|        |      | 0 %    | 3 %    |        |        |      |
| SM 1   |      | ~ 3 cm | 3 cm ~ | 11%    |        |      |
|        |      | 0 %    | 3 %    |        |        |      |

## おしえて！ドクター 健康耳寄り相談室

MRT ラジオ

毎週土曜日 午前11時20分～11時30分 放送

### 内視鏡手術

(平成18年3月18日放送)

外科医会 谷口正次

1990年に日本に導入された腹腔鏡下胆嚢摘出術は急速に普及し、2003年までに本邦での全腹腔鏡下手術は30万例近くに達している。術式も胃粘膜下腫瘍や早期胃癌に対する胃部分切除術、大腸癌に対するリンパ節郭清を伴う大腸切除術、潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘術、脾臓摘出術の他、胸部では肺や心臓、血管の手術、その他乳腺、甲状腺へと広まり、泌尿器科、婦人科、整形外科領域など、多方面で内視鏡手術が可能になっている。

最も多く行われている腹腔鏡下胆嚢摘出術は、多少の胆嚢炎や癒着があっても可能となり、従来の開腹術に代わって標準術式となっている。手術は全身麻酔下に二酸化炭素で気腹して行う。臍部より径1cmの腹腔鏡と、他に5mmの鉗子を3本程度挿入、胆嚢を胆嚢床より剥離、胆嚢管を結紮して切離し、臍部創から胆嚢を摘出する。術翌日に食事も歩行も可能で、術後3、4日で退院できる。条件が許せば1泊入院も可能である。

患者に優しい手術として登場したが、時には患者のリスクにつながる場面もあり「うまくいけば患者さんに優しい手術」とも言える。すべての患者でうまくいくように手技の訓練や症例毎の細かい手術法の検討が必要であり、状況に応じて開腹術への移行を躊躇しないことも大切である。

### 認知症と介護

(平成18年3月25日放送)

県医師会 丹光明

認知症は脳神経細胞の損傷が原因となって、健忘や認知障害が生じる病気である。しかし、この認識のない介護者も多く、物忘れすることに対し感情的になりがちである。認知症は、記憶は失われても感情は残っており、こういった状況が続くと、何を言われたかは忘れても、悪い感情が残ってしまうといわれている。認知症患者と介護者の間での感情的なしこりが徐々に増大すると、随伴精神症状の始まりとなりやすい。

また、認知症介護は、同じ話を何度も聞かされたり、同じことを何度も繰り返されたり、目が離せなかったりと介護者にはかなりの忍耐力が要求される。そのため、認知症介護にとって最も大事なことは、逃げ場所を作っておくことである。それは、自分の代わりとなりえる介護者を作っておくことや、認知症高齢者が慣れている短期入所施設を確保しておくことだ。

認知症の介護は、要介護者との間に信頼関係を構築し、逃げ場所を作り、余裕を持って介護に当たることが大切である。

## 外科って何をするとところ？

(平成18年4月1日放送)

外科医会 宮本耕次

外科と聞くと、手術という言葉を連想される方が多いようです。確かに手術をするのが外科の仕事なのですが、それだけが外科の仕事ではありません。

外科の範疇には、消化管とか消化吸収に関わる臓器、主に腹部の内臓が含まれます。食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肛門という消化管の病気。もちろん虫垂炎(いわゆる盲腸)、癌や潰瘍、痔も含まれますし、肝臓・胆嚢・膵臓などの癌や胆石も外科の病気です。そして、体の表面からアプローチする甲状腺や乳腺も外科の領域ですし、ヘルニア(脱腸)も、外科の病気です。ただ、外傷だけでなく、風邪をひいた時にも頭が痛い時にも診てくれます。

もちろん、一人ひとりの医師で得意技はあるわけで、要は是非かかりつけ医を持って頂き、その先生の得意技を知った上でお付き合い頂いて、何でも相談できる存在にすることが大切と思って下さい。

## 十代の妊娠と妊娠中絶

(平成18年4月8日放送)

産婦人科医会 釜付弘志

ここ数年来、十代の若い世代の妊娠とそれに伴う人工妊娠中絶が異常に増えてきています。

その理由として古くから日本の文化は元服制度(女性もあった)に代表されるように15歳頃からの成人を認め、結婚、妊娠を社会が容認していましたが、現在は“できちゃった婚”にみるように意図しない(計画的でない)結婚や妊娠が増加したためであると思われます。ある調査によると1991年ではフランスは望まれた出産は66%ありましたが、日本は36%しかありませんでした。日本の昨年の“できちゃった婚”割合は26.7%、宮崎にいたっては32.8%でした。精神的、経済的に未熟な10代の未婚者は妊娠したら人工妊娠中絶にむかひやすいでしょう。

現在の女性の初体験年齢は17~18歳が最も多く、その中の約半数が避妊をしていません。それを考えると人工妊娠中絶が増えるのも無理はありません。それを防ぐには性交渉をもたせないことが最も確実です。が、現実的には正確な避妊知識の伝授とその実践しかありません。性行為感染症予防も含めてコンドーム+低容量ピルを子供たちにしっかり浸透させねばなりません。

また30代後半~40代にかけての人工妊娠中絶率も宮崎県は全国より多いために私達大人も自覚が必要です。

## 学校心臓検診について

(平成18年 4月15日放送)

小児科医会 上野 満

学校心臓検診は、小・中・高等学校に新しく入学してきた1年生を対象に毎年行なわれているもので、現在は、対象者全員に心電図検査を行い、内科検診とアンケートの結果なども含めて総合的にスクリーニングを行っている。

検診の一番の目的は、不整脈を含めた様々な心臓病を学校生活の中で適切に管理し、とりわけ突然死を予防することである。したがって、新たな心疾患を発見するのみでなく、既に手術などの治療を受けた子ども達が適切に管理されているかを確認することも行っている。

宮崎県ではそれぞれの郡・市の医師会が実施主体となって検診を行なっているが、宮崎市郡医師会を例にすると、平成17年度には、125校、合計14,497名に心臓検診を行った。このうち460名(3.2%)が二次検診による精密検査が必要と判定され、結果的にはこの中の135名と、既に診断のついていた69名を含めて、204名(1.4%)が学校生活に注意が必要と診断された。運動制限も一律に禁止というわけではなく、慎重な運動制限の必要なものから、運動クラブの活動も可能というものまで、過不足のない適切な管理がなされている。

## 医師会の役目 - 県民への健康教育 -

(平成18年 4月22日放送)

県医師会 大坪 睦 郎

県民の健康を守る立場から医師会では県民の健康教育に力を注いでいる。その中で県医師会が中心となって実施している3つの県民への健康教育事業を紹介する。

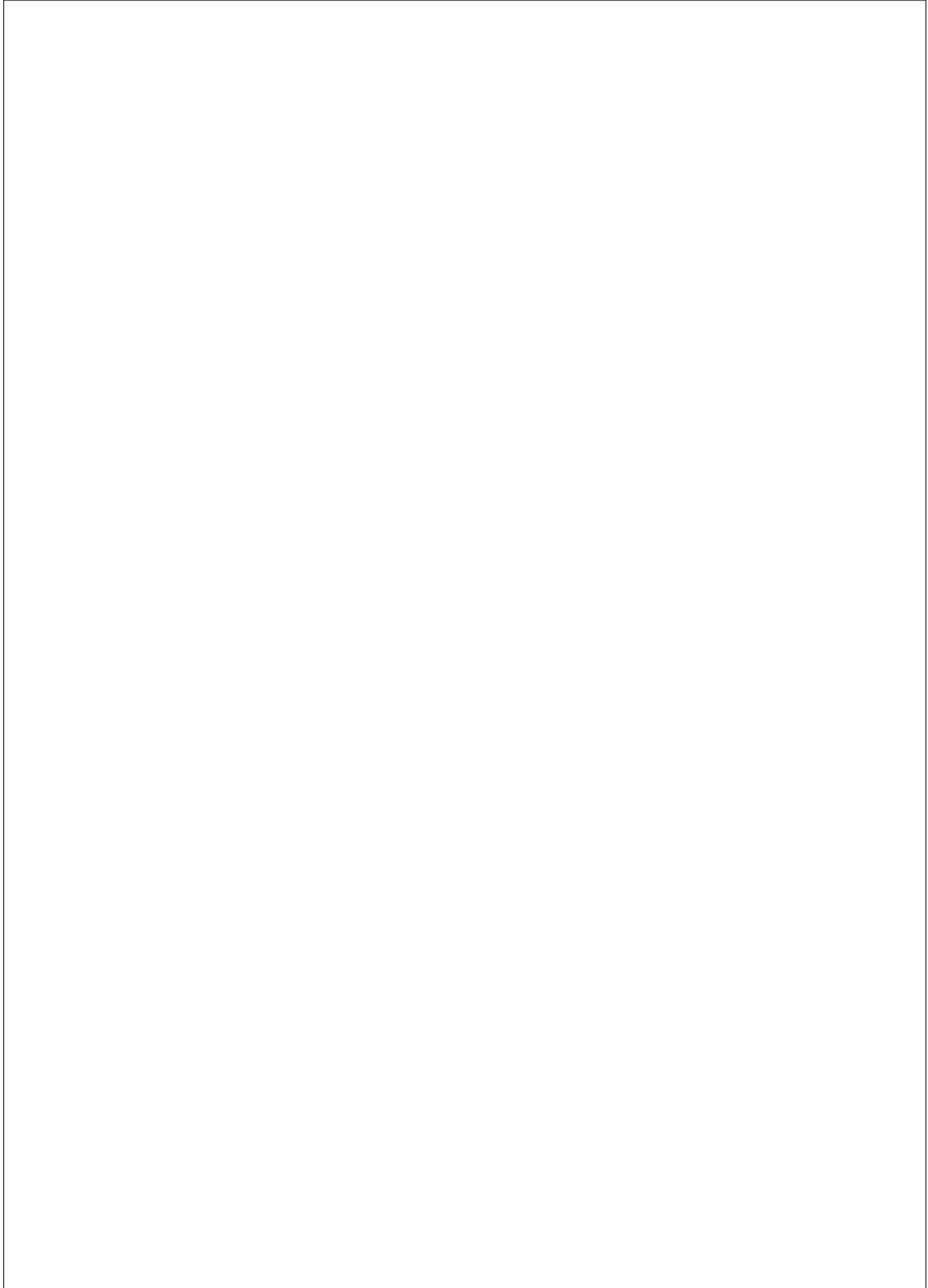
1つ目は「県民健康セミナー」として毎年1回開催している講演会である。健康を目的としたスポーツ、サプリメント、漢方薬の問題などを取り上げてきた。

2つ目は小・中・高校における健康教育講演あるいは相談である。学校保健活動は近年4科(内科、眼科、耳鼻科、歯科)で十分にカバーできない問題が起きてきた。そこで2年前より地域の産婦人科・整形外科・精神科・皮膚科の専門医が学校へ出向き、性教育、スポーツ障害、不登校・いじめなど心の問題、アトピー性皮膚炎などのアレルギー性皮膚疾患を取り上げている。

3つ目は小児救急電話相談事業である。小児救急体制が十分に整備されていない中で、少しでも保護者の不安を取り除く目的で平成17年11月より開始した。現在の所 相談日時は土・日・祝日・年末年始の午後7時より午後11時までとなっており今後これを拡大していきたいと考えている。

### 今後の放送予定

|             |         |        |
|-------------|---------|--------|
| 平成18年 6月17日 | 福 田 健 二 | 整形外科医会 |
| 6月24日       | 石 川 智 信 | 東洋医会   |
| 7月 1日       | 中 崎 秀 二 | 眼科医会   |
| 7月 8日       | 稲 倉 正 孝 | 県医師会   |
| 7月15日       | 山 内 正 倫 | 泌尿器科医会 |



## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。  
詳細につきましては、所属郡市医師会へお問い合わせください。

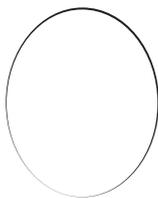
| 送付日   | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 備 考 |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 4月28日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「老人保健法による健康診査」の一部改正などについて</li> <li>・自殺予防に向けての総合的な対策の推進について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     |
| 5月1日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「予防接種法施行令の一部を改正する政令の一部を改正する政令案」及び「予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令案」に関する御意見募集について</li> <li>・「病原微生物検出情報」、「同普及版」の送付について</li> <li>・小児慢性特定疾患治療研究事業における気管支喘息の取扱いに係る告示の一部改正等について</li> </ul>                                                                                                                                                                     |     |
| 5月8日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「介護保険法等の一部を改正する法律の施行及び平成18年4月介護報酬改定関連通知」資料の送付について</li> <li>・平成18年度宮崎県文化賞受賞候補者の推薦について</li> <li>・医療法施行規則の一部を改正する省令について</li> <li>・平成18年度「宮崎県医療功労者知事表彰」候補者の推薦について</li> <li>・医療法施行細則の全部改正について</li> <li>・「通知の一部訂正について」等の通知について</li> <li>・健康保険診療報酬点数表等の改正に伴う診療費請求内訳書の取扱いについて</li> <li>・労災診療費算定基準の一部改定に伴う運用上の留意事項等について</li> <li>・疑義解釈資料(その5)の送付について</li> </ul> |     |
| 5月11日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度公衆衛生事業功労者の表彰について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |
| 5月13日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「官報掲載事項の一部訂正について」等の通知について</li> <li>・「疑義解釈資料の送付について(その5)」等の通知について</li> <li>・平成18年度診療報酬改定関連通知の一部訂正について</li> <li>・厚生労働大臣が指定する病院の病棟並びに厚生労働大臣が定める病院及び調整係数の一部改正について</li> <li>・(財)労災保険情報センターが行う労災診療費算定実務研修事業に対する協力について</li> </ul>                                                                                                                             |     |

| 送付日   | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 備 考 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 5月15日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省通知『食育推進基本計画』に基づく健康づくりのための食育の推進について』について</li> <li>・「特別養護老人ホーム等における療養の給付(医療)の取扱いについて」の運用上の留意事項に関する事務連絡の送付について</li> <li>・指定認知症対応型共同生活介護及び平成18年4月改定関係 Q &amp; A (VOL.4) 等の送付について</li> <li>・「今後の児童家庭相談体制のあり方に関する研究会 報告書」の送付について</li> </ul>                                                                      |     |
| 5月16日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務省共済組合員証の無効について</li> <li>・平成18年度「日本医師会医学賞」ならびに「日本医師会医学研究助成費」候補の推薦について</li> <li>・医療保険と介護保険の給付調整に関する留意事項等について</li> <li>・平成18年度診療報酬改定・介護報酬改定関連通知等の一部訂正について</li> <li>・公害医療機関の診療報酬の請求に関する省令の一部改正について</li> <li>・船員保険被保険者証及び船員保険被扶養者証の更新について</li> <li>・療養の給付, 老人医療及び公費負担医療に関する費用の請求に関する省令の一部を改正する省令の施行について</li> </ul> |     |
| 5月18日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健事業実施要領の一部改正について」等通知について</li> <li>・第50回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに平成18年度九州学校検診協議会について</li> <li>・「平成18年度歯の衛生週間」について</li> </ul>                                                                                                                                                                                         |     |
| 5月20日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度救急医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |
| 5月22日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療施設等施設整備費補助金に関する調査について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                              |     |

期間中の感染症・食中毒情報(2016 - 2032)

-----  
 あなたできますか？(解答)

|   |   |   |      |      |   |   |      |
|---|---|---|------|------|---|---|------|
| 1 | 2 | 3 | 4    | 5    | 6 | 7 | 8    |
| c | d | c | a ,c | a又はb | a | d | c ,d |



日州医事6月号をお届けします。今月号の表紙は紫蘭。気品あふれる、たおやかな風情が、梅雨のうつとおいさを慰めてくれそうです。今回の医療制度改革は我が国の医療に相当ドラスティックな変化をもたらしました。現場の私たちは苦慮しつつも、適切な医療水準を確保すべく努力しているところですが、それに追い打ちをかけるかのように、今後もさらなる改革が実施される予定です。本格的な少子

高齢化社会においても持続可能な医療制度の構築のために、政府が目論む医療費適正化計画とはどのような内容か、志多副会長がグリーンページで詳説しておられます。政府の言うままに進んだ場合の未来の医療状況が、今より充実し幸せなものになるのかどうか、私たち自身が模索していくべき課題かと思えます。

今年の台風による風水害では、多数の先生方が被害にあわれました。この日州医事にも貴重な体験談をお寄せいただきましたが、その後、読者の広場で災害保険について教えて欲しいという御要望がありました。今回、宮崎県医師協同組合の協力を得、台風災害保険について特集を組みました。どうぞ御一読下さい。

夏の恒例・はまゆう随筆には既に数名の先生から原稿をいただいております。今月末の締め切りまで、まだ余裕がありますので、どうぞ奮って御応募のほど、お願いいたします。また、今月号から医師国家試験問題を掲載しています。四半世紀も前の自分の頃より、随分難しく思えるのは日頃の不勉強のせいでしょうね。

ゴールデンウィーク頃から雨続きで、日照不足による野菜の高値が話題になりました。ジョギングコースの小川の蛸は、今年やや少なめでした。とんでもない異常気象が起きないように祈りつつ、夏を乗り切ろうと思います。(荒木康)

2年前、ほとんど医師会のことを知らない状態で引き受けた広報委員の仕事に不安な気持ちになっていたのですが、初めて校正した号に掲載されていた友成先生の随筆「冬のテラスの花々」を読み、色とりどりの花が咲くテラスを想像し、心和むような気持ちになったことを覚えています。そして、2期目の広報委員として最初の校正となる今月号で、偶然、友成先生の「早春の庭」に再会しました。気持ちも新たに、また2年間、多くの先生方の原稿との出会いを楽しみに広報委員を務めさせていただきます。(荒木早)

今月号から2006年2月の医師国家試験問題を抜粋掲載いたします。国試では「A」から「I」問題まで約530題を3日間で解きます。例えば「A」問題は2時間半で60問。まず、この膨大な量に圧倒されましたが、掲載にあたっては問題に臨むしかなく、ビールを片手に20数年ぶりに国試に挑戦。内科領域は、日常診療で遭遇する疾患や学生に講義した専門分野などもあり、まずまずの印象。しかし、それ以外の領域は容易ではありませんでした。また、昔、理科の実験でも使った石綿網などアスベストが原因で起こる胸膜中皮腫、肺癌など昨今の話題からの出題もあり、これらは結構楽しく挑みました。なるべく問題の片寄りがないように選択しましたので、是非トライして見てください。(比嘉)

ゴールデンウィークも過ぎ、今年度の仕事のサイクルも本格化してきました。ラボの机の上でメダカを飼っていますが、卵を産みました。しかし、その産後の肥立ちが悪かったのか、亡くしてしまいました。4月に転勤していった同僚がさらに3匹残していったため、現在4匹。狭いガラスの壺の中でけなげに生きています。自分もこのような狭い世界に生きているのかな、と考えてしまいます。世の中ペッ

トブーム。私のペットはとても小さいのですが、一人並みの楽しみは持っているという気持ちでいます。(林)

神尊先生から引き継ぐ形で、新しく広報委員を務めることになりました。お恥ずかしいことに若い頃(今でも若いつもりですが( ^。^ ; ))は目を通すことも無かった日州医事...「ここ数年「結構おもしろい...」と時間をかけて読むようになっていました。インターネットで容易に様々な情報が入手できる昨今ですが、適切な情報というものが意外と得にくくなっていませんか。どのように貢献できるかかなり不安ですが、ためになる情報を楽しんで享受できる会報を目指し、微力ながらがんばる所存です。どうぞよろしく願いいたします。(和田)

言葉は、時代と共に移り変わって行くものだそうです。そういった意味では、理解不可能な若者言葉も時代の流れなのでしょう。しかし、最近気になるのはテレビの中の敬語です。私も自信はありませんが、間違った使い方が結構見受けられるような気がします。テレビの影響力を考えると日本語から徐々に敬語が消えて行き、同時に年長者への尊敬も薄れて行くのではないかと心配です。医療保険や介護保険の制度の行方と共に、高齢者には一段と住みにくい世の中になるのでしょうか。(丹)

診療報酬改定から1か月が経ちましたが、看護師不足により病院はより上の入院基本料を算定できず運営に苦しみ、在院日数を減らそうにも患者さんは行き先が無く、外来ではリハビリ中止の説明に苦慮しています。さらに追い討ちを掛けるように、10月には自己負担増の予定です。今度は病気になっても診療に行けない状況が危惧されます。安全・安心の医療の提供へ、医師会の舵取りに期待します。(森)

## 今月のトピックス

### メディアの目 医師のお墨付き

メタボリック症候群にならないためには、楽しく身体を動かす。それが継続のコツでしょうか。宮崎日日新聞編集局次長兼報道部長の岩下さんが実践する健康管理について書いていただきました。 →14ページ

### グリーンページ 医療制度改革関連法案について(その2)

日州医事 4月号で概要を述べた医療制度改革 2法案は、5月18日に衆議院で可決され参議院で審議中である。その中から、最も大きな柱とされる医療費適正化計画について、政府および厚労省の思惑について解説。 →15ページ

### あなたできますか? 平成17年度医師国家試験問題より

もう随分と以前の記憶です、医師国家試験。もう一度知識を呼び起こし、気分転換にちょっと知恵試し。広報委員が選りすぐった問題で、頭の体操をいたしましょう。 →21ページ

### 診療メモ はにわネットを活用しよう

地域での医療情報の共有とサービス向上を目的とした「はにわネット」。その活用法について、宮崎大学医学部医療情報部荒木教授に解説していただきました。今後、宮大病院や県立病院の電子カルテとも連携され 様々なサービスが提供されるようです。 →63ページ

日 州 医 事 第682号(平成18年6月号)(毎月1回10日発行)

発行人 社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail:office@miyazakimed.or.jp

代表者 秦 喜 八 郎

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 森 継 則・副 委 員 長 荒 木 康 彦

委 員 山 内 勲, 長 嶺 元 久, 津 守 伸 一 郎, 川 野 啓 一 郎,

荒 木 早 苗, 比 嘉 昭 彦, 林 透, 和 田 俊 朗

担 当 副 会 長 大 坪 睦 郎・担 当 理 事 富 田 雄 二, 丹 光 明, 濟 陽 英 道

事 務 局 学 術 広 報 課 久 永 夏 樹, 小 川 道 隆・カ ッ ト 武 藤 布 美 子

印 刷 所 有 限 会 社 ケ イ・プ ロ デ ュ ー ス・落 丁・乱 丁 の 際 は お 取 り 替 え い た し ま す。

定 価 350円(但し、県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)